

# 向定内集会所建設（建築主体） 工事

図 番	区 分	図 面 内 容	図 番	区 分	図 面 内 容	図 番	区 分	図 面 内 容
特-1	仕 様 書	特記仕様書（１）	S-1	構 造	構造設計標準仕様書	C-1	造 成	計画平面図
特-2	仕 様 書	特記仕様書（２）	S-2	構 造	木質工事特記仕様書	C-2	造 成	縦断図
特-3	仕 様 書	特記仕様書（３）	S-3	構 造	木造軸組接合部標準図（１）	C-3	造 成	標準断面図
特-4	仕 様 書	特記仕様書（４）	S-4	構 造	木造軸組接合部標準図（２）	C-4	造 成	横断図（１/４）
特-5	仕 様 書	特記仕様書（５）	S-5	構 造	木造軸組接合部標準図（３）	C-5	造 成	横断図（２/４）
A-1	意 匠	設計概要	S-6	構 造	木造軸組接合部標準図（４）	C-6	造 成	横断図（３/４）
A-2	意 匠	配置図・付近見取図	S-7	構 造	鉄筋コンクリート造配筋基準図	C-7	造 成	横断図（４/４）
A-3	意 匠	面積求積図	S-8	構 造	部材リスト	C-8	造 成	プレキャストL型擁壁工詳細図
A-4	意 匠	仕上表	S-9	構 造	基礎伏図	C-9	造 成	場所打ちL型擁壁工詳細図
A-5	意 匠	平面図	S-10	構 造	基礎詳細図	C-10	造 成	小型重力式擁壁工詳細図
A-6	意 匠	立面図（１）	S-11	構 造	土台伏図	C-11	造 成	待受け重力式擁壁工詳細図
A-7	意 匠	立面図（２）	S-12	構 造	梁伏図	C-12	造 成	排水工詳細図
A-8	意 匠	断面図	S-13	構 造	母屋伏図	C-13	造 成	縁石工・駐車ます・防護柵詳細図
A-9	意 匠	法チェック	S-14	構 造	柱・耐力壁伏図	C-14	造 成	造成地進入路詳細図
A-10	意 匠	矩計図	S-15	構 造	軸組図（１）	C-15	造 成	主要点座標図
A-11	意 匠	床伏図・天井伏図・屋根伏図	S-16	構 造	軸組図（２）			
A-12	意 匠	展開図（１）	S-17	構 造	壁量計算			
A-13	意 匠	展開図（２）	S-18	構 造	N値計算			
A-14	意 匠	キープラン						
A-15	意 匠	建具表						
A-16	意 匠	雑詳細図（１）						
A-17	意 匠	雑詳細図（２）						
A-18	意 匠	樹脂デッキ詳細図（１）						
A-19	意 匠	樹脂デッキ詳細図（２）						







Architectural specification form for a building project. The form is divided into sections for various materials and construction details, including: 1. Thermal insulation (断熱材), 2. Metal cladding (メタルカーテンウォール), 3. PVC cladding (PVCカーテンウォール), 4. Vinyl siding (ビニル幅木), 5. Gum floor tiles (ゴム床タイル), 6. Carpets (カーペット), 7. Composite wood cladding (合成樹脂塗床), 8. Flooring (フローリング), 9. Wall paper (壁紙張り), 10. Thermal insulation (断熱材), 11. Thermal insulation (断熱材), 12. Thermal insulation (断熱材), 13. Thermal insulation (断熱材), 14. Thermal insulation (断熱材), 15. Thermal insulation (断熱材), 16. Thermal insulation (断熱材), 17. Thermal insulation (断熱材), 18. Thermal insulation (断熱材), 19. Thermal insulation (断熱材), 20. Thermal insulation (断熱材), 21. Thermal insulation (断熱材), 22. Thermal insulation (断熱材), 23. Thermal insulation (断熱材), 24. Thermal insulation (断熱材), 25. Thermal insulation (断熱材), 26. Thermal insulation (断熱材), 27. Thermal insulation (断熱材), 28. Thermal insulation (断熱材), 29. Thermal insulation (断熱材), 30. Thermal insulation (断熱材), 31. Thermal insulation (断熱材), 32. Thermal insulation (断熱材), 33. Thermal insulation (断熱材), 34. Thermal insulation (断熱材), 35. Thermal insulation (断熱材), 36. Thermal insulation (断熱材), 37. Thermal insulation (断熱材), 38. Thermal insulation (断熱材), 39. Thermal insulation (断熱材), 40. Thermal insulation (断熱材), 41. Thermal insulation (断熱材), 42. Thermal insulation (断熱材), 43. Thermal insulation (断熱材), 44. Thermal insulation (断熱材), 45. Thermal insulation (断熱材), 46. Thermal insulation (断熱材), 47. Thermal insulation (断熱材), 48. Thermal insulation (断熱材), 49. Thermal insulation (断熱材), 50. Thermal insulation (断熱材), 51. Thermal insulation (断熱材), 52. Thermal insulation (断熱材), 53. Thermal insulation (断熱材), 54. Thermal insulation (断熱材), 55. Thermal insulation (断熱材), 56. Thermal insulation (断熱材), 57. Thermal insulation (断熱材), 58. Thermal insulation (断熱材), 59. Thermal insulation (断熱材), 60. Thermal insulation (断熱材), 61. Thermal insulation (断熱材), 62. Thermal insulation (断熱材), 63. Thermal insulation (断熱材), 64. Thermal insulation (断熱材), 65. Thermal insulation (断熱材), 66. Thermal insulation (断熱材), 67. Thermal insulation (断熱材), 68. Thermal insulation (断熱材), 69. Thermal insulation (断熱材), 70. Thermal insulation (断熱材), 71. Thermal insulation (断熱材), 72. Thermal insulation (断熱材), 73. Thermal insulation (断熱材), 74. Thermal insulation (断熱材), 75. Thermal insulation (断熱材), 76. Thermal insulation (断熱材), 77. Thermal insulation (断熱材), 78. Thermal insulation (断熱材), 79. Thermal insulation (断熱材), 80. Thermal insulation (断熱材), 81. Thermal insulation (断熱材), 82. Thermal insulation (断熱材), 83. Thermal insulation (断熱材), 84. Thermal insulation (断熱材), 85. Thermal insulation (断熱材), 86. Thermal insulation (断熱材), 87. Thermal insulation (断熱材), 88. Thermal insulation (断熱材), 89. Thermal insulation (断熱材), 90. Thermal insulation (断熱材), 91. Thermal insulation (断熱材), 92. Thermal insulation (断熱材), 93. Thermal insulation (断熱材), 94. Thermal insulation (断熱材), 95. Thermal insulation (断熱材), 96. Thermal insulation (断熱材), 97. Thermal insulation (断熱材), 98. Thermal insulation (断熱材), 99. Thermal insulation (断熱材), 100. Thermal insulation (断熱材).



1. 工事名称

工事名称：向定内集会所建設（建設主体）工事

地名地番  
建築場所：岩手県釜石市定内町2丁目24-4及び250-1、24-3、24-7の各一部

住居表示  
未定

主要用途：地区集会所

工事種別：新築工事

建築主

氏名  
釜石市長 野田 武則

住所  
〒026-0021  
岩手県釜石市只越町3-9-13

電話  
0193-22-2111

2. 敷地概要

敷地面積：807.32㎡

都市計画：区域内

用途地域：第1種中高層

防火地域：準防火地域

その他の  
地域地区：無し

建蔽率 許容 60.00%

容積率 許容 200.00%

上水：市水道

下水：下水道排水区域

ガス：プロパンガス

電気：電力会社

ＴＶ：地デジ

3. 構造・規模

申請建物：集会所

階数・用途  
平屋建て

建築面積  
175.45㎡

延べ面積  
168.93㎡

最高高さ  
5.466 m

最高軒高  
3.750 m

備考

4. 面積

申請建物

備考

合計

建築面積  
175.45㎡

延床面積  
168.93㎡  
(51坪)

建蔽率  
21.74 %

容積率  
20.93 %

5. 防火対象物  
(15) 項

消防設備

対象物条件

備考

誘導標識

全部

【任意設置】

カーテン（別途）

防災認定品

収容人数

1階（集会所 1 (69.56+19.87+26.50) ㎡/3＝38.6人）計 38人

無窓階

該当無し

1階床面積／30＝ 5.631㎡  
AW-1:W2.56m/2×H2.2m×1＝2.816㎡  
AW-2:W2.56m/2×H1.3m×1＝1.664㎡  
AW-4:W1.65m/2×H1.3m×2＝2.145㎡  
  
計 6.625 ㎡ > 床面積/30

6. 別途工事

7. その他

カーテン生地、ＴＶ本体等の備品は本工事に含まない。

8. 雑工事

項目

材質・寸法

仕様

備考（参考型番：雑詳細参照）

施設名称

ステンレス箱文字

6文字

ホワイトボード

W1200×H900

ホーロー

月間予定用

ホワイトボード

W1200×H900

ホーロー

無地

掲示板

W900×H600

アルミ枠

不凍水柱

口径13×長さ1200mm

G3/4 Rc1/2

寒冷地仕様

機械設備工事

水栓柱パン

SUS、FRP 488×413

60φ

配管は機械設備工事

浸透柵

コンクリート（蓋）

600×600×900

呼40VU 排水管

CD型浸透柵

配管は機械設備工事

ポスト

SUS H300xW375xD150

キーボックス

スチール製

ハンカチ掛け

硬質樹脂

化粧シート、フック

アスファルト舗装・フェンス

9. 工事区別

種別

工事範囲

含む

別途

備考

種別

工事範囲

含む

別途

備考

種別

工事範囲

含む

別途

備考

準備

敷地測量

○

錨打ち

真北測量

地盤調査

○

構造特記参照

解体工事

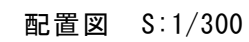
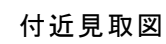
○

樹木移植


樹木伐採

○

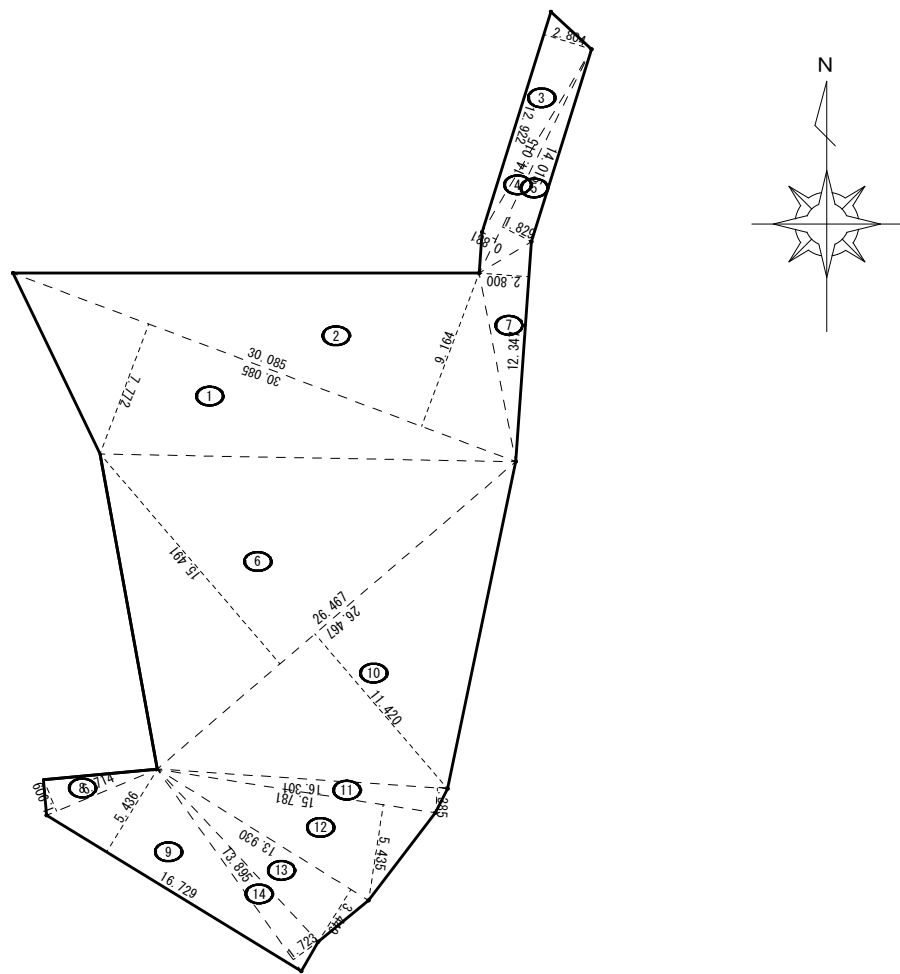




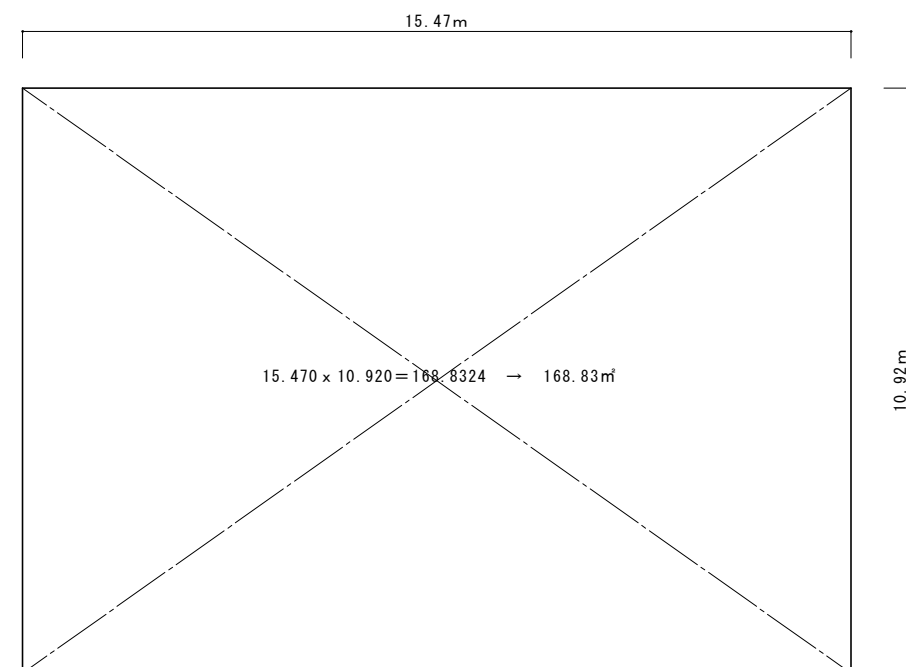
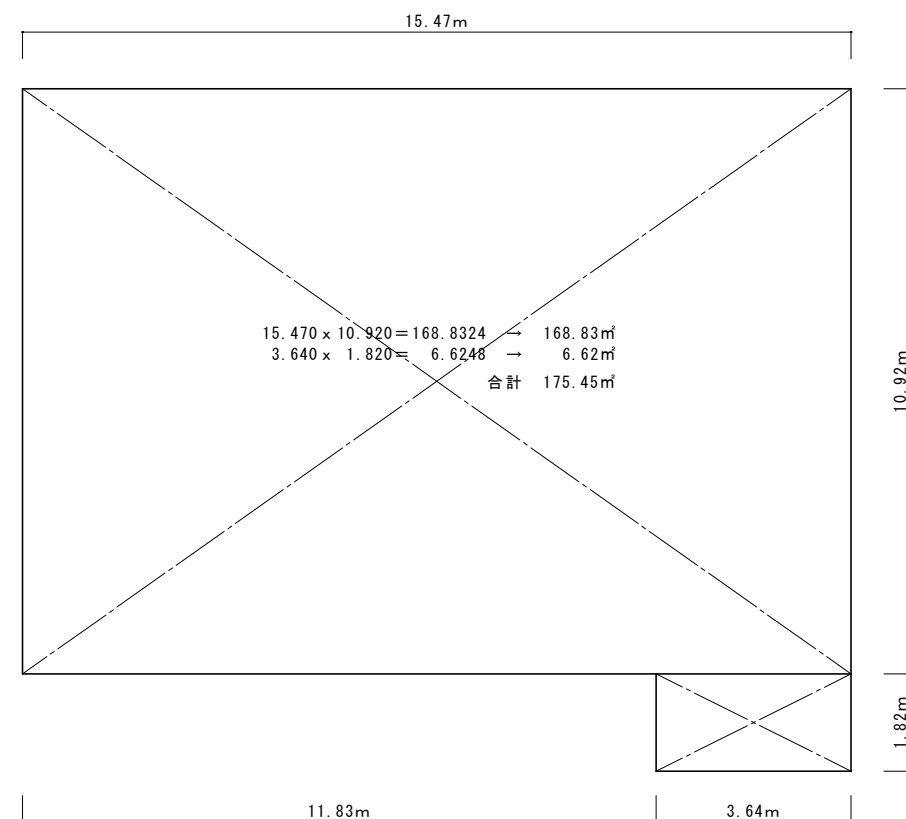
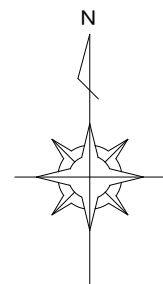
下水：公共下水放流  
雨水：敷地内浸透処理


訂 正	年 月 日	<div></div> <div>岩手県釜石市小佐野町2-4-15    Tel 0193-23-9970   Fax 0193-23-1120</div> <div>(有)アルファーステム</div> <div>一級建築士事務所（岩手県知事）登録お（2204）第1003号    管理建築士</div> <div>一級建築士（大臣）登録 第234581号    柏館 旨緒</div>	設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称		図面番号	
	年 月 日		R3 . 2 . 24				向定内集会所建設（建築主体）工事			
備 考					製図 A 2	承認年月日	図面名称		縮尺	A — 2
				(A3印刷：71%縮小)	. .	配置図・付近見取り図		1/300		





番 号	底 辺	高 さ	倍 面 積	面 積
1	30.085	7.772	233.820620	116.9103100
2	30.085	9.164	275.698940	137.8494700
3	12.922	2.804	36.233288	18.1166440
4	14.015	0.881	12.347215	6.1736075
5	14.015	1.829	25.633435	12.8167175
6	26.467	15.491	410.000297	205.0001485
7	12.347	2.800	34.571600	17.2858000
8	6.714	1.909	12.817026	6.4085130
9	16.729	5.436	90.938844	45.4694220
10	26.467	11.420	302.253140	151.1265700
11	16.301	1.385	22.576885	11.2884425
12	15.781	5.435	85.769735	42.8848675
13	13.930	3.449	48.044570	24.0222850
14	13.895	1.723	23.941085	11.9705425
合 計				807.3233400
敷 地 面 積				807.32 m <sup>2</sup>



訂 正	年 月 日	 岩手県釜石市小佐野町2-4-15 TEL 0193-23-9970 Fax 0193-23-1120 <b>(有)アルファシステム</b> 一級建築士事務所（岩手県知事）登録お（2204）第1003号 管理建築士 一級建築士（大臣）登録 第234581号 柏館 旨緒	設計年月日 R3 . 2 . 24	設計	検図	承認印	工事名称 向定内集会所建設（建築主体）工事		図面番号
	年 月 日								
備 考					製図 A 2 (A3印刷: 71%縮小)	承認年月日 . . .	図面名称 面積求積図	縮尺 Non	A — 3

■ 室外仕上表

部 位		部 位	
基 礎	布基礎 鉄筋コンクリート造 Fc=21N/mm <sup>2</sup> 通気土台	屋 根	ガルバリウムカラー鋼板横葺 (ニカサProGH同等品) t-0.4 勾配:3/10 アスファルトルーフィング940
外 壁	窯業系サイディングt=16 金物工法 認定番号: PC030BE-9201		野地板: 構造用合板 t-12 F☆☆☆
	透湿防風シート下張 通気層 (胴縁) 18		軒樋:ガルバリウム鋼板製 たて樋:ガルバリウム鋼板 φ60 雪止め金具
	アルミ水切り		棟換気: リッチペンツ182 有孔換気面積 334cm <sup>2</sup> /m
軒 裏	バルブ混入セメント板 t-12.0 (無孔板: QF030RS-0154)	断 熱 材	1階床 A種フェノールフォーム保温板3種1号 F☆☆☆☆S (ｼﾞｬﾂﾞｰ) t-60
	バルブ混入セメント板 t-12.0 (有孔板: QF030RS-0155)		外 壁 高性能グラスウール断熱材 HG16K F☆☆☆☆ t-100mm
開 口 部	アルミ製押出形材 玄関ドア・窓 ペアガラス 網戸共		天 井 (屋根面) グラスウール断熱材 16K F☆☆☆☆ t-100mm×2重
		外 構	敷地内フェンス、一部アスファルト舗装、L型擁壁、待受け擁壁
土 台	防腐土台 (クロルピリホス使用禁止) 通気ネコ土台工法		駐車場区画 (障害者用マーク、白線引き、車止め)
その他	1階 床下 鋼製束		
	天井点検口: 1箇所、床下点検口: 1箇所		

■ 室内仕上表

階	室名	床			巾木			壁			天井						仕上ユニット・その他
		仕上 下地	記号	厚(mm)	仕上	H(mm)	厚(mm)	仕上 下地	記号	厚(mm)	仕上 下地	記号	厚(mm)	廻縁	天井高 FL+		
1	玄関	タイル張	F3	9	タイル巾木	100		ビニルクロス貼 石膏ボード	W1 W2	12.5	化粧石膏ボード	C2	9.5	塩ビ	2.656	下足棚 敷き台、手すり	
	廊下	複合フローリング張	F1	12	MDF製	60		ビニルクロス貼	W1		化粧石膏ボード	C2	9.5	塩ビ	2.400	掲示板、廊下手すり、ビクチャーレール	
		構造用合板張	F7	24	既製造作幅木			石膏ボード	W2	12.5							
	ホール	複合フローリング張	F1	12	MDF製	60		ビニルクロス貼	W1		ビニルクロス貼	C1		塩ビ	2.700	ビクチャーレール	
		構造用合板張	F7	24	既製造作幅木			石膏ボード	W2	12.5	石膏ボード	C2	9.5				
	和室	本畳	F2	60	畳寄せ	60		ビニルクロス貼	W1		ビニルクロス貼	C1		MDF製	2.400	手すり、棚	
		構造用合板張	F7	24				石膏ボード (大壁)	W2	12.5	石膏ボード	C2	9.5	既製廻縁			
	板間	複合フローリング張	F1	12	MDF製	60		ビニルクロス貼	W1		ビニルクロス貼	C1		MDF製	2.400		
		構造用合板張	F7	24	既製造作幅木			石膏ボード	W2	12.5	石膏ボード	C2	9.5	既製廻縁			
	調理室	複合フローリング張	F1	12	MDF製	60		ビニルクロス貼	W1		化粧石膏ボード (ジブトーン)	C2	9.5	塩ビ	2.400	流し台廻りの壁は キッチンパネル貼。	
		構造用合板張	F7	24	既製造作幅木			石膏ボード	W2	12.5						食器棚	
	WC (男)	複合フローリング張	F1	12	MDF製	60		ビニルクロス貼	W1		化粧石膏ボード (ジブトーン)	C2	9.5	塩ビ	2.400	洋式腰掛便器、暖房便座、手すり、紙巻器、	
		構造用合板張	F7	24	既製造作幅木			石膏ボード	W2	12.5						手洗い器、収納棚、小便器	
	WC (女)	複合フローリング張	F1	12	MDF製	60		ビニルクロス貼	W1		化粧石膏ボード (ジブトーン)	C2	9.5	塩ビ	2.400	洋式腰掛便器、暖房便座、手すり、紙巻器、	
		構造用合板張	F7	24	既製造作幅木			石膏ボード	W2	12.5						手洗い器、収納棚	
	倉庫	複合フローリング張	F1	12	MDF製	60		化粧石膏ボード (布目)	W2	12.5	化粧石膏ボード (ジブトーン)	C2	9.5	塩ビ	2.400	木製棚	
構造用合板張		F7	24	既製造作幅木													
納戸	複合フローリング張	F1	12	MDF製	60		化粧石膏ボード (布目)	W2	12.5	化粧石膏ボード (ジブトーン)	C2	9.5	塩ビ	2.400	木製棚		
	構造用合板張	F7	24	既製造作幅木													
物入	複合フローリング張	F1	12	MDF製	60		化粧石膏ボード (布目)	W2	12.5	化粧石膏ボード (ジブトーン)	C2	9.5	塩ビ	2.400	木製棚		
	構造用合板張	F7	24	既製造作幅木													

■ 使用建築材料表

記 号	建築材料	ホルムアルデヒド <sup>*</sup> 発散等級区分
F1	複合板フローリング	規制対象外 (F☆☆☆☆)
F2	タタミ敷	規制対象外 (F☆☆☆☆)
F3	タイル張り	規制対象外 (F☆☆☆☆)
F4	カーベットタイル	規制対象外 (F☆☆☆☆)
F6	Pタイル 長尺シート	規制対象外 (F☆☆☆☆)
F7	下地合板 / ベニヤ	規制対象外 (F☆☆☆☆)
C1 ・ W1	ビニルクロス	規制対象外 (F☆☆☆☆)
C2 ・ W2	石膏ボード	規制対象外 (F☆☆☆☆)
C3 ・ W3	ケイ酸カルシウム板	規制対象外 (F☆☆☆☆)
C4 ・ W4	ベニヤ	規制対象外 (F☆☆☆☆)
C5	和室天井材	規制対象外 (F☆☆☆☆)
換戸	ふすま紙	規制対象外 (F☆☆☆☆)
内装ドア・引戸	既製ユニット製品	規制対象外 (F☆☆☆☆)
洗面台・流し台	既製ユニット製品	規制対象外 (F☆☆☆☆)
W1orC1 (ビニルクロス) +W2orC2 (石膏ボード9.5mm以上): 準不燃材料仕上げ 認定番号 NM-0680 同等品		

■ ホルムアルデヒドに関する天井裏等の処置

天井裏等	室名	全ての居室
小屋裏		規制対象外 (F☆☆☆☆)
天井裏		規制対象外 (F☆☆☆☆)
床裏		規制対象外 (F☆☆☆☆)
外壁		規制対象外 (F☆☆☆☆)
間仕切壁		規制対象外 (F☆☆☆☆)

■ ホルムアルデヒドの発散による衛生上の支障がないようにするための構造


種類	24時間換気システム (第3種換気)
換気回数	0.3 回/h以上
換気経路の出入口の通気処置	開きドアのアンダーカットまたは 換気ガラリ、引き戸

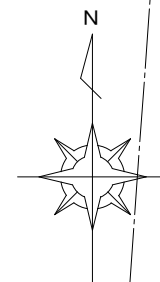
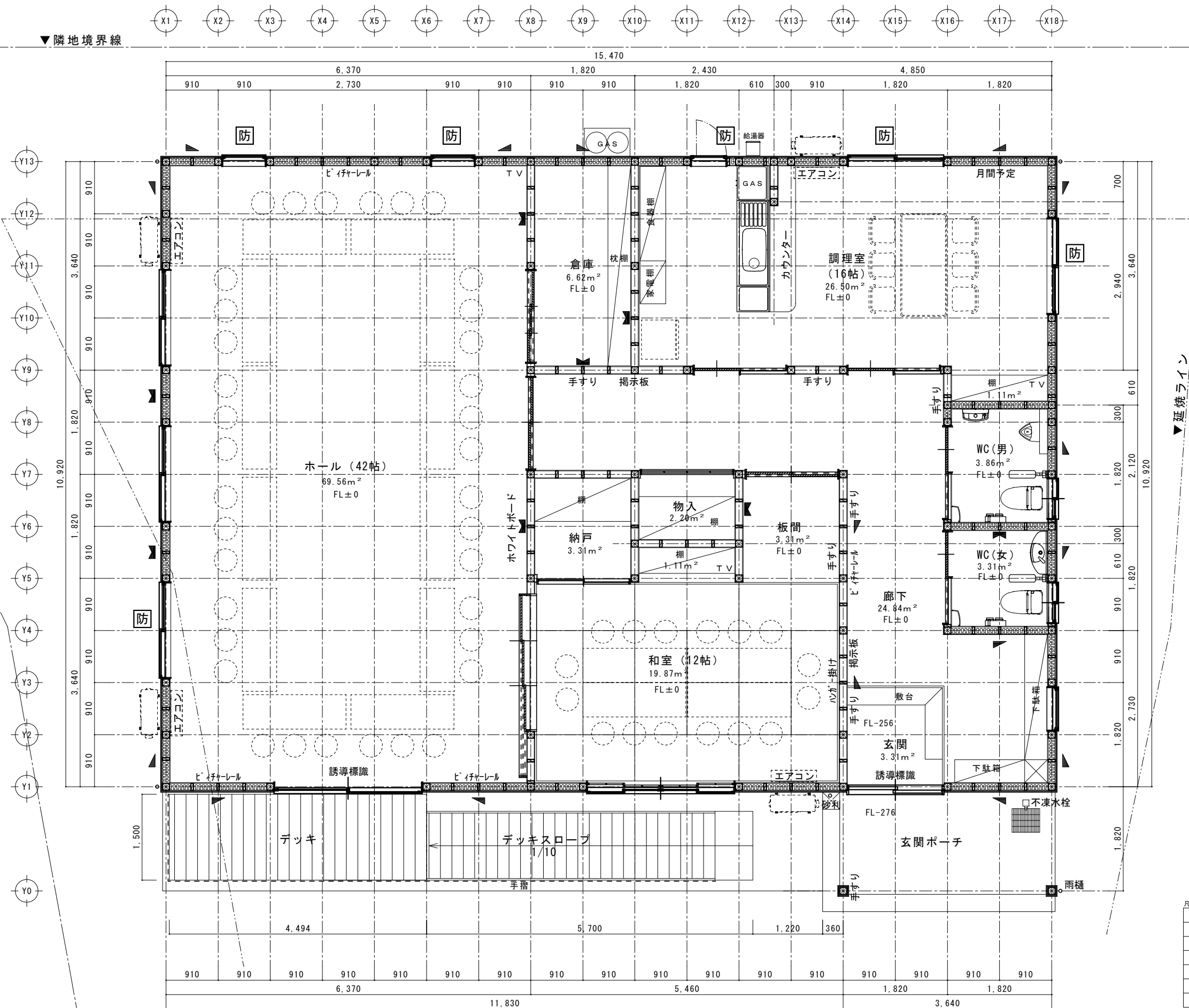
■ 設備概要





□ 住宅用防災機器			
種 類	設置場所	種別	備考
住宅用防災機器	キッチン	低温式熱感知器	電池式
	全ての寝室	光電式煙感知器	電池式
	階段室		電池式

■ 防火材料


種 類	厚み	防火性	備考
石膏ボード (GB-R)	t-9.5	準不燃材 QM-9828	
	t-12.5	不燃材 NM-8619	
	t-15.0		
防水石膏ボード (GB-R)	t-9.5 t-12.5 t-15.0	準不燃材 QM-9826	
不燃防水石膏ボード (GB-R)	t-12.5	不燃材 NM-9639	
化粧石膏ボード (GB-D)	t-9.5	準不燃材 QM-9824	吉野天井板、ハイグランド
	t-12.5	不燃材 NM-0127	吉野天井板、ハイグランド
	t-9.5	準不燃材 QM-0524	ジブトーン
不燃積層石膏ボード (GB-NC)	t-9.5	不燃材 NM-0441	不燃積層石膏ボード
	t-9.5	不燃材 NM-1864	ジブトーン
強化石膏ボード (BG-F)	t-12.5	不燃材 NM-8615	
	t-15.0		
	t-21.0		
普通硬質石膏ボード (GB-R-H)	t-9.5	不燃材 NM-9645	
	t-12.5		
キッチンパネル	t-3.0	不燃化粧板 NM-9447	特約 特約EX

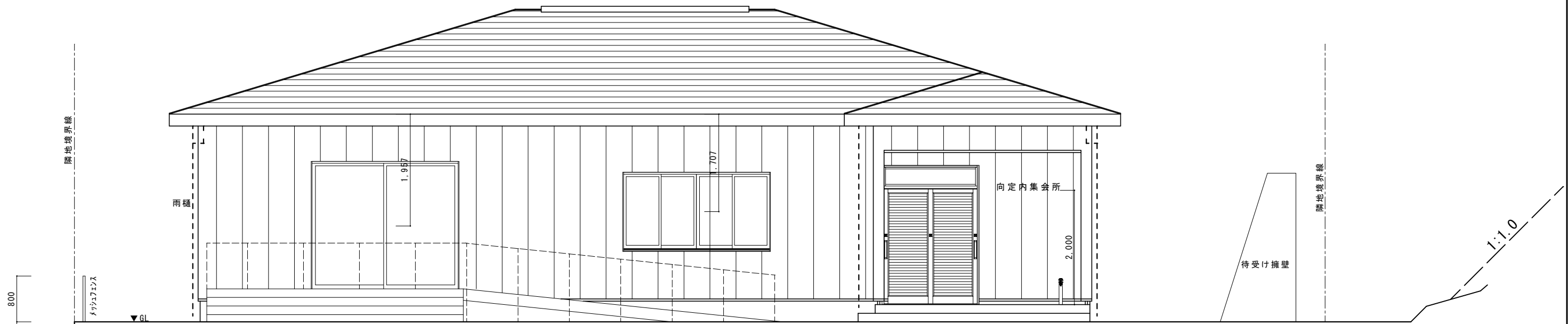
訂 正	年 月 日		岩手県釜石市小佐野町2-4-15    Tel 0193-23-9970    Fax 0193-23-1120 (有)アルファシステム 一級建築士事務所 (岩手県知事) 登録お(2204) 第1003号    管理建築士 一級建築士 (大臣) 登録 第234581号    柏館 旨緒	設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称		図面番号
	年 月 日			R3 . 2 . 24				向定内集会所建設 (建築主体) 工事		
備 考								製図 A 2 (A3印刷: 71%縮小)	承認年月日	図面名称
							.	仕上表	Non	



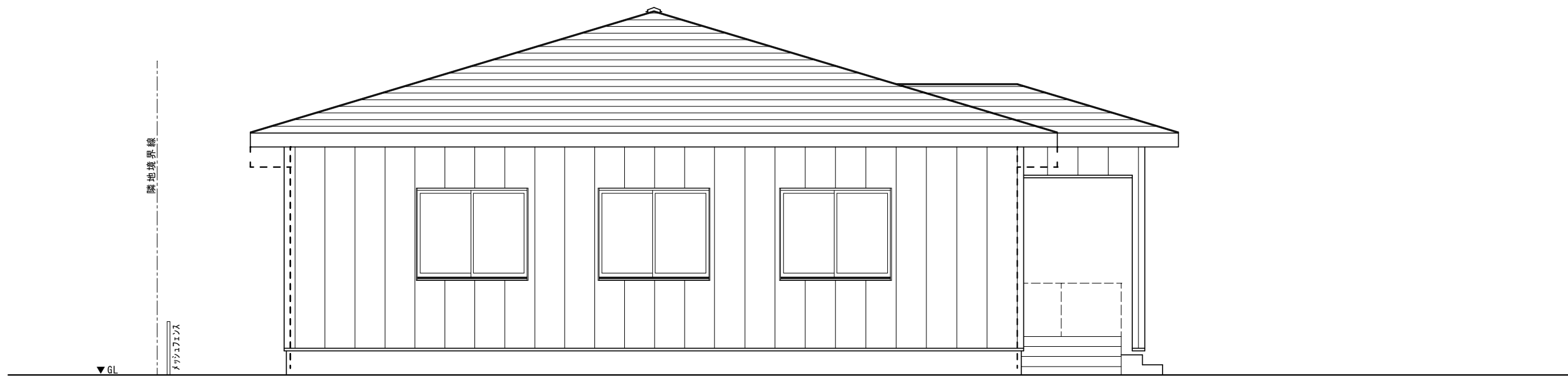
凡例	
	支柱 120×120 を示す
	筋かい 45×90 シングル を示す
	筋かい 45×90 ダブル を示す
	防火設備

平面图 S:1/50


訂 正	年 月 日	 岩手県釜石市小佐野町2-4-15 TEL 0193-23-9970 Fax 0193-23-1120 <b>(有)アルファーステム</b> 一級建築士事務所（岩手県知事）登録お（2204）第1003号 管理建築士 一級建築士（大臣）登録 第234581号 柏 館 旨 緒	設計年月日 R3 . 2 . 24	設計	検図	承認印	工事名称 向定内集会所建設（建築主体）工事		図面番号
	年 月 日						図面名称 平面図	縮尺 1/50	A — 5
備 考					製図 A 2 (A3印刷：71%縮小)	承認年月日 . .			

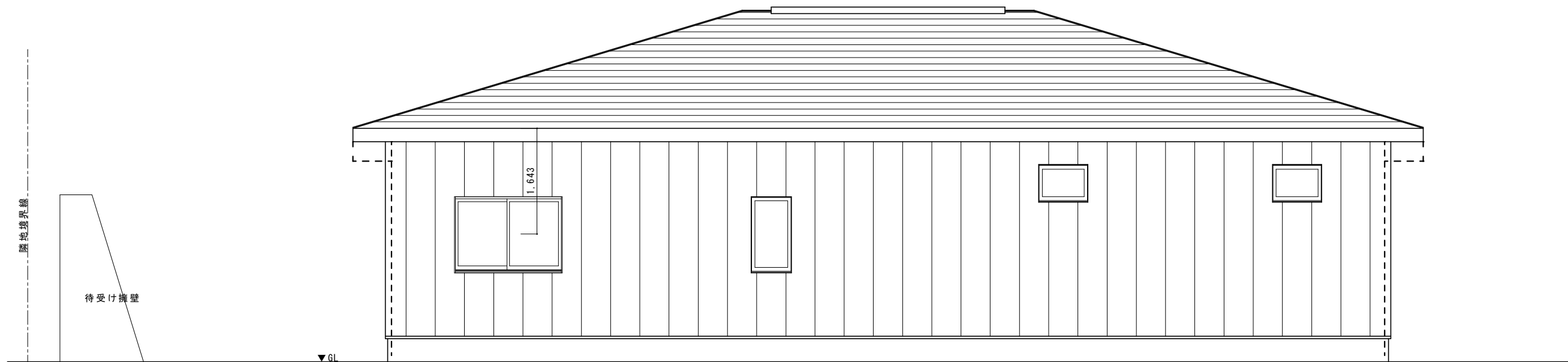


南面 立面図 S:1/50

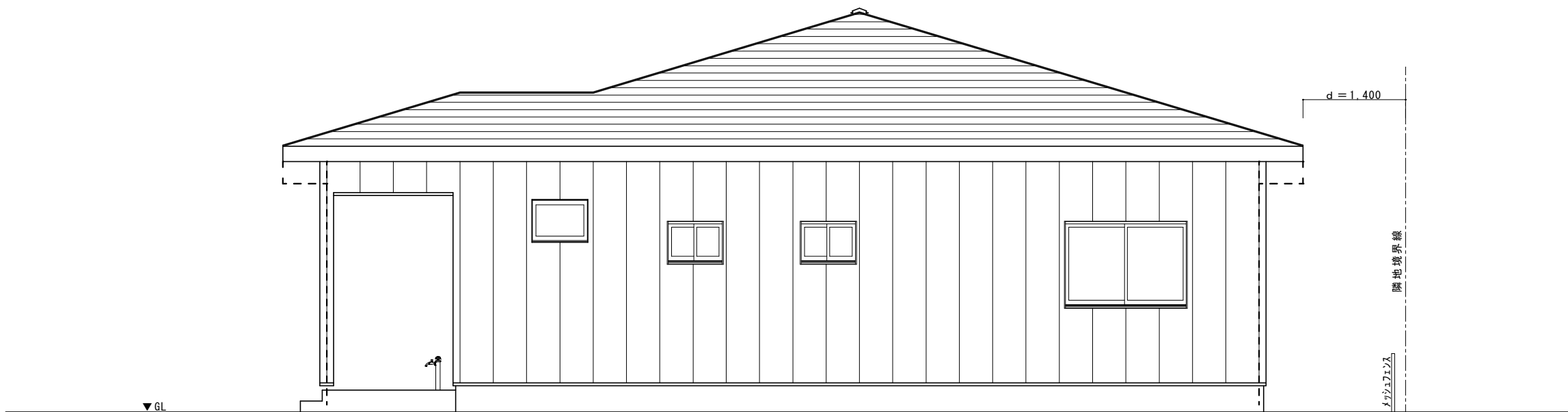


西面 立面図 S:1/50


訂正	年月日			岩手県釜石市小佐野町2-4-15 TEL 0193-23-9970 Fax 0193-23-1120 (有)アルファースシステム 一級建築士事務所（岩手県知事）登録お(2204) 第1003号 管理建築士 一級建築士（大臣）登録 第234581号 柏館 旨緒	設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称 向定内集会所建設（建築主体）工事	図面番号 A — 6
	年月日				R3 . 2 . 24		製図 A 2 (A3印刷: 71%縮小)	承認年月日		
備考									図面名称 立面図（1）	縮尺 1/100

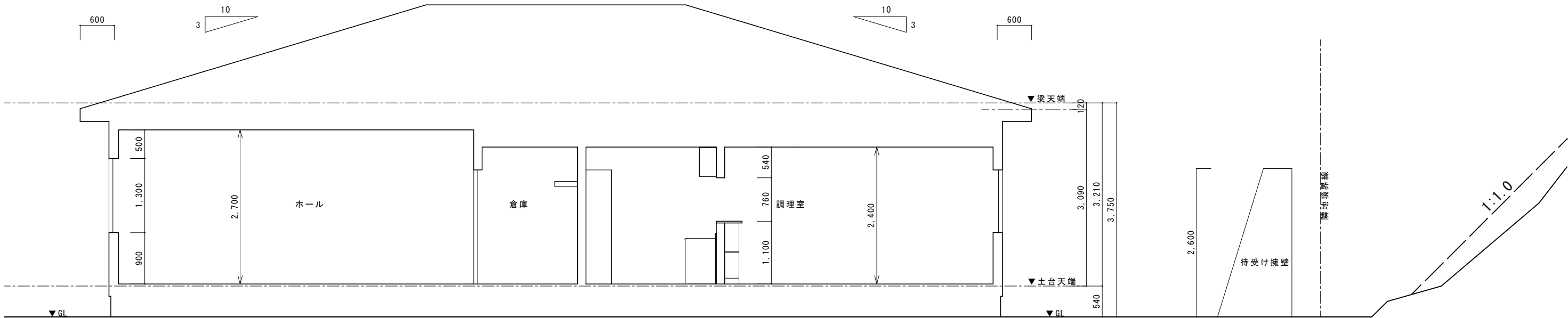


北面 立面図 S:1/50



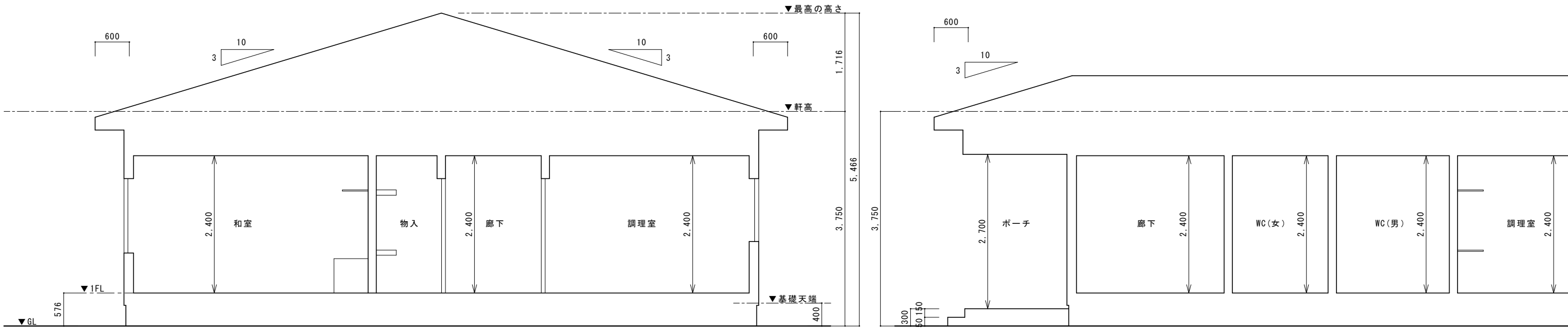
東面 立面図 S:1/50

訂正	年月日		<div>岩手県釜石市小佐野町2-4-15 TEL 0193-23-9970 Fax 0193-23-1120 (有)アルファシステム 一級建築士事務所（岩手県知事）登録お（2204）第1003号 管理建築士 柏館 旨緒 一級建築士（大臣）登録 第234581号</div>	設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称 向定内集会所建設（建築主体）工事		図面番号
	年月日			R3 . 2 . 24		製図 A 2 (A3印刷：71%縮小)	承認年月日 .	図面名称 立面図（2）	縮尺 1/50	A — 7
備考										




※岩手県建築基準施行条例第6条第1項の擁壁

X方向 断面図 S:1/50



Y方向 断面図 (1) S:1/50

Y方向 断面図 (2) S:1/50

訂正	年月日			岩手県釜石市小佐野町2-4-15 TEL 0193-23-9970 Fax 0193-23-1120 (有)アルファシステム 一級建築士事務所（岩手県知事）登録お(2204) 第1003号 管理建築士 一級建築士（大臣）登録 第234581号 柏館 旨緒	設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称 向定内集会所建設（建築主体）工事		図面番号
	年月日				R3 . 2 . 24				図面名称 立面図（2）		A — 8
備考							製図 A 2 (A3印刷: 71%縮小)	承認年月日	縮尺 1/50		

採光計算

法28条採光を満足するサッシのみで検討住居系α = 6β = 1.4

1階dが3m以上の場合は、3mとして計算する。

部屋名	面積	必要採光 面積 (㎡)	サッシ			開口面積 S	式			採光補正 係数	採光面積 A S	判定
				W	H		A' = d / h × α - β					
	㎡	1/20		m	m	㎡	d	h	A'	A	㎡	
ホール	69.56		AW-1	2.56	2.20	5.63	3	1.957	7.80	3.00	16.89	
合計	69.56	3.48									16.89	○ K
												4.86
和室	19.87		AW-2	2.56	1.30	3.33	3	1.707	9.14	3.00	9.99	
合計	19.87	0.99									9.99	○ K
												10.06
調理室	26.50		AW-5	1.65	1.10	1.82	1.4	1.643	3.71	3.00	5.46	
合計	26.50	1.33									5.46	○ K
												4.12

換気計算

必要換気量を満足するサッシのみで検討

1階

部屋名	面積	必要換気 面積 (㎡)	サッシ			開口面積 S	開口率 α	台数 n	換気面積 α S * n	判定
				W	H					
	㎡	1/20		m	m	㎡			㎡	
ホール	69.56		AW-1	2.56	2.20	5.63	0.5	1	2.82	
			AW-4	1.65	1.10	1.82	0.5	1	0.91	OK
合計	69.56	3.48							3.72	1.07
和室	19.87		AW-2	2.56	1.30	3.33	0.5	1	1.66	
										OK
合計	19.87	0.99							1.66	1.67
調理室	26.50		AW-5	1.65	1.10	1.82	0.5	2	1.82	
										OK
合計	26.5	1.33							1.82	1.37

排煙計算

法35条、第35条の2

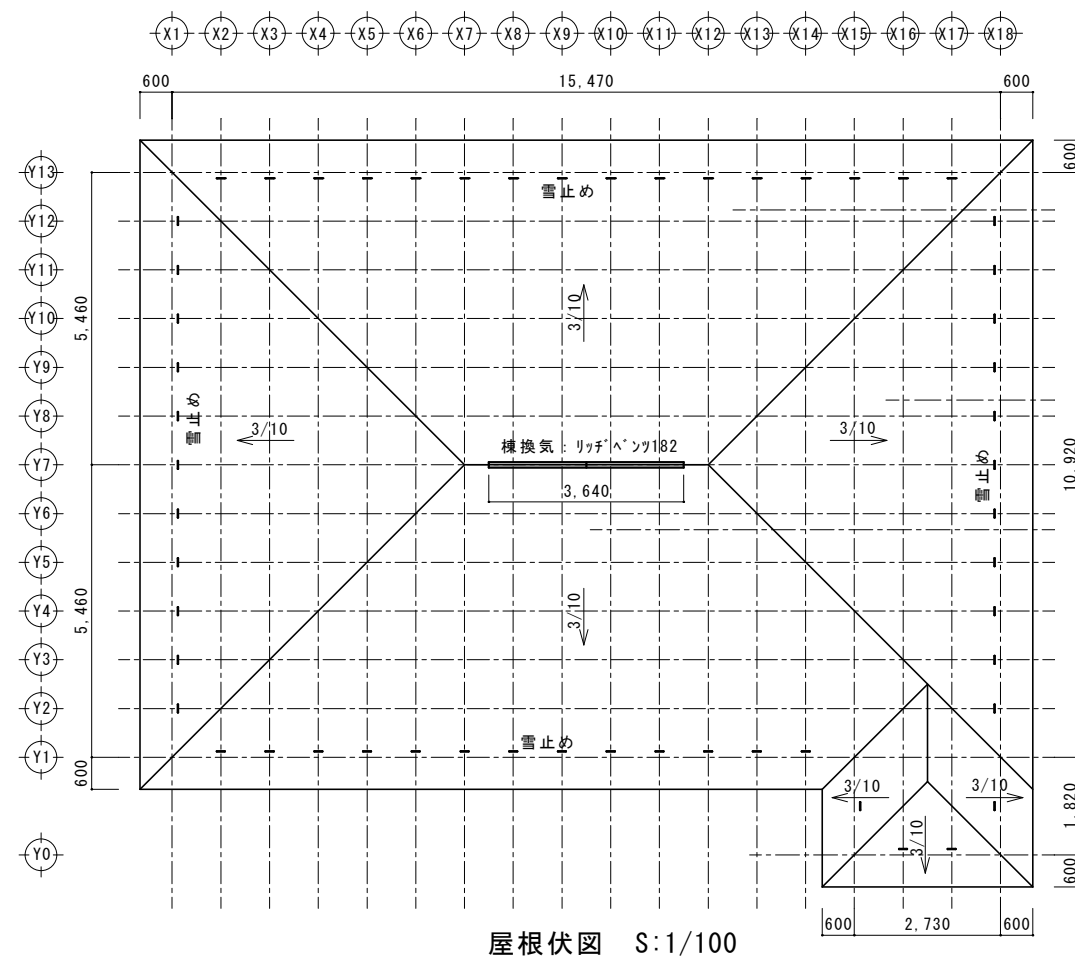
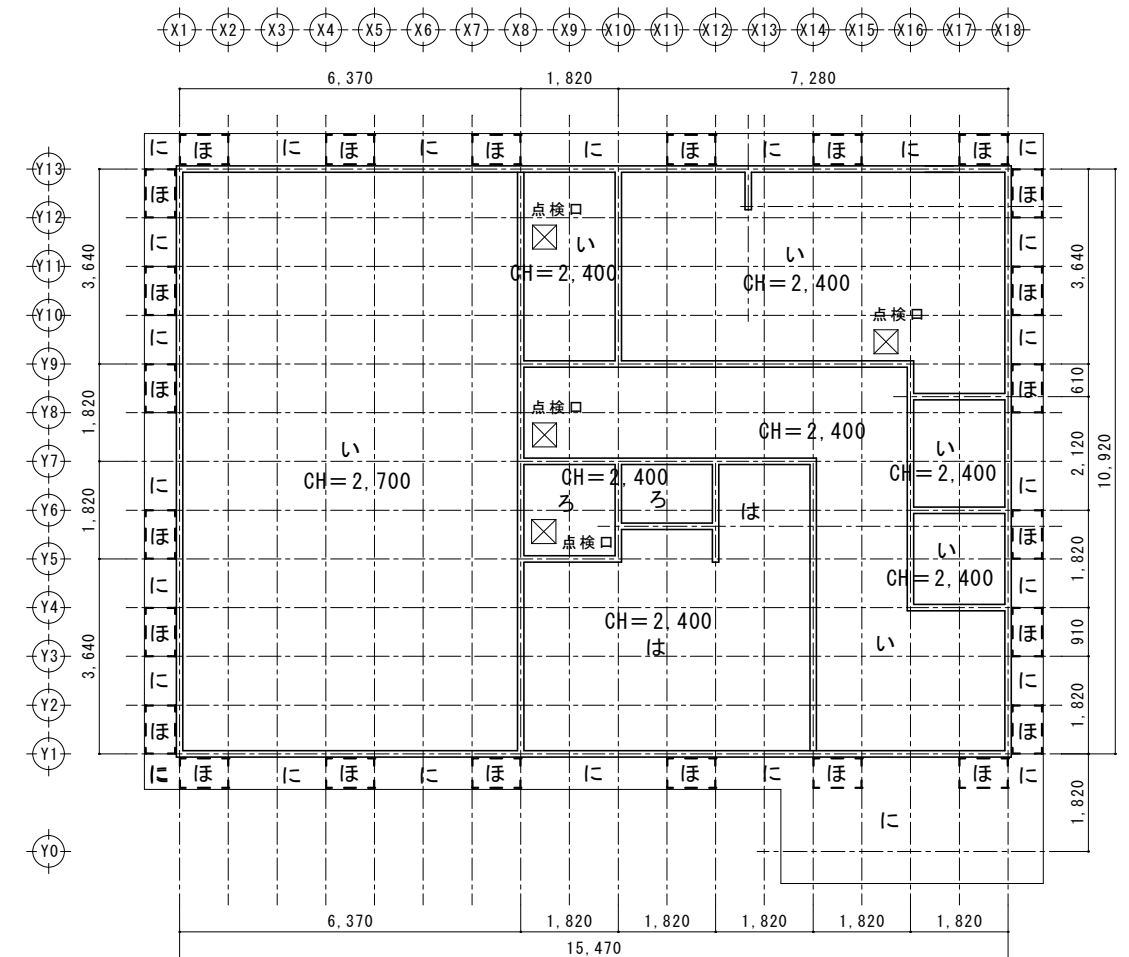
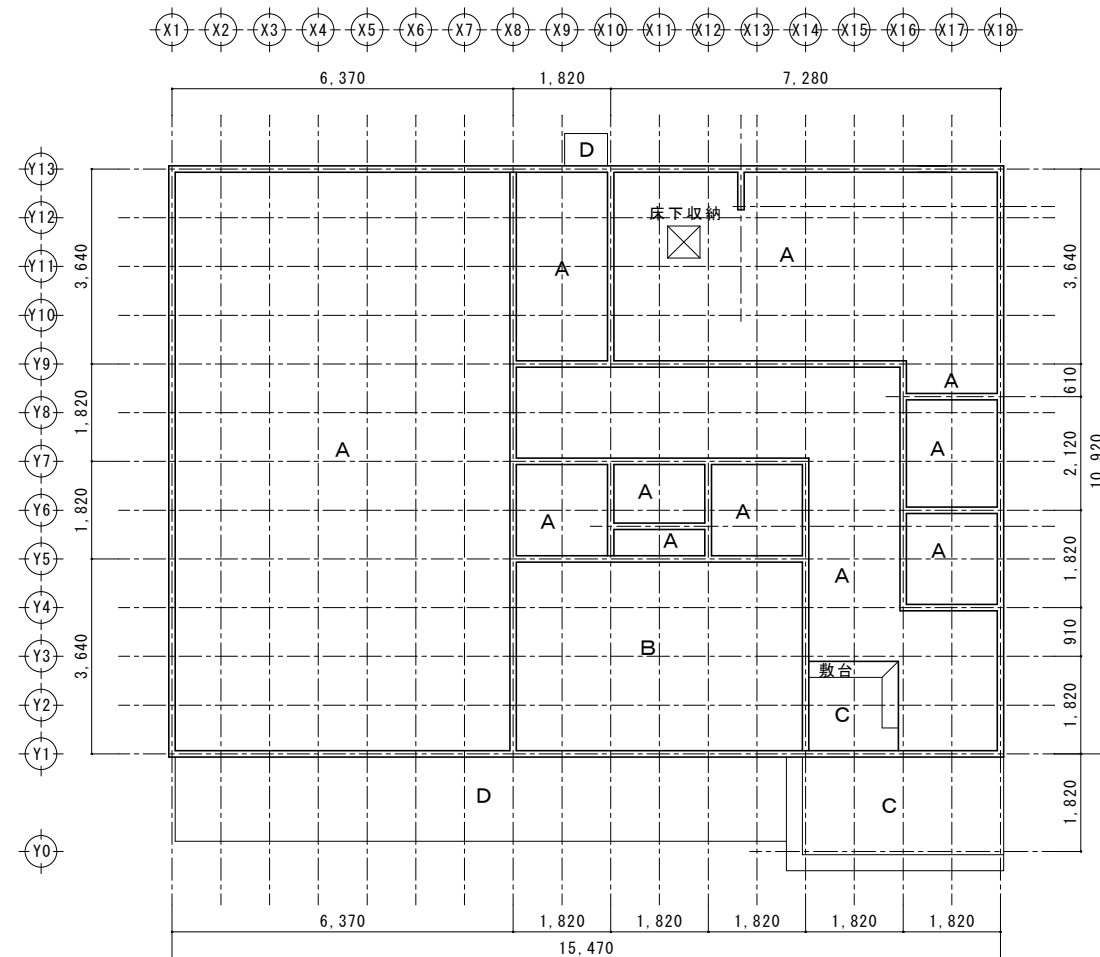
必要換気量を満足するサッシのみで検討

【 1 階 】

部屋名	面積	必要換気 面積 (㎡)	サッシ			開口面積 S	開口 係数 α	台数 n	換気面積 α S	判定
				W	H					
	㎡	1/50		m	m	㎡		ヶ	㎡	
ホール	69.56		AW-1	2.56	0.30	0.77	0.5	1	0.38	
			AW-3・4	1.65	0.30	0.50	0.5	3	0.74	
			AW-6	0.74	0.50	0.37	1	2	0.74	
合計	69.56	1.39							1.87	OK
										1.34
和室	19.87		AW-2	2.56	0.40	1.02	0.5	1	0.51	
合計	19.87	0.40							0.51	OK
										1.29
調理室	26.50		AW-5	1.65	0.40	0.66	0.5	2	0.66	
合計	26.50	0.53							0.66	OK
										1.25








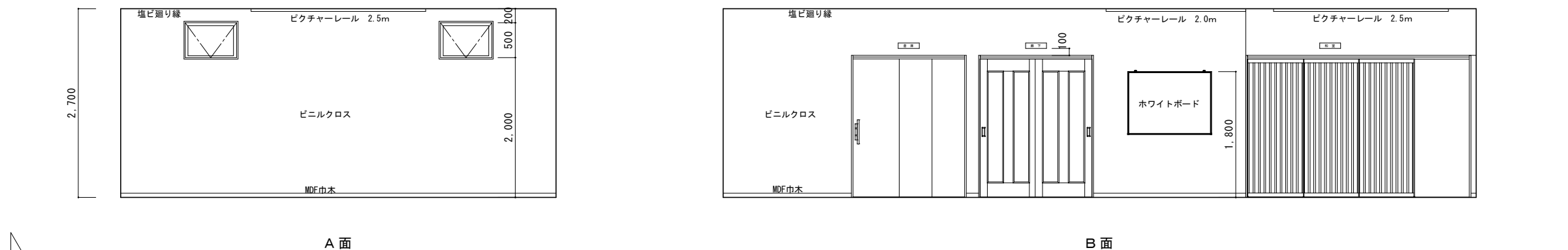
床伏図 凡例

記号	仕上
A	複合フローリング
B	畳敷
C	タイル貼り
D	土間金ゴテ仕上げ
<input checked="" type="checkbox"/>	床下収納（点検口）

天井伏図 凡例

記号	仕上
い	化粧石膏ボード（ジフトーン）
ろ	化粧石膏ボード（布目）
は	ビニルクロス貼
に	軒天：無孔板
ほ	軒天：有孔板
※	屋根面下部の天井裏の断熱材は GW-16K100mmを2重敷き込み。
☒	天井点検口

訂 正	年 月 日	<div></div> <div>岩手県釜石市小佐野町2-4-15    Tel 0193-23-9970    Fax 0193-23-1120</div> <div><b>(有)アルファシステム</b></div> <div>一級建築士事務所（岩手県知事）登録お（2204）第1003号    管理建築士</div> <div>一級建築士（大臣）登録 第234581号    柏崎 旨緒</div>	設計年月日 R3 . 2 . 24	設計	検図	承認印	工事名称 向定内集会所建設（建築主体）工事		図面番号  A — 11
	年 月 日						製図    A 2  (A3印刷：71%縮小)	承認年月日 . . .	
備 考									




The image shows four elevation drawings of a cabinet, labeled A面 (Front), B面 (Back), C面 (Side), and D面 (Side).

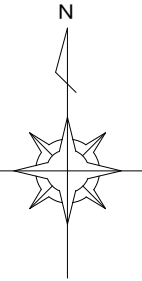
- A面 (Front):** Shows the front of the cabinet. It has a total height of 2,400 mm. The left side has a door with a handle at 500 mm from the bottom and a lock at 1,280 mm from the bottom. The right side has a door with a handle at 1,280 mm from the bottom. The top section is labeled "棚" (Shelf) and "MDF廻縁" (MDF Edge). The bottom section is labeled "ビニルクロス" (Vinyl Cladding).
- B面 (Back):** Shows the back of the cabinet. It has a total height of 1,800 mm. The top section is labeled "MDF廻縁" (MDF Edge). The middle section is labeled "ハンガー掛け 4m" (Hanger Hook 4m). The bottom section is labeled "手すり" (Handrail) and "ビニルクロス" (Vinyl Cladding).
- C面 (Side):** Shows the side of the cabinet. It has a total height of 2,000 mm. The top section is labeled "MDF廻縁" (MDF Edge). The middle section is labeled "エアコン下地" (Air Conditioning Substrate). The bottom section is labeled "ビニルクロス" (Vinyl Cladding).
- D面 (Side):** Shows the side of the cabinet. It has a total height of 2,000 mm. The top section is labeled "MDF廻縁" (MDF Edge). The middle section is labeled "ハンガー掛け 1.7m" (Hanger Hook 1.7m). The bottom section is labeled "ビニルクロス" (Vinyl Cladding).


The image displays four elevation drawings of a kitchen unit, labeled A面 (Front), B面 (Back), C面 (Side), and D面 (Side).

- A面 (Front):** Shows a kitchen unit with a sink and faucet on the left, a window with a curtain (カーテン) and air conditioning unit (エアコン下地) above it, and a monthly schedule (月間予定表) on the right. Dimensions include 450 for the sink area and 1,100 for the unit height. The material is MDF (MDF巾木).
- B面 (Back):** Shows the back of the unit with a window and a curtain (カーテン). The material is MDF (MDF巾木).
- C面 (Side):** Shows the side of the unit with a window and a curtain (カーテン). The material is MDF (MDF巾木).
- D面 (Side):** Shows the side of the unit with a window and a curtain (カーテン). The material is MDF (MDF巾木).

訂 正	年 月 日	 岩手県釜石市小佐野町2-4-15 Tel. 0193-23-9970 Fax 0193-23-1120 <b>(有)アルファシステム</b> 一級建築士事務所（岩手県知事）登録お（2204）第1003号 管理建築士 一級建築士（大臣）登録 第234581号 柏館 旨緒	設計年月日 R3 . 2 . 24	設計	検図	承認印	工事名称 向定内集会所建設（建築主体）工事		図面番号
	年 月 日						図面名称 展開図（1）	縮尺 1/50	A - 12
備 考					製図 A 2 (A3印刷：71%縮小)	承認年月日 . . .			





訂 正	年 月 日	 岩手県釜石市小佐野町2-4-15 Tel. 0193-23-9970 Fax 0193-23-1120 <b>(有)アルファ・システム</b> 一級建築士事務所（岩手県知事）登録お（2204）第1003号 管理建築士 一級建築士 （大臣）登録 第234581号 柏館 旨緒	設計年月日 R3 . 2 . 24	設計	検図	承認印	工事名称 向定内集会所建設（建築主体）工事		図面番号	
	年 月 日									
備 考						製図 A 2 (A3印刷：71%縮小)	承認年月日 . .	図面名称 キープラン	縮尺 1/50	A — 14



名 称		室名札（サイン）		ピクトサイン		誘導標識		ホワイトボード		掲示板									
姿図・寸法																			
		1/10		1ヶ所		計 5 枚		1/20		1/20									
		形式・数量		平付型	8ヶ所	平付型	150 x 150	計2ヶ所	誘導標識	計 5 枚	掲示板	1 台	掲示板	2 台					
		材質・仕上		アクリル板 t -5.0		アクリル板 t -5.0		蓄光式 消防認定品		ホーロー白板		アルミフレーム掲示板							
		サイズ		300 x 75				W360 x H 120		H900 x W1200 x D54~14		H900 x W1200 x D25							
				※デザインは協議により決定とする。				神栄ホームクリエイト SMS-1016		神栄ホームクリエイト SMS-1031									
名 称		ホワイトボード		キーボックス		ポスト		ハンガー掛け		ピクチャーレール									
姿図・寸法																			
		1/20		1/10		1/10													
		形式・数量		行事予定掲示板	1 台	キーボックス	10個用	1 台	カラーポスト	1 台	ピクチャーレール	ピクチャーレール							
		材質・仕上		ホーロー白板		スチール 焼付塗装		SUS304		硬質樹脂 化粧シート		アルミニウム合金							
		サイズ		H900 x W1200 x D54~14		H280 x W200 x D53		H300 x W375 x D130		38 x 20		19.5 x 14.5 Lフック15A（後入れ）@600							
参考型番		神栄ホームクリエイト(株) SMS-916-Y		ACE FI-10		ACE SGT-2200L		KAIDER ファンシーハ-35 同等品		TOSO L-1 同等品									
名 称		キッチン				食器棚		食器棚		食器棚									
姿図・寸法																			
		1/50				1/50		1/50		1/50									
		形式・数量				セクショナルキッチン	1 台	片面707キャビネット+カップボード+上台	1 台	カップボード	1 台	システムライド収納・見切り板	1 台						
		材質・仕上				扉：SUS、流し台・コンロ台、キャビネット：SUS キッチン不燃パネル				家電収納庫付（蒸気排出ユニット無し）				上台：可動棚1枚、中台：シースルー扉タイプ、下台：1段引出しタイプ					
		サイズ				ガス台：W600、流し台：W1500+450、レンジフード：W600、吊戸棚：W1050+900				H1000xW750xD450 + H700 x W750 x D450				H2,360 x W750 x D450					
参考型番				クリナップ SKシリーズ I型 L=2,250 ・レンジフード（富士工業 BDR-3HLK3-601BL BK）				クリナップ ライオンシリーズ				クリナップ ライオンシリーズ							
				屋外フード及び配管工事、給排水工事は機械設備工事、電源、壁スイッチ工事は電気設備工事				1500Wコンセント付（電気設備工事で接続）											
訂 正		年 月 日				岩手県釜石市小佐野町2-4-15 Tel 0193-23-9970 Fax 0193-23-1120		設計年月日		設計		検図		承認印		工事名称		図面番号	
		年 月 日				(有)アルファースシステム		R3 . 2 . 24								向定内集会所建設（建築主体）工事			
備 考						一級建築士事務所（岩手県知事）登録お(2204) 第1003号 管理建築士						製図 A 2		承認年月日		図面名称		縮尺	
						一級建築士（大臣）登録 第234581号 柏館 旨緒						(A3印刷：71%縮小)				雑詳細（1）		1/50	
																		A — 16	



岩手県釜石市小佐野町2-4-15 TEL 0193-23-9970 Fax 0193-23-1120  
(有)アルファシステム  
一級建築士事務所（岩手県知事）登録お（2204）第1003号 管理建築士  
一級建築士（大臣）登録 第234581号 柏館 旨緒

設計年月日  
R3 . 2 . 24

設計

検図

承認印

工事名称  
向定内集会所建設（建築主体）工事

図面番号

製図 A 2  
(A3印刷：71%縮小)

承認年月日  
.

図面名称  
雑詳細（1）

縮尺  
1/50

A — 16





[illegible]

Technical drawing of a window frame assembly, showing front, side, and detail views with dimensions in millimeters (mm).

**Front View (Top):**

- Overall width: 1650 mm (165 + 600 + 600 + 300).
- Overall height: 315 mm.
- Top flange height: 55 mm.
- Bottom flange height: 23.5 mm.
- Internal frame width: 300 mm.
- Internal frame height: 600 mm.

**Side View (Middle):**

- Overall height: 825 mm (82.5 + 260 + 16.5).
- Internal frame height: 260 mm.
- Bottom flange height: 16.5 mm.

**Detail View (Bottom):**

- Label: 315 (パネル高さ) - Panel height.
- Bottom flange height: 9 mm.
- Internal frame height: 315 mm.

**最高高さ600mm**

Dimensions shown in the drawing:

- Top section height: 50
- Middle section height: 71
- Bottom section height: 15
- Total height: ~600
- Section height: ~277
- Section height: ~479
- Base width: 60 (inner), 65 (outer)
- Base height: ~202

**最低高さ450mm**

Dimensions shown in the drawing:

- Top section height: 50
- Middle section height: 71
- Bottom section height: 15
- Total height: 450~
- Section height: ~277
- Section height: 329~
- Base width: 60 (inner), 65 (outer)
- Base height: 52

Technical drawing of a sliding door system, showing front and side views with dimensions and labels.

**Front View (Left):**

- Overall width: 200
- Overall height: 50~200
- Door panel width: 142
- Track width: 144
- Track depth: 6
- Track offset: 40
- Track height: 5
- Track segment width: 36
- Track segment length: 72~97
- Track offset: 8
- Track offset: 10
- Track offset: 16
- Track offset: 33
- Track offset: 50
- Track offset: 3~28

**Side View (Right):**

- Overall height: 145
- Track depth: 30
- Track offset: 30
- Track offset: 50
- Track offset: 30
- Track offset: 450~600

**Labels:**

- 間口 (Opening)
- 扉 (Door Panel)
- 幕板カバー-SL (Sliding Door Cover-SL)
- 幅調整材B (Width Adjuster B)
- 幅調整材A (Width Adjuster A)
- デッキ補強材B (Deck Reinforcement Material B)
- 幕板B (Sliding Door Panel B)

**Dimensions:**

- 200
- 50~200
- 142
- 144
- 6
- 40
- 5
- 36
- 72~97
- 8
- 10
- 16
- 33
- 50
- 3~28
- 145
- 30
- 30
- 50
- 30
- 450~600

①デッキ材

②大引SL

④大引連結材

Technical drawing of a rectangular frame. The front view (left) shows a width of 144 and a height of 50. The side view (right) shows a depth of 68 and a height of 86. The base of the side view is labeled 100.

Technical drawing of a square plate. The top view shows a square with a side length of 50. The side view shows a profile with a total height of 50.5. The top view also shows a smaller square with a side length of 23.5. The side view shows a profile with a total height of 11.5.

Technical drawing of a U-shaped profile. The drawing shows a cross-section of the profile with a width of 23.5 and a height of 11.5. The profile is symmetrical about a vertical centerline.

ねじ類	ステンレス(SUS)
④ 大引連結材	アルミ押出形材(A6063S) 陽極酸化・塗装複合皮膜
③ 調整式束柱H	SUS304+EPDM
② 大引SL	アルミ押出形材(A6063S) 陽極酸化・塗装複合皮膜
① デッキ材	木質樹脂(木粉+PE樹脂)
主 要 部 材	仕 様 ( 材 質 ・ 塗 装 )
型 式 コ ー ド	FHGS-AH□□□□ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">チーク</span>
参 考 品 名	木質樹脂デッキ ファンデッキHG 5尺×2.5間
デッキ高: GL+570	



# 構造設計標準仕様書

適用は□印を塗りつぶす。

## 1. 建築物の構造内容

(1) 工事名称  
向定内集会所建設（建築主体）工事

(2) 工事種別

☒新 築

☐増 築

☐増改築

☐改 築

(3) 構造種別

☒木造（W）

☐補強コンクリートブロック造（CB）

☐鉄骨造（S）

☐鉄筋コンクリート造（RC）

☐壁式鉄筋コンクリート造（WRC）

☐鉄骨鉄筋コンクリート造（SRC）

☐壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造（WPRC）

☐プレキャスト鉄筋コンクリート造（PRC）

☐

(4) 階 数

地下

階

地上

1 階

(5) 主要用途

地区集会所

(6) 屋上付属物

☐広告塔

☐高架水槽

kN

☐

☐煙 突

☐キュービクル

kN

☐

(7) 増築計画

☐有（

）

☒無

(8) 付帯工事

☐門塙

☒塙壁

☐カーリフト

☐

(9) 特別な荷重

☐エレベータ

人乗（ロープ式 油圧式）

☐リフト

kN

☐ホイスト

kN

☐

☐倉庫積載床用

N/m<sup>2</sup>

☐

☐

☐

(10) その他

## 2. 使用構造材料

(1) コンクリート

適用箇所	種 類	設計基準強度 F <sub>c</sub>	N/mm <sup>2</sup>	鋼管理理強度 F <sub>m</sub>	N/mm <sup>2</sup>	スランプcm	所要 空気量%
捨コンクリート	普 通	18				18	
内部土間コンクリート	普 通	21				15	
基礎、基礎梁	普 通	21		24		15	5
外部土間等	普 通	21				15	
ラップルコンクリート	普 通	18				15	

F<sub>m</sub>=Max(F<sub>c</sub>,F<sub>d</sub>)+nSn mSn 構造体強度補正

・計画供用期間の級：

☒短期（18）

☐標準（24）

☐長期（30）

（ ）内数値は、耐久設計基準強度：F<sub>d</sub>（N/mm<sup>2</sup>）を示す。

(2) コンクリートブロック（CB）

☐A種

☐B種

☐C種

厚

☐100、

☐120、

☐150、

☐190、

(3) 鉄筋

	種 類	径	使用箇所	継手工法
異形鉄筋	<input checked="" type="checkbox"/> SD295A	D16以下	基礎詳細図による	<input checked="" type="checkbox"/> 重ね継手
	<input type="checkbox"/> SD295B			(D16以下)
	<input type="checkbox"/> SD345	D19以上	基礎詳細図による	<input type="checkbox"/> ガス圧接継手
	<input type="checkbox"/>			(D19以上)
丸 鋼	<input type="checkbox"/> SR235			<input type="checkbox"/> 特殊継手
溶接金網	<input type="checkbox"/>	φ6-150×150		( )

(4) 鉄骨

	種 類	使用箇所	現場溶接	備 考		
鋼 材	<input type="checkbox"/> SS400	<input type="checkbox"/> SS490	<input type="checkbox"/> SN400A,B,C	P.L. 梁	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
	<input type="checkbox"/> STKR400	<input type="checkbox"/> STKR490		柱・梁	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
	<input type="checkbox"/> SWH400	<input type="checkbox"/> STK400		梁	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
	<input type="checkbox"/> SSC400			妻梁・端梁・原形 梁止・前梁・柱等	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
	<input type="checkbox"/> SNR400B			ブレース	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
					<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無

(5) ボルト

☐高力ボルト

普通、F10T

☐特殊、S10T

確定品（☐M12、☐M16、☐M20、☐M22）

☒中ボルト

M=12、16、20

強度区分

☒4.8

☐10.9

☒アンカーボルト

M12

M16

（

シングル

）

ダブル

）

☐SNR490B

☐Q頭付スタッドボルト

φ

L=

mm

使用箇所（☐柱

☐大梁

☐小梁）

(6) 屋根、床材、壁

☐A.L.C版

厚

☐折 版

型式

H=

厚

☐デッキプレート

型式

厚

☐キーストンプレート

型式

厚

☐特殊デッキプレート

☒仕上げ表参照

## 3. 地盤

(1) 地盤調査資料

☒有（☒敷地内

☐近隣）

☒ボーリング調査

☐平板載荷試験

☐水平地盤反力係数の測定

☐液状化判定

☐現場透水試験

☐土質試験

☐無（☒再調査予定

☒有

☐無）

☒スウェーデン式サウンディング（SS）試験

(2) 地盤調査計画

☐ボーリング調査

☐静的貫入試験

☐標準貫入試験

☐水平地盤反力係数の測定

☐土質試験

☒SS試験

☐平板載荷試験

☐試験堀（支持層の確認）

(3) 地盤調査及び試験杭の結果により、杭長、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある

(4) 柱状図

深度	土 質	換算N値 (回)	SS試験 測点番号	SS-4	換算qa (kN/m <sup>2</sup> )
4.4m	▼設計GL				
	盛土				
	転圧@300				
0.0	▼現状地盤				
0.25	表土	0			16.9
0.50	礫質土	150			30.0
0.75	盛土	52			31.2
1.00	礫質土	150			120
1.25		150			120
1.50		150			120
1.75					
2.00					
2.25					
2.50					
2.75					
3.00					
3.25					
3.50					
3.75					
4.00					
4.25					
4.50					
4.75					
5.00					
5.25					
5.50					
5.75					
6.00					
6.25					
6.50					
6.75					
7.00					
7.25					
7.50					
7.75					
8.00					
8.25					
8.50					
8.75					
9.00					

SS試験・ボーリング調査位置  
設計GL±0=F.H:20.53  
配置図

SS試験再調査予定位置  
配置図

## 4. 地業工事

(1) 直接基礎

☐ベタ基礎

☒布基礎

☐独立基礎

☐試験堀

☐有

☒無

基礎深さ GL-350

載荷試験

☐有

☒無

(2) 杭基礎

☐ベタ基礎

☒布基礎

☐独立基礎

☐試験堀

☐有

☒無

基礎深さ GL-350

載荷試験

☐有

☒無

(3) 杭基礎

☐ベタ基礎

☒布基礎

☐独立基礎

☐試験堀

☐有

☒無

基礎深さ GL-350

載荷試験

☐有

☒無

(4) 杭基礎

☐ベタ基礎

☒布基礎

☐独立基礎

☐試験堀

☐有

☒無

基礎深さ GL-350

載荷試験

☐有

☒無

(5) 杭基礎

☐ベタ基礎

☒布基礎

☐独立基礎

☐試験堀

☐有

☒無

基礎深さ GL-350

載荷試験

☐有

☒無

(6) 杭基礎

☐ベタ基礎

☒布基礎

☐独立基礎

☐試験堀

☐有

☒無

基礎深さ GL-350

載荷試験

☐有

☒無

(7) 杭基礎

☐ベタ基礎

☒布基礎

☐独立基礎

☐試験堀

☐有

☒無

基礎深さ GL-350

載荷試験

☐有

☒無

(8) 杭基礎

☐ベタ基礎

☒布基礎

☐独立基礎

☐試験堀

☐有

☒無

基礎深さ GL-350

載荷試験

☐有

☒無

(9) 杭基礎

☐ベタ基礎

☒布基礎

☐独立基礎

☐試験堀

☐有

☒無

基礎深さ GL-350

載荷試験

☐有

☒無

(10) 杭基礎

☐ベタ基礎

☒布基礎

☐独立基礎

☐試験堀

☐有

☒無

基礎深さ GL-350

載荷試験

☐有

☒無

(11) 杭基礎

☐ベタ基礎

☒布基礎

☐独立基礎

☐試験堀

☐有

☒無

基礎深さ GL-350

載荷試験

☐有

☒無

(12) 杭基礎

☐ベタ基礎

☒布基礎

☐独立基礎

☐試験堀

☐有

☒無

基礎深さ GL-350

載荷試験

☐有

☒無

(13) 杭基礎

☐ベタ基礎

☒布基礎

☐独立基礎

☐試験堀

☐有

☒無

基礎深さ GL-350

載荷試験

☐有

☒無

(14) 杭基礎

☐ベタ基礎

☒布基礎

☐独立基礎

☐試験堀

☐有

☒無

基礎深さ GL-350

載荷試験

☐有

☒無

(15) 杭基礎

☐ベタ基礎

☒布基礎

☐独立基礎

☐試験堀

☐有

☒無

基礎深さ GL-350

載荷試験

☐有

☒無

(16) 杭基礎

☐ベタ基礎

☒布基礎

☐独立基礎

☐試験堀

☐有

☒無

基礎深さ GL-350

載荷試験

☐有

☒無

(17) 杭基礎

☐ベタ基礎

☒布基礎

☐独立基礎

☐試験堀

☐有

☒無

基礎深さ GL-350

載荷試験

☐有

☒無

(18) 杭基礎

☐ベタ基礎

☒布基礎

☐独立基礎

☐試験堀

☐有

☒無

基礎深さ GL-350

載荷試験

☐有

☒無

(19) 杭基礎

☐ベタ基礎

☒布基礎

☐独立基礎

☐試験堀

☐有

☒無

基礎深さ GL-350

載荷試験

☐有

☒無

(20) 杭基礎

☐ベタ基礎

☒布基礎

☐独立基礎

☐試験堀

☐有

☒無

基礎深さ GL-350

載荷試験

☐有

☒無

(21) 杭基礎

☐ベタ基礎

☒布基礎

☐独立基礎

☐試験堀

☐有

☒無

基礎深さ GL-350

載荷試験

☐有

☒無

(22) 杭基礎

☐ベタ基礎

☒布基礎

☐独立基礎

☐試験堀

☐有

☒無

基礎深さ GL-350

載荷試験

☐有

☒無

(23) 杭基礎

☐ベタ基礎

☒布基礎

☐独立基礎

☐試験堀

☐有

☒無

基礎深さ GL-350

載荷試験

☐有

☒無

(24) 杭基礎

☐ベタ基礎

☒布基礎

☐独立基礎

☐試験堀

☐有

☒無

基礎深さ GL-350

載荷試験

☐有

☒無

(25) 杭基礎

☐ベタ基礎

☒布基礎

☐独立基礎

☐試験堀

☐有

☒無

基礎深さ GL-350

載荷試験

☐有

☒無

(26) 杭基礎

☐ベタ基礎

☒布基礎

☐独立基礎

☐試験堀

☐有

☒無

基礎深さ GL-350

載荷試験

☐有

☒無

(27) 杭基礎

☐ベタ基礎

☒布基礎

☐独立基礎

☐試験堀

☐有

☒無

基礎深さ GL-350

載荷試験

☐有

☒無

(28) 杭基礎

☐ベタ基礎

☒布基礎

☐独立基礎

☐試験堀

☐有

☒無

基礎深さ GL-350

載荷試験

☐有

☒無

(29) 杭基礎

☐ベタ基礎

☒布基礎

☐独立基礎

☐試験堀

☐有

☒無

基礎深さ GL-350

載荷試験

☐有

☒無

(30) 杭基礎

☐ベタ基礎

☒布基礎

☐独立基礎

☐試験堀

☐有

☒無

基礎深さ GL-350

載荷試験

☐有

☒無

(31) 杭基礎

☐ベタ基礎

☒布基礎

☐独立基礎

☐試験堀

☐有

☒無

基礎深さ GL-350

載荷試験

☐有

☒無

(32) 杭基礎

☐ベタ基礎

☒布基礎

☐独立基礎

☐試験堀

☐有

☒無

基礎深さ GL-350

載荷試験

☐有

☒無

(33) 杭基礎

☐ベタ基礎

☒布基礎

☐独立基礎

☐試験堀

☐有

☒無

基礎深さ GL-350

載荷試験

☐有

☒無

(34) 杭基礎

☐ベタ基礎

☒布基礎

☐独立基礎

☐試験堀

☐有

☒無

基礎深さ GL-350

載荷試験

☐有

☒無

(35) 杭基礎

☐ベタ基礎

☒布基礎

☐独立基礎

☐試験堀

☐有

☒無

基礎深さ GL-350

載荷試験

☐有

☒無

(36) 杭基礎

☐ベタ基礎

☒布基礎

☐独立基礎

☐試験堀

☐有

☒無

基礎深さ GL-350

載荷試験

☐有

☒無

(37) 杭基礎

☐ベタ基礎

☒布基礎

☐独立基礎

☐試験堀

☐有

☒無

基礎深さ GL-350

載荷試験

☐有

☒無

(38) 杭基礎

☐ベタ基礎

☒布基礎

☐独立基礎

☐試験堀

☐有

☒無

基礎深さ GL-350

載荷試験

☐有

☒無

(39) 杭基礎

☐ベタ基礎

☒布基礎

☐独立基礎

☐試験堀

☐有

☒無

基礎深さ GL-350

載荷試験

☐有

☒無

(40) 杭基礎

☐ベタ基礎

☒布基礎

☐独立基礎

☐試験堀

☐有

☒無

基礎深さ GL-350

載荷試験

☐有

☒無

(41) 杭基礎

☐ベタ基礎

☒布基礎

☐独立基礎

☐試験堀

☐有

☒無

基礎深さ GL-350

載荷試験

☐有

☒無

(42) 杭基礎

☐ベタ基礎

☒布基礎

☐独立基礎

☐試験堀

☐有

☒無

基礎深さ GL-350

載荷試験

☐有

☒無

(43) 杭基礎

☐ベタ基礎

☒布基礎

☐独立基礎

☐試験堀

☐有

☒無

基礎深さ GL-350

載荷試験

☐有

☒無

(44) 杭基礎

☐ベタ基礎

☒布基礎

☐独立基礎

☐試験堀

☐有

☒無

基礎深さ GL-350

載荷試験

☐有

☒無

(45) 杭基礎

☐ベタ基礎

☒布基礎

☐独立基礎

☐試験堀

☐有

☒無

基礎深さ GL-350

載荷試験

☐有

☒無

(46) 杭基礎

☐ベタ基礎

☒布基礎

☐独立基礎

☐試験堀

☐有

☒無

基礎深さ GL-350

載荷試験

☐有

☒無

(47) 杭基礎

☐ベタ基礎

☒布基礎

☐独立基礎

☐試験堀

☐有

☒無

基礎深さ GL-350

載荷試験

☐有

☒無

(48) 杭基礎

☐ベタ基礎

☒布基礎

☐独立基礎

☐試験堀

☐有

☒無

基礎深さ GL-350

載荷試験

☐有

☒無

(49) 杭基礎

☐ベタ基礎

☒布基礎

☐独立基礎

☐試験堀

☐有

☒無

基礎深さ GL-350

載荷試験

☐有

☒無

(50) 杭基礎

☐ベタ基礎

☒布基礎

☐独立基礎

☐試験堀

☐有

☒無

基礎深さ GL-350

載荷試験

☐有

☒無

(51) 杭基礎

☐ベタ基礎

☒布基礎

☐独立基礎

☐試験堀

☐有

☒無

基礎深さ GL-350

載荷試験

☐有

☒無

(52) 杭基礎

☐ベタ基礎

☒布基礎

☐独立基礎

☐試験堀

☐有

☒無

基礎深さ GL-350

載荷試験

☐有

☒無

(53) 杭基礎

☐ベタ基礎

☒布基礎

☐独立基礎

☐試験堀

☐有

☒無

基礎深さ GL-350

載荷試験

☐有

☒無

(54) 杭基礎

☐ベタ基礎

☒布基礎

☐独立基礎

☐試験堀

☐有

☒無

基礎深さ GL-350

載荷試験

☐有

☒無

(55) 杭基礎

☐ベタ基礎

☒布基礎

☐独立基礎

☐試験堀

☐有

☒無

基礎深さ GL-350

載荷試験

☐有

☒無

(56) 杭基礎

☐ベタ基礎

☒布基礎

☐独立基礎

☐

## 木質工事特記仕様書

### １．一般事項 ☒は適用項目を示すものとする。

- (１) 適用範囲  
※本仕様書は建築物及び工作物の構造上主要な部分に木材・木質材料を用いる工事に適用する。  
木造の構法は、建築基準法施行令第3章3節に規定する木造軸組工法に適用する。
- (２) 設計図書  
設計図書とは標準図、特記仕様書、設計図、指示書（現場説明書及び質疑回答書を含む）をいう。
- (３) 準拠する図書  
設計図書に記載なきものは下記の図書に準拠する。（※全て最新版による。）  
「木造住宅工事仕様書」（住宅金融支援機構監修）  
「公共建築木造工事標準仕様書 平成31年版」（国土交通大臣官房官庁営繕部監修）  
「木造計画・設計基準 平成23年版」（国土交通大臣官房官庁営繕部監修）  
「木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2008年版）」（日本住宅・木材技術センター）  
「日本工業規格 JIS A3301-2015 木造校舎の構造設計標準」(2015年改訂版)  
上記の仕様書に記載無き場合は、公共規格又はこれに準ずる規格を適用する。
- (４) 設計図書の優先順位  
設計図書の優先順位は下記による。  
1. 指示書（現場説明書及び質疑回答書） 2. 設計図 3. 特記仕様書 4. 標準図
- (５) 疑義  
疑義を生じた場合や工法の提案を行いたい場合には監理者に申し出、その処理方法について協議する。
- (６) 製作要領書及び施工計画書の作成・提出  
工事に先立ち、製作要領書や施工計画書を作成し、監理者の承諾を受ける。
- (７) 施工図及びプレカット図の提出  
工事に先立ち各種の施工図を作成し監理者の承諾を受ける。また、必要に応じて接合部のモックアップの作成を行う。プレカット工場を使用する場合には、プレカット図を施工図と位置づける。
- (８) 製作工場・プレカット工場の選定、承諾  
設計図書に基づき、当該工事の規模、加工内容に応じた技術と設備を備え、かつ自主管理能力を有した製作工場、プレカット工場及び木工技能者を選定し、監理者の承諾を受ける。
- (９) プレカット部材の品質確保  
加工精度や加工効率の確保のため、プレカット工場の管理者は、(一社)中大規模木造プレカット技術協会主催する講習会の修了者とする。
- (10) プレカット部材の瑕疵保証  
主架構には、中大規模木造プレカット部材瑕疵保証、及び中大規模木造プレカットミス賠償責任保険（運営：中大規模木造プレカット部材共済会）を付与された部材を推奨する。
- (11) 各種試験・検査報告書の提出  
施工者は、各種工事の試験・検査結果ならびに施工記録を提出する。

### ２．材料の品質 ☒は適用項目を示すものとする。

- 2.1 木質材料
- (１) 構造用製材  
本項の内容は特記無き限り、構造用製材を対象とし、製材の日本農林規格に準拠する。
- ☒【構造用製材】
- | 部 位 | 樹種名  | 強度等級 | 乾燥処理  |  |  |
|-----|------|------|-------|--|--|
| 柱   | スギKD | 無等級  | S2020 |  |  |
| 梁   | 米松KD | 無等級  | S2020 |  |  |
| 垂木  | スギKD | 無等級  | S2020 |  |  |
| 間柱  | スギKD | 無等級  | S2020 |  |  |
| 母屋  | 米松KD | 無等級  | S2020 |  |  |
| 小屋束 | スギKD | 無等級  | S2020 |  |  |
- ☐ 主要構造部には機械等級区分製材を用いることを原則とする。  
背割りを行う部材の有無  
☐ 有（背割りを行う場合は、見えがかり部・相欠き部材・構造用合板の釘接合面には行わない。）  
☒ 無  
☒ 強度等級を指定した材料は特に、材料の欠点の節、目切れ等注意到して材料を選定し、仕口や接合部に欠点が生じないように注意する。  
☒ 材の曲がりについては、上記にかかわらず目視等級１級相当とする。

- (２) 構造用集成材、構造用単板積層材 (LVL)  
本項の内容は特記無き限り、集成材及び単板積層材の日本農林規格に準拠する。
- ☒【構造用集成材・LVL】  
ラミナの枚数や特殊な試験については必要に応じて特記する。
- | 部 位 | 樹種名 | 品 名<br>(LVLの場合は区分) | 強度等級<br>(LVLの場合は曲げ性能) | 材面の品質 | 使用環境 | ホルムアルデヒド<br>放 散 量 |
|-----|-----|--------------------|-----------------------|-------|------|-------------------|
| 主台  | 唐松  | 120×120            | E95 - F270            | 2種    | ○    | F☆☆☆☆             |
| 大引  | 唐松  | 90×90              | E95 - F270            | 2種    |      | F☆☆☆☆             |
| 梁   | 唐松  | 下記以外               | E105 - F300           | 2種    |      | F☆☆☆☆             |
| 母屋  | 唐松  | 120×120            | E95 - F315            | 2種    |      | F☆☆☆☆             |
| 棟木  | 唐松  | 90×90              | E95 - F270            | 2種    |      | F☆☆☆☆             |
| 柱   | 唐松  | 105×105、120×120    | E95 - F315            | 2種    |      | F☆☆☆☆             |
| 小屋束 | 杉   | 120×120            | E65 - F255            | 2種    |      | F☆☆☆☆             |
- (３) 構造用合板、構造用パネル (OSB)、パーティクルボード、MDF等  
本項の内容は特記無き限り、合板及び構造用パネルの日本農林規格又はパーティクルボード及びMDF等の日本工業規格に準拠する。
- ☒【構造用合板・構造用パネル (OSB)、パーティクルボード、MDF等】  
単板の樹種及び構成や防虫処理については必要に応じて特記する。
- | 部 位 | 強度等級<br>(OSBの場合は曲げ性能) | 板面の品質<br>(注1) | 接着の程度<br>(構造用合板の場合に記入) | 寸 法  | ホルムアルデヒド<br>放 散 量 |
|-----|-----------------------|---------------|------------------------|------|-------------------|
| 耐力壁 | 2 級                   | C-D           | 特種                     | 9mm  | F☆☆☆☆             |
| 下地材 | 2 級                   | C-D           | 特種                     | 24mm | F☆☆☆☆             |
| 野地板 | 2 級                   | C-D           | 特種                     | 12mm | F☆☆☆☆             |

注1. 構造用合板の板面の品質は、通常は１級がB-C、２級がC-D  
OSBの場合は、表面及び裏面に木材の小片の浮き上がりがなく及び側面の切断面が平滑であること。  
注2. 特注品の場合は納期に注意すること(2ヶ月以上)

### (４) 丸太・そま角 ☐【丸太・そま角】

本項の内容は特記無き限り、素材の日本農林規格などに準拠する。

部 位	樹種名	縦振動ヤング係数区分	等 級
(記入例)		Ef150など測定した縦振動ヤング係数で定められる区分で示す	材の品質を1等、2等、3等、4等で示す

#### 2.2 接合具

接合具の材質は一般普及品を使用することを原則とし、特殊なものを使用したい場合は特記とする。  
接合具に錆を生じる恐れのある場合は適切な防錆処理を施す。鋼材の表面処理は特記による。標準めっき処理は溶融亜鉛めっき鋼板：Z27(JIS G 3302) 電気亜鉛めっき：E<sub>p</sub>-Fe/Zn8/CN2とする。

#### (１) くぎ、木ネジ

種 類	材 質	径 (mm)	長さ (mm)	使用箇所	頭部／胴部形状
<input checked="" type="checkbox"/> N釘	鉄	JIS G 3532	SWN-N		耐力壁、床板、屋根 血眼網目付き/スムース
<input checked="" type="checkbox"/> CN釘	鉄	JIS G 3532	SWN-N		耐力壁、床板、屋根 平頭フラット
<input checked="" type="checkbox"/> ZN釘	鉄	JIS G 3532	SWN-N		補強金物 平頭 フラットノバード
<input checked="" type="checkbox"/> S釘	ステンレス	JIS G 4309	SUS304		耐力壁、床板、屋根 網目付き/スス
<input checked="" type="checkbox"/> GN釘	鉄	JIS G 3532	SWN-N		石膏ボード用 平頭 フラット
<input type="checkbox"/>					

#### (２) 木質構造用ビス（参考）

製品名	径 (mm)	長さ (mm)	使用箇所
<input checked="" type="checkbox"/> タルキックⅡ（参考）	5.5	105	垂木45×60 ひねり金物 ST-12同等品
<input type="checkbox"/> タルキックⅡ（参考）	5.5	120	垂木45×75 ひねり金物 ST-12同等品
<input type="checkbox"/> タルキックⅡ（参考）	5.5	135	垂木45×90 ひねり金物 ST-12同等品
<input type="checkbox"/> タルキックⅡ（参考）	5.5	150	垂木45×105 ひねり金物 ST-12同等品

#### (３) ボルト、ナット、座金

ボルト・ナットはJIS B 1180、JIS B 1181の規格及び付属書JAによる。

種 類		材 質		径 (mm)	長さ (mm)	防錆処理、使用箇所など
<input checked="" type="checkbox"/> 呼び径六角ボルト	<div>鉄</div>	JIS B 1180	強度区分4.6又は、 4.8、4T以上に 適合する炭素鋼	M12		<input checked="" type="checkbox"/> 電気亜鉛めっき
<input checked="" type="checkbox"/> 有効径六角ボルト		JIS B 1181				(                      )
<input type="checkbox"/> 全ネジボルト		JIS B 1051				
<input type="checkbox"/>		ステンレス			JIS G 4303	SUS304
<input checked="" type="checkbox"/> アンカーボルト	<div>鉄</div>	JIS G 3101	SS400 SNR400B、490B SWRM8～10 SWRCH8～10	M12  M16		<input checked="" type="checkbox"/> 電気亜鉛めっき
<input type="checkbox"/>		JIS G 3138				(                      )
		JIS G 3505				
		JIS G 3507-1				
	ステンレス	JIS G 4303	SUS304		生地	
<input checked="" type="checkbox"/> 角座金	<div>鉄</div>	JIS G 3131	SPHC SS400			<input checked="" type="checkbox"/> 電気亜鉛めっき
<input checked="" type="checkbox"/> 丸座金					(                      )	
<input type="checkbox"/>		ステンレス		JIS G 4303	SUS304	生地

・設計図及び標準図記載以外の座金は、特記なき限り用途と(引張、せん断)に下表により使い分ける。  
尚、ボルトとの組み合わせにより耐力が決まっている羽子板ボルト等の座金は、その仕様準ずる。(単位：mm)

座金の大きさ		ボルト径					
		8	10	12	16	20	24
引張を受けるボルト	厚さ	4.5	4.5	6	9	9	13
	角座金の一边	40	50	60	80	105	125
	丸座金の直径	45	60	70	90	120	140
せん断を受けるボルト	厚さ	3.2	3.2	3.2	4.5	6	6
	角座金の一边	25	30	35	50	60	70
	丸座金の直径	30	35	38	48	58	68

#### (４) ドリフトピン、ラグスクリュー、木栓

種 類	材 質		径 (mm)	長さ (mm)	防錆処理、使用箇所など	
<input checked="" type="checkbox"/> ドリフトピン	鉄	JIS G 3101 JIS G 3505 JIS G 4051	SS400 SNRMS-12 S10C	12	120	<input checked="" type="checkbox"/> 電気亜鉛めっき <input type="checkbox"/> ( )
<input type="checkbox"/> ラグスクリュー (コーチボルト)	鉄	JIS B 1180 JIS B 1051 JIS G 3101	強度区分 4.6 又は、4.8 SS400			<input type="checkbox"/> 電気亜鉛めっき <input type="checkbox"/> ( )
<input type="checkbox"/> 木栓	堅木 (樹種: )					

・ドリフトピンの先端テーパ一部分の長さ：10mm以下  
・木栓はナラ・ケヤキ・カン等、気乾比重0.6以上の広葉樹で、節や目切れ等の欠点の無いものとし先端は、3～5mm程度面取りすること。

#### (５) 接合金物、鋼材（参考）

種 類	品 名	短期許容接合耐力	メーカー等	防錆処理、使用箇所など
<input checked="" type="checkbox"/> 筋かい耐力壁の接合部	2倍筋かい	3.37 kN	タナカ	<input checked="" type="checkbox"/> 溶融亜鉛めっき <input type="checkbox"/> 電気亜鉛めっき <input type="checkbox"/> 溶融亜鉛めっき <input type="checkbox"/> 電気亜鉛めっき
	ビス止めホ-ド'ウ	15 kN～35 kN	クリヤマ	<input checked="" type="checkbox"/> ダクロライズD <input type="checkbox"/> 電気亜鉛めっき
<input checked="" type="checkbox"/> 柱頭・柱脚接合部	特材用ビス止めHD	15 kN～25 kN	クリヤマ	<input checked="" type="checkbox"/> ダクロライズD <input type="checkbox"/> 電気亜鉛めっき
	ホ'グ'フナー (柱頭)	15 kN	タナカ	<input checked="" type="checkbox"/> 溶融亜鉛めっき <input type="checkbox"/> 電気亜鉛めっき
	シ-ゴ-	10 kN	タナカ	<input checked="" type="checkbox"/> 溶融亜鉛めっき <input type="checkbox"/> 電気亜鉛めっき
<input checked="" type="checkbox"/> 構架材接合部	ホ-ド'ウ'ウ	15 kN～35 kN	タナカ	<input checked="" type="checkbox"/> 溶融亜鉛めっき <input type="checkbox"/> 電気亜鉛めっき
	巾広短冊金物	7.7 kN	タナカ	<input checked="" type="checkbox"/> 合金めっき鋼板
<input type="checkbox"/> 垂木金物	ひねり金物SD	1.6 kN	タナカ	<input checked="" type="checkbox"/> 合金めっき鋼板
<input type="checkbox"/> 垂木金物	あおり止め金物	3.84 kN	STS160	カナイ
<input type="checkbox"/> 鋼材	座付きボルトM16			<input type="checkbox"/> 溶融亜鉛めっき <input checked="" type="checkbox"/> 電気亜鉛めっき
<input type="checkbox"/> 鋼材	GPL、BPL	SS400		<input type="checkbox"/>

- (６) 接着剤（接着接合）  
ここでいう接着接合とは、建設現場で用いるものを対象とする。

製品名	使用箇所	備 考
<input checked="" type="checkbox"/> 木工用 CH38 (参考)	木工事	F☆☆☆☆
<input checked="" type="checkbox"/> 床職人 (参考)	鋼製床、ﾌﾞﾗｯｸ	F☆☆☆☆
<input type="checkbox"/>		

### ３．耐久性（防腐・防蟻・耐候処理）

- (１) 木材の防腐・防蟻処理  
木材の防腐・防蟻処理は以下のいずれかとする。  
・高耐久材の使用（注：部材は心材あるいは心持ち材または集成材とする）  
○工場処理材（注：現場の加工、切断、穿孔箇所などは、現場処理に準じる）  
保存処理材（性能区分）： K5 K4 **K3** K2 K1  
AQ認証保存処理材： 1種 2種 **3種**  
○現場処理： 塗布、吹付、浸漬（特記無き場合は、処理量： 300 ml/m<sup>2</sup>、処理回数：2回）  
（注：接合部、亀裂部、コンクリートなどに接する部分は、特に入念な処理を行う。  
給排水用塩化ビニル管に接する部分は、薬剤による損傷を防ぐため管を保護する。  
処理方法は、日本しろあり対策協会の標準仕様書に準じる。）  
使用薬剤：日本しろあり対策協会または日本木材保存協会の認定品とする。

使用部位	高耐久材	工場処理材	現場処理
土台	<input type="checkbox"/> ( )	<input checked="" type="checkbox"/> K3 <input type="checkbox"/> ( )	<input checked="" type="checkbox"/> 塗布
外周柱下部1m	<input type="checkbox"/> ( )	<input type="checkbox"/> K3 <input type="checkbox"/> ( )	<input checked="" type="checkbox"/> 現場塗布
外周筋かい下部1m	<input type="checkbox"/> ( )	<input type="checkbox"/> K3 <input type="checkbox"/> ( )	<input checked="" type="checkbox"/> 現場塗布
外周木質系面材耐力壁下部1m	<input type="checkbox"/> ( )	<input type="checkbox"/> K3 <input type="checkbox"/> ( )	<input checked="" type="checkbox"/> 現場塗布
水周り	<input type="checkbox"/> ( )	<input type="checkbox"/> K3 <input type="checkbox"/> ( )	<input type="checkbox"/> ( )
その他	<input type="checkbox"/> ( )	<input type="checkbox"/> K3 <input type="checkbox"/> ( )	<input type="checkbox"/> ( )

#### (２) 土壌処理

- ☐防蟻薬剤による処理：薬剤（ ）  
特記無き場合は、日本しろあり対策協会または日本木材保存協会認定品、あるいはこれと同等以上の効力を有するものとする。  
☐防蟻薬剤による処理と同等以上の対策（ べた基礎 ）  
☒土壌処理箇所 ☒北海道 ☒東北 ☒北陸 ☒（ ）  
注：処理範囲は、外周部布基礎の内側、内部布基礎の周辺20ｃｍ、東石等の周囲20ｃｍを標準とし、処理方法は日本しろあり対策協会の標準仕様書に準じる。

#### (３) 耐候処理（塗装）：劣悪環境に置かれる木材等を対象とする。

部位	製品名（会社名）	塗り回数

### ４．材料品質の検査方法 ☒は適用項目を示すものとする。

#### (１) 構造用製材

現場または加工工場に搬入された製材等は、加工に先立ち下記の要領で受け入れ検査を実施し、速やかに監理者に報告する。また係員の立会いを要する検査については、指定された試験要領に基づく、適時抜き取り検査を実施する。社内検査で試験本数や抜き取り率の指定がない場合は原則全数とする。検査の結果、性能を満たさない材料については適用箇所を変更する等の措置を行う。

#### 検査項目

- ☒ 含水率測定 ☐ 抜き取り（部位： 柱：10％ 、 梁：100％ ） ☐ 全数  
☐ ヤング率測定 ☒ 抜き取り（部位： 集成材（JAS材以外） ） ☒ 全数  
☒ 材種・等級の確認 ☐ 抜き取り（部位： ） ☒ 全数  
☐ 外観検査 ☐ 抜き取り（部位： ） ☒ 全数  
☒ 寸法検査 ☐ 抜き取り（部位： ） ☒ 全数

- ☒ 日本農林規格の目視等級区分構造用製材、機械等級区分構造用製材を使用する場合は製造工場の認定書の写しを確認する。  
☒ 含水率測定の場合は、監理者の指示による。  
☐ ( )  
○材種・等級は表示を確認し、外観・寸法検査は日本農林規格に準じて行う。  
○含水率やヤング係数は刻印された表示の確認を原則とし、全乾重量法や静的ヤング係数試験は公的試験場で行う。含水率計は日本住宅・木材技術センター認定品を、動的ヤング係数は全国木材組合連合会の認定品を用いて測定することを原則とする。  
○全乾重量法や静的ヤング係数試験は1荷口につき確認する本数で示す。試験体は実際に使用する同一部材の中から抽出し、木材の試験方法（JIS Z 2101）に準ずる。  
・特記無き場合は、含水率計による測定は、製材加工後の工場出荷前に行う。  
・特記無き場合は、動的試験は製材後（継手などの工場加工前）に行う。

#### (２) 構造用集成材、構造用単板積層材 (LVL)、構造用合板、構造用パネル等

- 搬入される全製品について受け入れ検査を実施し、特記仕様書等で指定された所定の製品であることを、日本農林規格 (JAS)－MDF等の場合は日本工業規格 (JIS)－の表示ラベルまたは出荷証明書で確認すること。  
(３) 接合具  
○現場または加工工場に搬入される全ての接合具について受け入れ検査を実施し、材質径、長さ製品名等について特記仕様書等で指定された所定の製品であることを確認すること。  
○同等性能の接合具を用いる場合には、その主旨を監理者に申し出、承諾を得る。  
☐ 木製品の接合具については、予め曲げ試験などにより性能の確認を行いその結果を報告する。また必要に応じて立会いによる性能確認を実施する。

#### (４) 接合金物

- 現場または加工工場に搬入される全ての接合金物について受け入れ検査を実施し、材質、形状製品名等について特記仕様書等で指定された所定の製品であることを確認すること。  
○同等認定品や性能評価品等を用いる場合には、その主旨を監理者に申し出、承諾を得る。

### ５．木材の加工


- (１) 刻み時の注意  
製材に背割りのある場合、曲げ材は断面の弱軸と背割りの方向を一致させる。
- (２) 加工寸法の精度  
図面表示は仕上がり寸法である。  
下記を除き、2. 1木質材料に示す材の仕上げ後の断面寸法の許容差は各々の農林規格の寸法許容差に準ずる。ただし、上限値が制限なしとなっている場合は、協議による。  
材種： ☐ ( ) ☐ ( )  
構造用製材、構造用集成材、LVLの材長  
☐ 軸組み工法の継ぎ手仕口及び金物工法の場合：±1.0mm以下  
せん断用ボルト穴径（dはボルト径）  
集成材： d＋1.0mm（d≦M12）、d＋2.0mm（d≧M16）  
接合金物等： d＋1.0mm（d≦M12）、d＋1.5mm（d≧M16）  
ドリフトピン・木栓の木材の穴径： d±0mm (dはドリフトピン・木栓径)  
ドリフトピンの接合金物等の穴径： d＋1.0mm (d≦M12)、d＋1.5mm (d≧M16) (dはドリフトピン径)  
(３) 表面仕上げ  
☐製材（ ） ☐集成材・LVL（ ） ☐その他（ ）  
(４) 面取り  
☐柱：（ ） mm ☐梁：（ ） mm  
(５) 加工状況の検査  
☒立ち会い検査  
☒外観検査 ☐加工寸法検査  
☒施工者自主検査記録の提出〔 〕

### ６．運搬・建方

- (１) 輸送計画  
製品の輸送に当たっては、建方計画に支障がないように、道路状況、現場作業手順等を考慮し十分な検討を行う。また、輸送時に製品の品質を損なわないようにする。  
☒ 輸送計画書の提出〔 〕
- (２) 集積・保管  
集積の際は適当な受け台などを設け、材にねじれや曲がりの損傷を与えないように注意する。降雪や降雨に対する保護としてシート養生を行う。ただし、エアコンの効いた室内は乾燥による割れが発生するため避ける。  
☐ 集積場の確認〔 〕
- (３) 建方計画  
☒ 建方計画書の提出  
アンカーボルトの施工方法、建方スペース、建方機械、搬入・仕分け、地組み、足場計画、建方、養生、安全対策などについて検討し、建方計画書としてまとめる。
- (４) 施工時の安全性  
建方作業中および作業後、横架材上に諸材料または機械などの重量物を積載する場合、あるいは柱に大きな引張力を与えるなどの場合は監理者の承認を受ける。また、強風などによる諸外力に対しては、必要に応じて仮設補強等の措置を施す。  
☒ 施工時の安全性に対する検討書の提出 ☒ 施工時荷重条件の通知
- (５) アンカーボルトの施工  
○芯出しは、型板を用いて基準墨に正しく合せて適切な機器等で正確に行う。  
○アンカーボルトは鉄筋等を用いて組立て、適切な補助材で固定しコンクリートの打ち込みを行う。  
・アンカーボルトはダブルナットとする。 ☐適用除外〔 〕  
○土台の穴あけはコンクリート打設後、ボルトの通り芯からのずれを実測してから行う。
- (６) 建方精度  
○建方の精度基準は下記による。  
☒建物の倒れ： ☒ e≦H／2500+10mm かつ e≦50mm  
☐〔 〕  
☒土梁の水平度： ☒ e≦L／700+5mm かつ e≦15mm  
☐〔 〕  
☒節点間のレベル差： ☐〔 〕  
☒建物のわん曲： ☒ e≦L／2500mm かつ e≦25mm  
☐〔 〕  
☒柱据え付け面の高さ及びアンカーボルトの位置  
柱据え付け面の基準高さからの誤差： ☐±3mm以下 ☐〔 〕  
通り芯からの誤差： ☐±3mm以下 ☐〔 〕  
階高： ☐－5mm≦△H≦＋5mm  
☐〔 〕
- ・建方精度に不具合が発生した場合は速やかに監理者に報告し対応策を協議する。

#### (７) 施工状況の検査

- ☒ アンカーボルト施工時の立会い検査  
☒ 施工者自主検査記録の提出〔 〕  
☐ 地組み時の立会い検査  
☐ 施工者自主検査記録の提出〔 〕  
☒ 建方時の立会い検査  
☒ 施工者自主検査記録の提出〔 〕  
☒ 建方の施工状況の検査  
☒ 施工者自主検査記録の提出〔 〕  
☒ 最終確認  
工事中に発生するボルトの緩み、接合具および接合金物に影響する材の割れ、接着面のはがれ等注意到注意を払い、不具合が発生した場合は是正する。補強の必要がある場合は速やかに監理者に報告し対応策を協議する。  
☒ 施工者自主検査記録の提出〔 〕

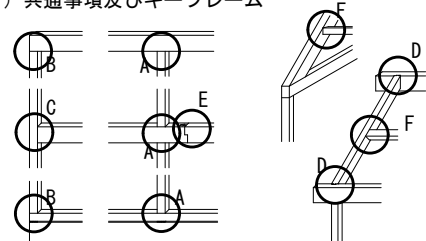
訂 正	年 月 日	 岩手県釜石市小佐野町2-4-15 Tel 0193-23-9970 Fax 0193-23-1120 (有)アルファースシステム 一級建築士事務所（岩手県知事）登録お(2204) 第1003号 管理建築士 一級建築士（大臣）登録 第234581号 柏館 旨緒	設計年月日 R3 . 2 . 24	設計	検図	承認印	工事名称 向定内集会所建設（建築主体）工事	図面番号
	年 月 日				製図 A 2 (A3印刷：71%縮小)	承認年月日 . .	図面名称 木質工事特記仕様書	縮尺 Non
備 考								



# 木造軸組接合部標準図(2)

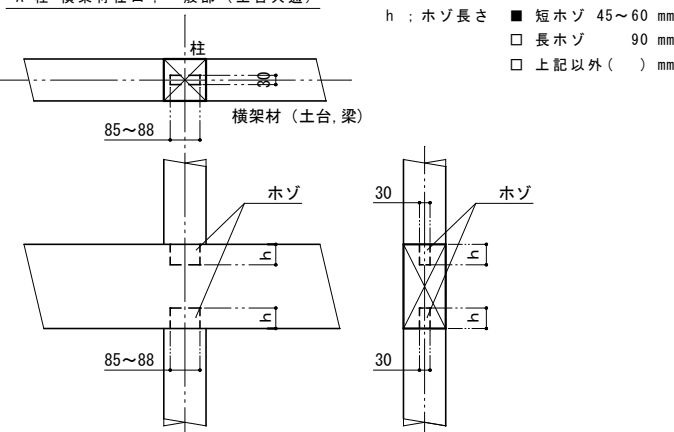
## 5. 軸組標準接合部

### (1) 共通事項及びキーフレーム

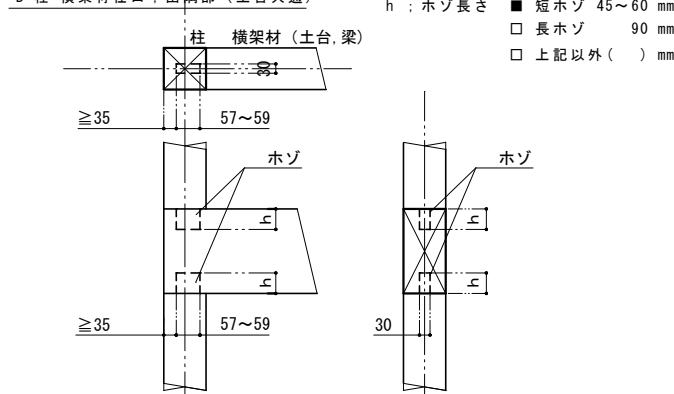


### (2) 標準的な継手仕口 (mm)

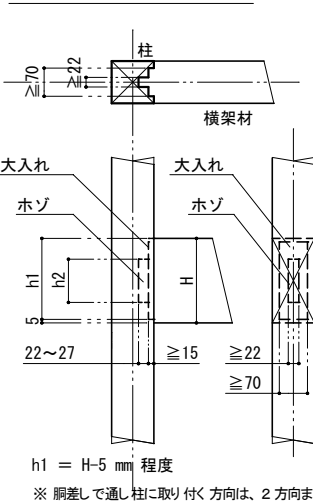
#### A 柱-横架材仕口：一般部（土台共通）



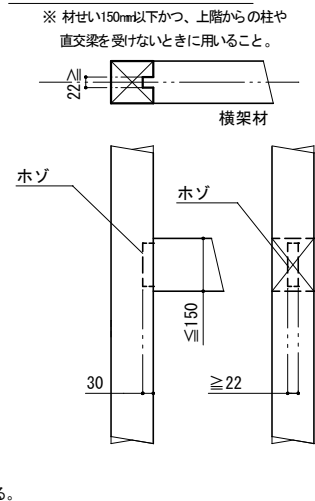
#### B 柱-横架材仕口：出隅部（土台共通）



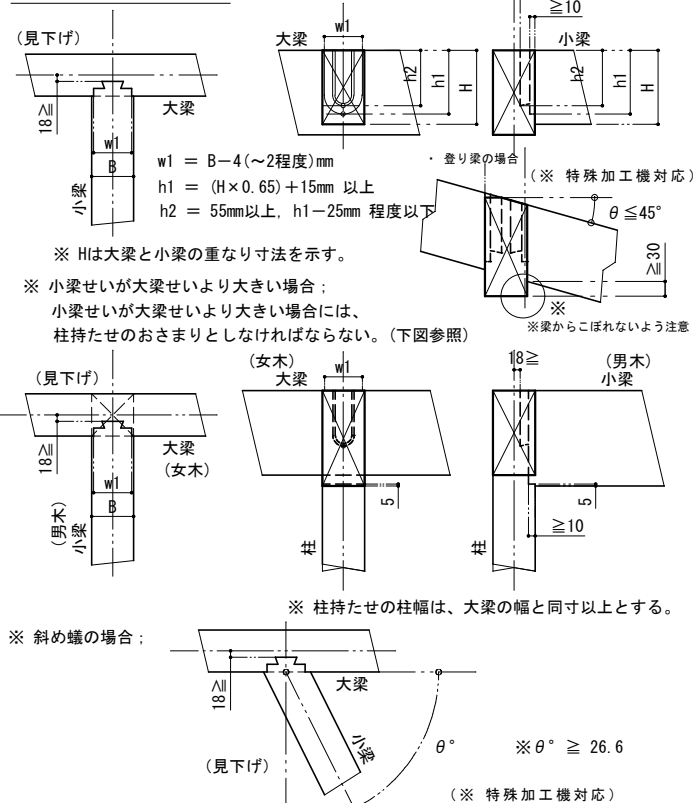
#### C 通柱-横架材仕口：胴差し



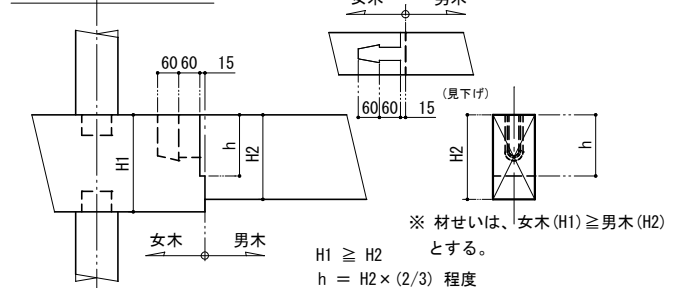
#### C 通柱-横架材仕口：桁差し



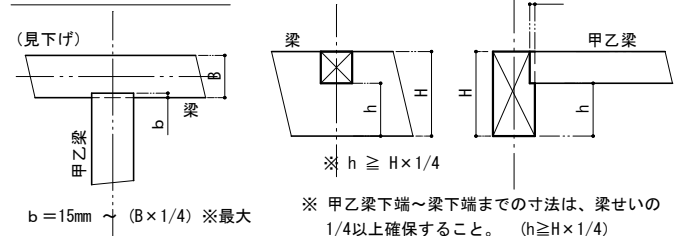
### D 大梁-小梁仕口：蟻仕口



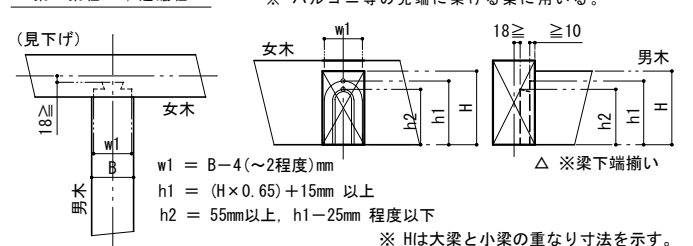
### E 梁-梁継手：腰掛継ぎ



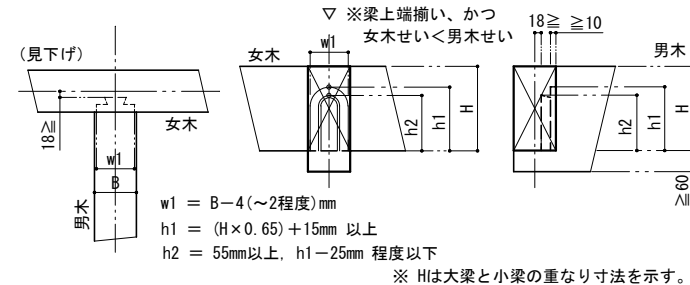
### F 梁-甲乙梁仕口：大入れ



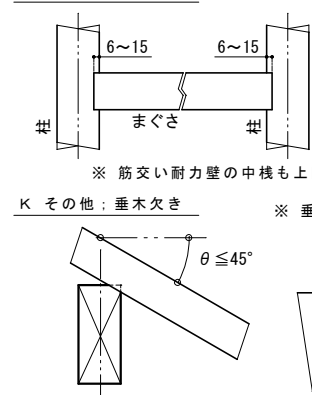
### G 梁-梁仕口：逆蟻仕口



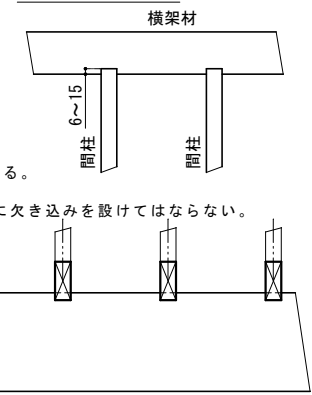
### H 梁-梁仕口：茶臼仕口



### I その他：まぐさ欠き



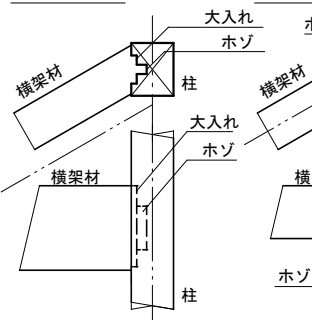
### J その他：間柱欠き



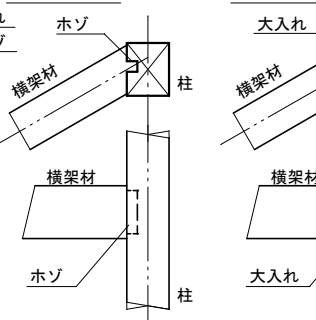
### (3) 特殊加工機を用いた標準的な継手仕口 (mm)

特殊加工機を用いることにより対応が可能な継手仕口の一例を、本節に示す。  
特殊加工機を用いた継手仕口は、加工工場が限定されるので注意すること。  
特殊加工機を用いた継手仕口は、その形状により加工コストが増すので注意すること。

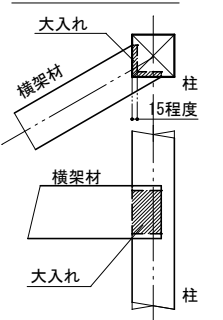
### L 斜め胴差し



### M 斜め桁差し



### N 斜め柱差し大入れ

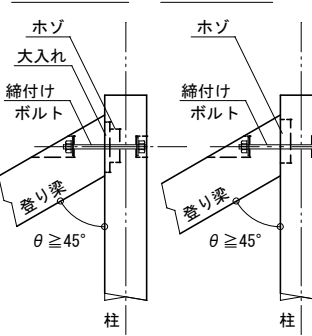


※ L, Mともに、梁幅が柱からこぼれない範囲で使い、柱断面を調整して使用すること。

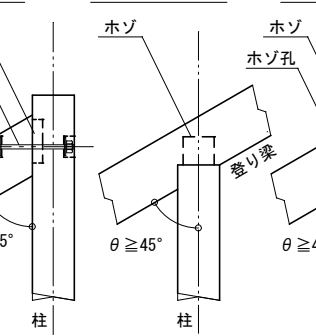
※ L, Mともに、柱梁の緊結には引きボルトの代わりにコーナー金物を横使いとする。

使用するコーナー金物は、羽子板同等以上の引張耐力を有するものとする。

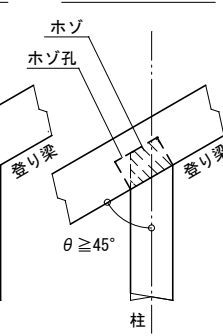
### O 登り胴差し



### P 登り桁差し



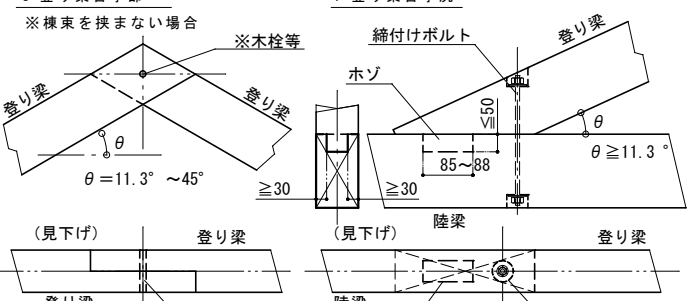
### Q 登り斜めホゾ



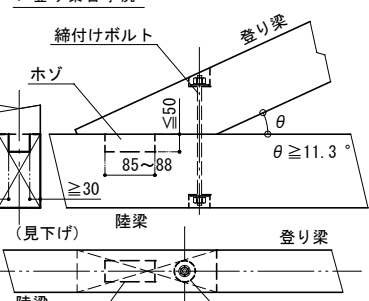
### R 登り座付きホゾ



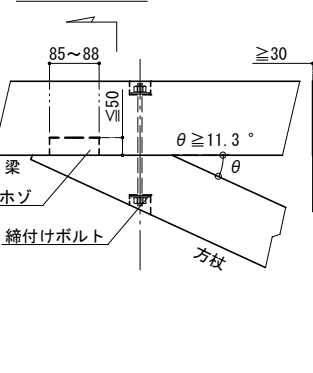
### S 登り梁合掌部



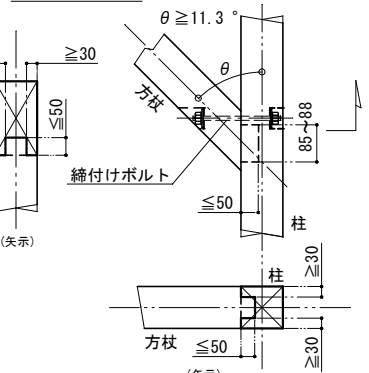
### T 登り梁合掌尻



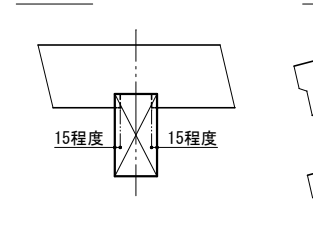
### U 方杖-梁仕口



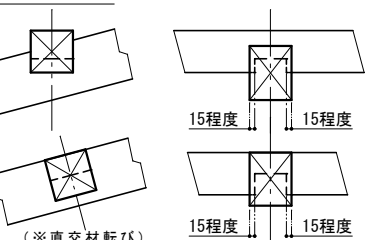
### V 方杖-柱仕口



### W 渡り頭

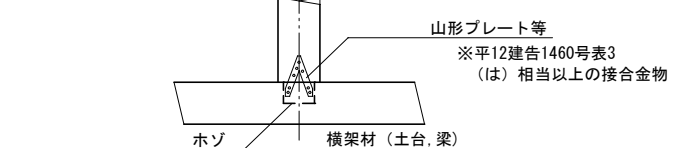


### X 登り梁渡り頭



### (4) 継手・仕口の補強金物

・耐力壁枠柱の柱脚・柱頭においては、耐力壁による引拔力を計算し、引抜力以上の耐力を保有する接合金物を使用すること。  
・上記以外の柱脚接合部には、5.1kN以上の引張耐力を保有する接合金物（平12建告1460号表3に対応する表符号の"は"相当以上）を使用すること。



(梁-梁 接合部)

・水平構面の外周部横架材接合部

においては、床水平構面による

引抜力を計算し、引抜力以上の

耐力を保有する接合金物を使用

すること。

・上記以外の接合部には、7.5kN

以上の引張耐力を保有する接合

金物を使用すること。（右図参照）

(小梁端部接合部)

・小梁端部接合においては、

地震力によって外れ落ちる

ことのないよう、最低3.0kN

以上の引張耐力を保有する

接合金物で緊結すること。

・化粧おさまりの場合

短冊金物 ビス又はボルト留め

短期基準引張耐力7.5kN以上

山形プレート等

※平12建告1460号表3

(は) 相当以上の接合金物

面引きボルト

角座金

・孔深さ57~60

57~60

57~60

57~60

57~60

57~60

57~60

57~60

57~60



木 造 軸 組 接 合 部 標 準 図 ( 3 )

6. 耐力壁

(注) (単位)mm

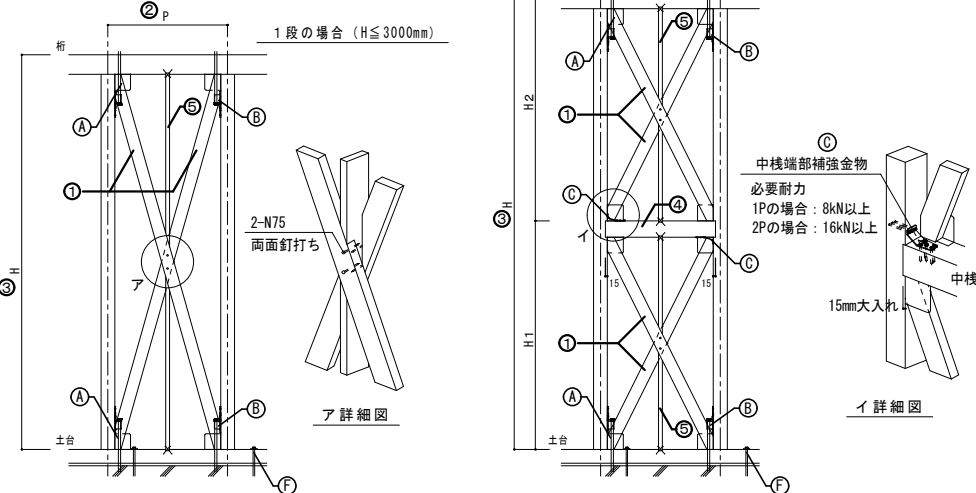
6.1 共通事項

各部仕口形状は、(3)高耐力仕様構造用合板張り耐力壁を除き、木造軸組接合部標準図(2)5.軸組標準接合部に準ずる。  
面材張り耐力壁の面材に対する釘頭のめり込みは、2mmを限度とする。2mmを超える場合は隣り合う釘との中間部に増し打ちすること。  
耐力壁の土台と基礎との間は、無収縮モルタル又は十分な耐久力を持つスペーサー材を挿入し隙間を埋めること。  
柱の有効細長比(断面の最小二次半径に対する座屈長さの比)は、150以下とすること。

6.2 耐力壁の仕様

(1) 施行令46条に準じた耐力壁

a. 筋かい耐力壁: 45×90以上 (片筋かい壁倍率: 2.0倍)  
(たすき掛け壁倍率: 4.0倍)



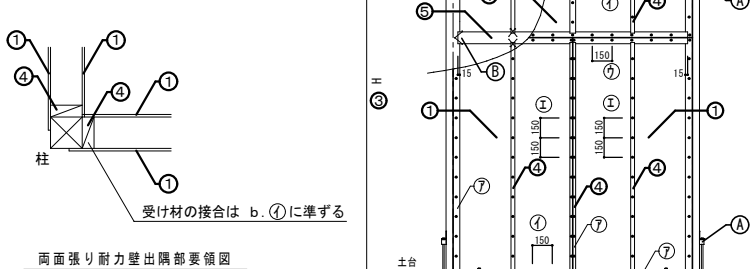
2) 各部仕口形状及び性能

- Ⓐ 筋かい端部: 突き付けの上 筋かいプレート(2倍用)を使用 在来工法及び金物工法とも柱梁ビスどめタイプを基本とする  
Ⓑ 各階の柱頭柱脚部: ホゾ差し等の上、水平力時に柱頭柱脚各部へ生じる引張力を上回る耐力を有する金物を使用する  
Ⓒ 中棧端部: 15mm大入れの上、必要耐力以上の金物を横向きに使用 必要耐力: 1Pの場合→8kN以上、2Pの場合→16kN以上  
Ⓓ 梁端部在来仕口部補強金物: 耐力壁の許容せん断力以上の引抜耐力を有するものとする Ⓔ 梁端部金物工法梁受け金物: 耐力壁の許容せん断力以上の引抜耐力を有するものとする  
Ⓕ 耐力壁のせん断力を土台から基礎へ伝えるアンカーボルト: M12以上のアンカーボルトを耐力壁両端の柱近接位置(柱芯から200mm内外)に1本ずつ設ける

(2) 昭56建告1100号に準じた耐力壁

a. 面材張り大壁仕様耐力壁

(片面張り壁倍率: 2.5倍)  
(両面張り壁倍率: 5.0倍)



1) 各部材料および寸法

- ① 面材: 構造用合板 t=9mm以上又はOSB t=9mm以上  
② 柱間隔: 600mm ≤ P ≤ 2000mm ③ 高さ: H ≤ 6000mm  
④ 間柱: 幅30以上、間隔500mm以下(合板継目部は幅60mm以上)  
⑤ 中棧: 幅90mm以上

2) 各部仕口形状及び性能

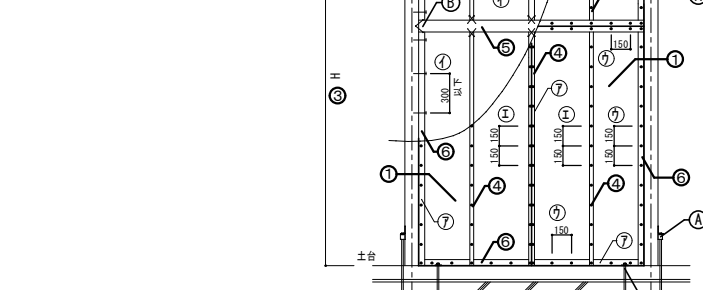
- Ⓐ 各階の柱頭柱脚部: ホゾ差し等の上、水平力時に柱頭柱脚各部へ生じる引張力を上回る耐力を有する金物を使用する  
Ⓑ 中棧端部: まぐさ欠きに15mm大入れの上、2-N75斜め釘打ち  
Ⓒ 間柱端部: 間柱欠きに6~15mm大入れの上、2-N75斜め釘打ち  
Ⓓ 耐力壁のせん断力を土台から基礎へ伝えるアンカーボルト: M12以上のアンカーボルトを耐力壁両端の柱近接位置(柱芯から200mm内外)に1本ずつ設ける

3) 構造用合板の釘打ち方法

- 構造用合板(又はOSB)の4周を釘打ちする  
⑦ 柱及びはりに対するかかり寸法: 30mm以上  
合板に対するへり空き: 15mm以上  
柱はりのへり空き: 15mm以上  
金物が干渉する場合は、金物を避けた位置に所定の本数を釘打ちする  
④ 横架材・柱: N50@150mm以下  
⑨ 中棧: N50@150mm以下 ⑩ 間柱: N50@150mm以下

b. 受付け付き真壁仕様耐力壁

(片面張り壁倍率: 2.5倍)  
(両面張り壁倍率: 5.0倍)



1) 各部材料および寸法

- ① 面材: 構造用合板 t=9mm以上又はOSB t=9mm以上  
② 柱間隔: 600mm ≤ P ≤ 2000mm ③ 高さ: H ≤ 6000mm  
④ 間柱: 幅30以上、間隔500mm以下(合板継目部は幅60mm以上)  
⑤ 中棧: 幅90mm以上 ⑥ 受付け材: 幅30mm以上

2) 各部仕口形状及び性能

- Ⓐ 各階の柱頭柱脚部: ホゾ差し等の上、水平力時に柱頭柱脚各部へ生じる引張力を上回る耐力を有する金物を使用する  
Ⓑ 中棧端部: 突き付けの上、2-N75斜め釘打ち  
Ⓒ 間柱端部: 突き付けの上、2-N75斜め釘打ち  
Ⓓ 耐力壁のせん断力を土台から基礎へ伝えるアンカーボルト: M12以上のアンカーボルトを耐力壁両端の柱近接位置(柱芯から200mm内外)に1本ずつ設ける

3) 構造用合板の釘打ち方法

- 構造用合板(又はOSB)の4周を釘打ちする  
⑦ 受付け材に対するかかり寸法: 30mm以上  
合板に対するへり空き: 15mm以上  
受付け材のへり空き: 15mm以上  
金物が干渉する場合は、金物を避けた位置に所定の本数を釘打ちする  
④ 受付け材と柱はり: N90@300mm以下(両面構造用合板(又はOSB)張りの場合は@150以下)  
※ 枠止め用N90が取り付けの場合は、N90@チドリ150以下とする  
⑨ 受付け材、中棧: N50@150mm以下 ⑩ 間柱: N50@150mm以下

(3) 高耐力仕様構造用合板張り耐力壁(JIS A 3301標準仕様): 短期許容せん断耐力 $\angle 10a=29.6kN/m$   
本耐力壁を採用する場合は、設計図書に試験成績書を添付すること

a. 条件及び仕様

1) 各部材料

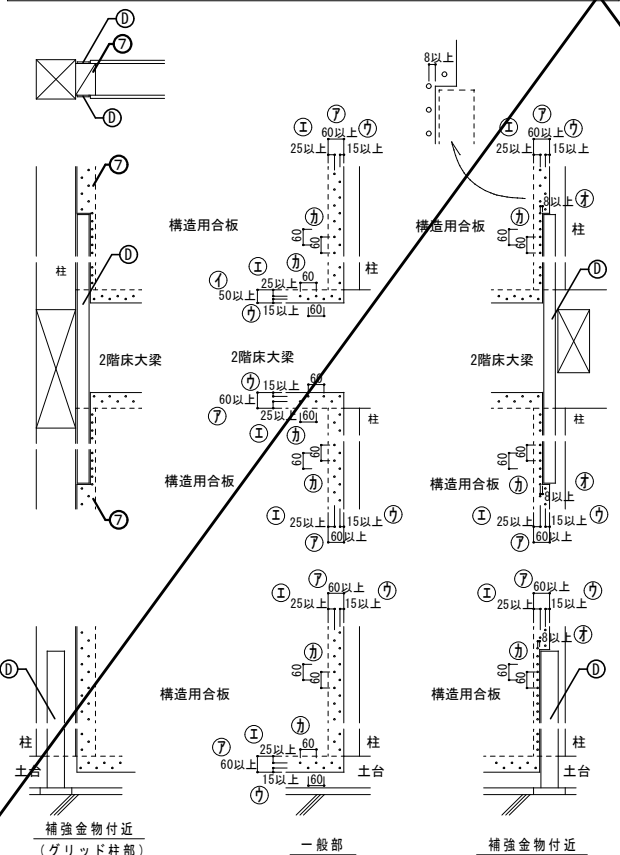
- ① 面材: 構造用合板 t=12mm 両面張り  
② 間隔: 900mm ≤ P ≤ 1000mm  
③ 高さ: 1800mm ≤ H ≤ 3650mm  
④ 高耐力壁を用いる場合のグリッド柱: 150mm×150mm以上  
(グリッド柱: X方向とY方向の主要鉛直構面の交点の柱)  
⑤ 高耐力壁の端部および合板継ぎ目部の柱: 120mm×120mm以上  
⑥ 構造用合板継ぎ目部横つなぎ材: 120mm×120mm以上  
⑦ グリッド柱に取付く受付け材: 75mm×120mm以上  
⑧ 間柱: 見付け45mm以上、見込み120mm以上、間隔P/3以下  
⑨ 小屋柱: 120mm×120mm以上

2) 各部仕口形状及び性能

- Ⓐ 柱頭柱脚ホゾ: 厚さ30mm×深さ90mm以上  
Ⓑ 中棧端部ホゾ:  
片側から柱に取り付く場合: 厚さ30mm×深さ90mmホゾ差し  
両側から柱に取り付く場合: 厚さ30mm×深さ60mmホゾ差し  
Ⓒ 間柱両端: 横架材への溝加工及び15mm程度大入れ  
Ⓓ 各階の柱頭柱脚部:  
水平力時に柱頭柱脚各部へ生じる引張力を上回る耐力の金物を使用する  
Ⓔ 耐力壁のせん断を土台から基礎へ伝えるアンカーボルト:  
M16アンカーボルト耐力壁1P当り2本設ける

3) 各部への釘打及びビス止め

- 構造用合板はたて張り、4周を釘打ちする  
⑦ ④を除き、柱及びはりに対するかかり寸法: 60mm以上  
⑧ 2階耐力壁合板を2階床大梁へ留め付ける場合かかり寸法: 50mm以上  
⑨ ⑦を除き、合板に対するへり空き: 15mm以上  
⑩ 柱はりのへり空き: 25mm以上  
⑪ 金物が干渉しへり空きが確保できない合板部分のへり空き: 3mm以上  
⑫ 横架材・柱・受付け材: N50@60mmチドリ打ち  
⑬ 間柱: N50@90mm打ち  
⑭ ⑦の受付け材とグリッド柱:  
木質構造用ビスφ6、L130~150@100(2列)で留め付ける



6.3 その他の耐力壁

- ・木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2008年版)の詳細計算法による面材張り耐力壁については、同書の規定に準拠することとし、釘ピッチ配列等の仕様については設計図による。
- ・指定性能評価機関またはそれに準じる公共の評価機関で成績書を取得して耐力が明示された耐力壁については試験成績書の仕様に基づき準拠することとする。
- ・大臣認定を取得した耐力壁については、認定書に記載された適用範囲及び仕様を守ること。

釘打ち要領図

主要鉛直構面交点の柱(グリッド柱)は150mm×150mm以上とする

木 造 軸 組 接 合 部 標 準 図 ( 4 )

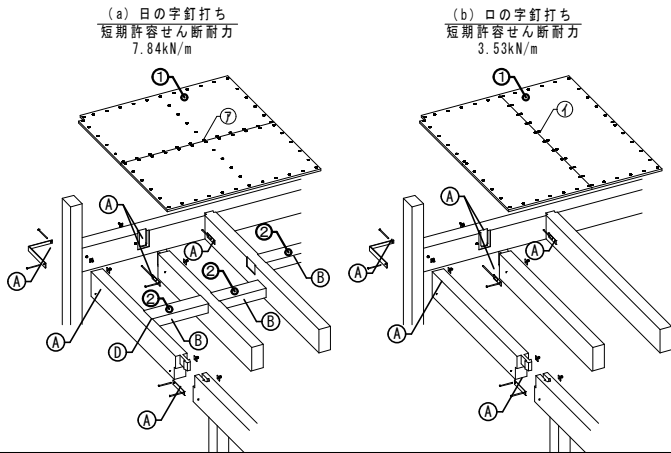
7. 水平構面

7.1共通事項

- ・各部仕口形状は、( 3 ) 高耐力仕様屋根・床水平構面を除き、木造軸組接合部標準図 ( 2 ) 5. 軸組標準接合部に準ずる。
- ・木造軸組み工法住宅の許容応力度設計 ( 2008年 ) の詳細計算法による水平構面については、同書の規定に準拠することとし、釘ピッチ配列等の仕様については設計図による。
- ・指定性能評価機関またはそれに準じる公共の評価機関で成績書を取得して耐力が明示された水平構面については試験成績書の仕様に準拠することとする。

7.2水平構面の仕様

( 1 ) 木造軸組工法住宅の許容応力度設計に準じた床構面



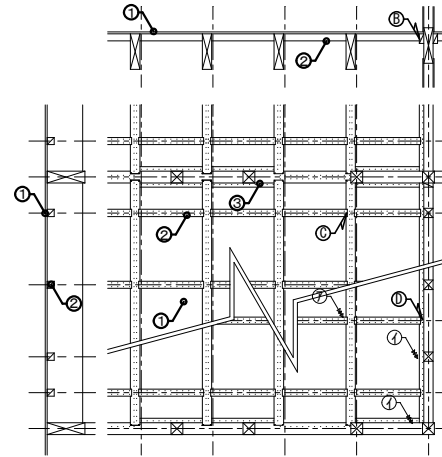
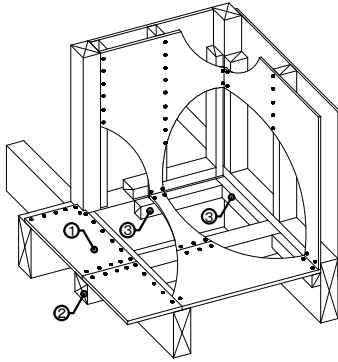
1) 各部材料および寸法

- ① 面材：構造用合板  $t=24\text{mm} \sim 30\text{mm}$  横架材に直貼
  - ② 甲乙梁：幅  $45\text{mm}$  以上  $\times$  せい  $45\text{mm}$  以上・梁及び甲乙梁の間隔  $1000\text{mm}$  以下
- 2) 各部仕口形状及び性能
- ① 各仕口部分：  
水平力時に継手、仕口各部へ生じる引張力を上回る耐力の金物を使用する
  - ② 構造用合板の継目及び釘打ちを行う部分の直下には甲乙梁を設ける
  - ③ 高低差のある梁へは側面に床受け材を取り付け構造用合板を受ける構成
  - ④ 甲乙梁端部は小梁に対して深さ  $15\text{mm}$  程度の大入れ N75 1本斜め打ち
- 3) 各部への釘打及びビス止め
- ⑦ 構造用合板は  $N75@150\text{mm}$  日の字釘打ちで横架材、甲乙梁、床受材に留め付ける
  - ⑧ 構造用合板は  $N75@150\text{mm}$  日の字釘打ちで横架材、甲乙梁、床受材に留め付ける

注意事項：構造用合板 (又はOSB) に対する釘頭のめり込みは、 $2\text{mm}$  を限度とする  
 $2\text{mm}$  を超える場合は隣り合う釘との中間部に増し打ちすること  
日の字釘打ちは構造用合板上に直接フローリングを貼る構成の場合、構み等々に注意する事

7.3 JISA3301仕様高耐力水平構面

( 1 ) 2階床水平構面の条件及び仕様  
短期許容せん断耐力  
 $14.1\text{kN/m}$



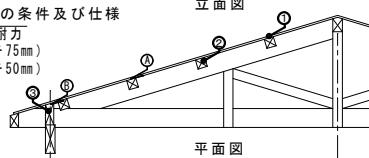
1) 各部材料

- ① 面材：構造用合板  $t=24\text{mm}$  又は  $28\text{mm}$  横架材に直張り
  - ② 甲乙梁：  $90\text{mm} \times 90\text{mm}$  の正角材又は幅  $75\text{mm} \times$  成  $120\text{mm}$  製材を平使い
  - ③ 大梁側面に取り付ける床受材：幅  $55\text{mm} \sim 75\text{mm} \times$  成  $120\text{mm}$  の製材
- 2) 各部仕口形状及び性能
- ① 構造用合板の継目及び釘打ちを行う部分の直下には甲乙梁を設ける
  - ② 高低差のある梁へは側面に床受け材を取り付け構造用合板を受ける構成
  - ③ 甲乙梁端部は小梁に対して深さ  $15\text{mm}$  程度の大入れ
  - ④ 甲乙梁端部は床受け材に対して床受け材を深さ  $15\text{mm} \times$  成  $60\text{mm}$  切り欠き甲乙梁は成  $60\text{mm}$  分大入れし床受け材勝ちの納まりとする
- 3) 各部への釘打及びビス止め
- ⑦ 構造用合板は  $N75@75\text{mm}$  日の字釘打ちで横架材、甲乙梁、床受材に留め付ける
  - ⑧ 大梁側面へ取り付ける床受材は木質構造用ビス  $\phi 6$ 、 $L130 \sim 150$  を  $150\text{mm}$  ピッチの二列打ちとして留め付ける

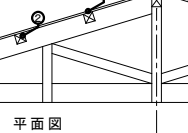
( 2 ) 屋根水平構面の条件及び仕様

短期許容せん断耐力  
 $13.5\text{kN/m}$  (合板釘ピッチ  $75\text{mm}$ )  
 $19.1\text{kN/m}$  (合板釘ピッチ  $50\text{mm}$ )

面材  
側面図



立面図



側面図

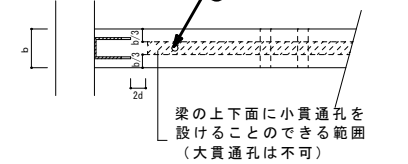
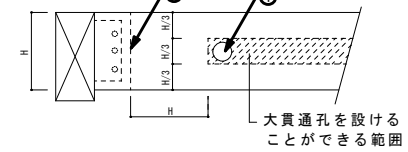
1) 各部材料

- ① 面材：構造用合板  $t=24\text{mm}$  登梁及び母屋に直張り
  - ② 母屋：幅  $120\text{mm} \times$  成  $120\text{mm}$  の製材  
多雪区域 (3級及び4級) の場合は幅  $120\text{mm} \times$  成  $150\text{mm}$  の製材
  - ③ 軒先転び止め：幅  $105\text{mm} \times$  成  $300\text{mm}$  の製材を用い、先端は屋根面に合わせ切り欠く
  - ④ 軒先転び止めの外面に直貼りする構造用合板： $t=12\text{mm}$
- 2) 各部仕口形状及び性能
- ① 構造用合板の継目及び釘打ちを行う部分の直下には母屋を設ける
  - ② 屋根の合板レベルに対して低い位置にある軒先の大梁上に転び止めを設け構造用合板を受ける構成
  - ③ 母屋端部は登梁に対して深さ  $15\text{mm}$  程度の大入れ
- 3) 各部への釘打及びビス止め
- ⑦  $13.5\text{kN/m}$  仕様：構造用合板は  $N75@75\text{mm}$  4周 (口の字) 釘打ちで登梁及び母屋に留め付ける  
 $19.1\text{kN/m}$  仕様：構造用合板は  $N75@50\text{mm}$  4周 (口の字) 釘打ちで登梁及び母屋に留め付ける
  - ⑧ 母屋端部に対して吹上対策として木質構造用ビス  $\phi 5$ 、 $L150$  (頭部径  $\phi 12.5$  以上 ねじ部長さ  $50$  以上) 1本を斜め打ちとする
  - ⑨ 軒先大梁と転び止めの外面に直張りする構造用合板は、 $N50$  ぐきを  $50\text{mm}$  ピッチの千鳥打ちとして留め付ける

8. 貫通孔

8.1 梁貫通孔の条件及び仕様

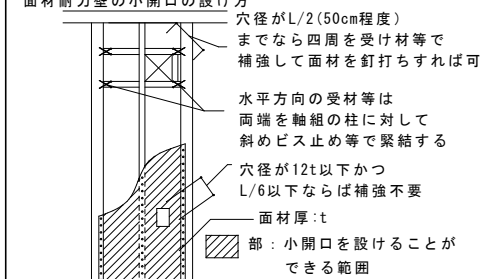
- ① 大貫通孔： $d \leq H/4$  かつ  $150\text{mm}$
- ② 小貫通孔： $d \leq 30\text{mm}$  (隣り合う孔は  $3d$  以上離す)
- ③ 縦小貫通孔： $d \leq b/6$  かつ  $30\text{mm}$
- ④ 接合金物用切り欠きライン



8.2 耐力壁貫通孔

(1) 小開口付耐力壁：木造軸組工法住宅の許容応力度設計 (2008年版)  
※壁倍率7倍までの孔開けルール  
剛性・耐力に影響しない

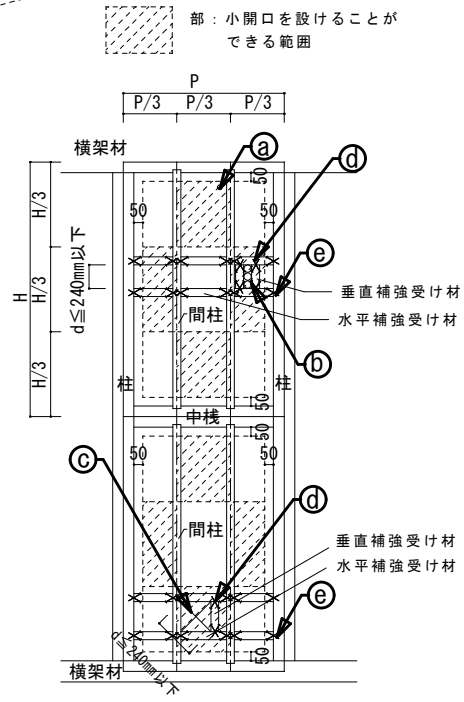
面材耐力壁の小開口の設け方



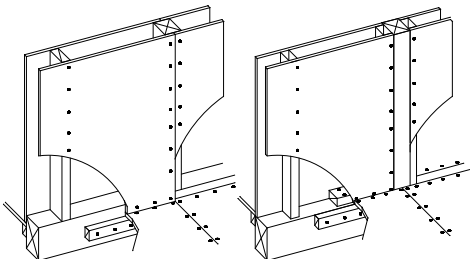
(2) 高耐力仕様合板貼耐力壁 (JISA3301標準仕様)  
※壁倍率7倍を超える場合の孔開けルール (JISA3301仕様)

a) 貫通孔基準

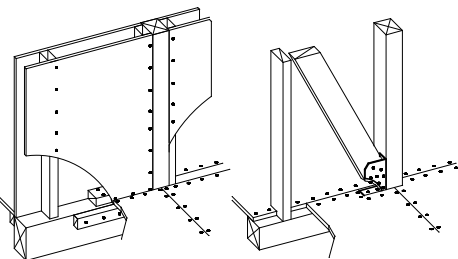
- ① 小貫通孔 ( $d \leq 30\text{mm}$ )  
1区画につき1か所までなら補強不要
  - ② 小貫通孔  $\times 3$  (外接円の径  $\leq 240\text{mm}$ )  
四周を補強受材で補強  
面材1枚につき1か所のみ可
  - ③ 大貫通孔 ( $d \leq 240\text{mm}$ )  
四周を補強受材で補強  
面材1枚につき1か所のみ可
- b) 釘打ち及び断面
- ④ 合板から補強受材へ  $N50@90\text{mm}$  で釘打ち  
補強受材は間柱と寸法以上の断面
  - ⑤ 補強受材の留め付けは斜めビス2本止め



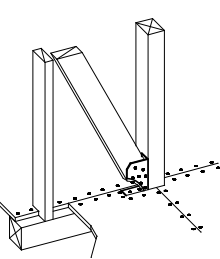
告示耐力壁-床納まり  
大壁合板耐力壁-床構面  
(壁勝)



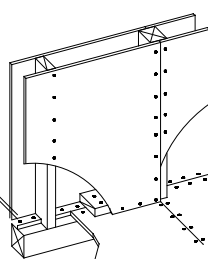
真壁合板耐力壁-床構面  
(壁勝)



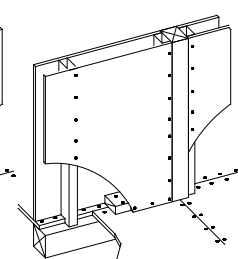
筋違耐力壁-床構面  
(筋違勝)



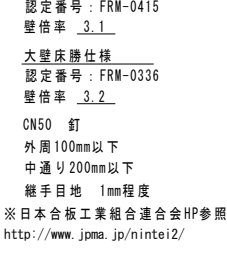
認定仕様例示) 日合連 (JPMA) 仕様耐力壁-床勝納まり  
大壁合板耐力壁-床勝  
認定番号：FRM-0296



真壁合板耐力壁-床勝  
認定番号：FRM-0298

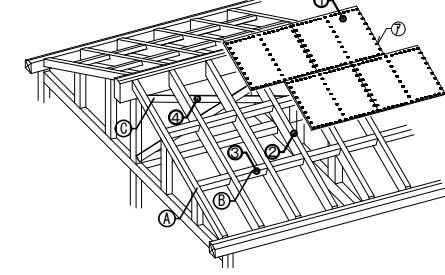


国産構造用合板耐力壁  
合板の厚み  $12\text{mm}$   
大壁仕様  
認定番号：FRM-0415  
壁倍率 3.1  
大壁床勝仕様  
認定番号：FRM-0336  
壁倍率 3.2  
CN50 釘  
外周  $100\text{mm}$  以下  
中通り  $200\text{mm}$  以下  
継手目地  $1\text{mm}$  程度  
※日本合板工業組合連合会HP参照  
<http://www.jpma.jp/nintei2/>

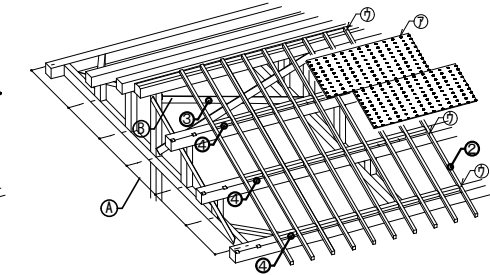


( 2 ) 木造軸組工法住宅の許容応力度設計に準じた屋根構面

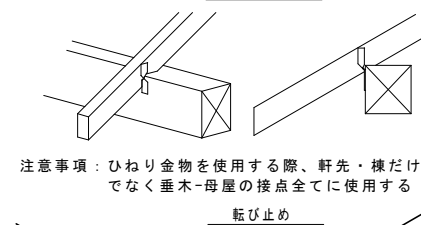
(a) 登梁-厚合板  
短期許容せん断耐力  
 $7.84\text{kN/m}$  (勾配面に対して)



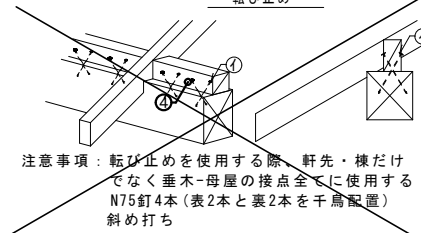
(b) 垂木-合板  
短期許容せん断耐力  
 $1.96\text{kN/m}$  (勾配面に対して)



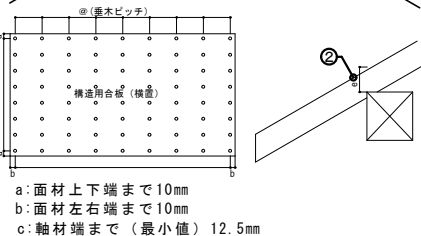
ひねり金物



注意事項：ひねり金物を使用する際、軒先・棟だけでなく垂木-母屋の接点全てに使用する



注意事項：転び止めを使用する際、軒先・棟だけでなく垂木-母屋の接点全てに使用する  
N75釘4本 (表2本と裏2本を千鳥配置) 斜め打ち



a: 面材上下端まで  $10\text{mm}$   
b: 面材左右端まで  $10\text{mm}$   
c: 軸材端まで (最小値)  $12.5\text{mm}$

1) 各部材料および寸法

- ① 面材：構造用合板  $t=24\text{mm} \sim 30\text{mm}$  横架材に直貼
- ② 登梁：幅  $105\text{mm}$  以上  $\times$  せい  $105\text{mm}$  以上 間隔  $1000\text{mm}$  以下
- ③ 甲乙梁：幅  $45\text{mm}$  以上  $\times$  せい  $45\text{mm}$  以上 間隔  $1000\text{mm}$  以下
- ④ 小屋耐力壁：  $15\text{mm}$  以上  $\times 90\text{mm}$  以上  
(端部は平12建告1460号の筋違耐力壁の接合)

2) 各部仕口形状及び性能

- ① 各仕口部分：水平力時に継手、仕口各部へ生じる引張力を上回る耐力の金物を使用する
- ② 構造用合板の継目及び釘打ちを行う部分の直下には甲乙梁を設ける
- ③ 耐力壁から勾配屋根水平構面までせん断力を伝達できるよう、耐力壁線上には同等以上の壁量となるよう小屋耐力壁 (くも筋違い) を設ける事

3) 各部への釘打及びビス止め

- ⑦ 構造用合板は  $N75@150\text{mm}$  で日の字に垂木に留め付ける
- 注意事項：構造用合板 (又はOSB) に対する釘頭のめり込みは、 $2\text{mm}$  を限度とする

1) 各部材料および寸法

- ① 面材：構造用合板  $t=9\text{mm} \sim 15\text{mm}$  (横置)
- ② 垂木：幅  $45\text{mm}$  以上  $\times$  せい  $45\text{mm} \sim 90\text{mm} @ 500\text{mm}$  以下
- ③ 小屋耐力壁：  $15\text{mm}$  以上  $\times 90\text{mm}$  以上  
(端部は平12建告1460号の筋違耐力壁の接合)
- ④ 転び止め：  $45\text{mm} \times 60\text{mm}$  程度

2) 各部仕口形状及び性能

- ① 母屋ピッチ： $1000\text{mm}$  以下
- ② 耐力壁から勾配屋根水平構面までせん断力を伝達できるよう、耐力壁線上には同等以上の壁量となるよう小屋耐力壁 (くも筋違い) を設ける事




3) 各部への釘打及びビス止め

- ⑦ 構造用合板は  $N50@150\text{mm}$  で川の字に垂木に留め付ける
- ⑧ 転び止めを梁に2-N75斜め釘止め
- ⑨ 垂木の留め付けは、垂木の側面から軒桁、母屋、棟木の上面に対して  $N75$  釘2本打ち



1. 一般共通事項							
(1) 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。							
(2) 鉄筋の表示記号							
鉄筋の断面表示は下記の記号による。							
呼び名	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29
表示記号	○	X	⊗	■	■	■	■
最大径	11	14	18	21	25	28	33

(1) 鉄筋のかぶり厚さ			
① 一般の場合			
構 造 部 位	か ぶり 厚 さ		かぶり厚さ
	一 般	土（常時水）に接する部分	
床スラブ、屋根ス	屋内	30	50
ラフ、非耐震壁	屋外	40 ※ 1 30	
柱、はり、耐震壁	屋内	40	
	屋外	50 ※ 1 40	
基礎、基礎はり、耐圧板	—		70
地下外壁、擁壁	50	※ 2 40	70
煙突	50		50

- 1) 主筋にD29以上の異形鉄筋を使用する場合の最小かぶり厚さは主筋外端より1.5d以上とする。  
ただし土に接する部分は1.5d+20以上とする。
- 2) 床スラブのコンクリート仕上げ部分（床スラブの上表面を、コンクリートのまま直接コテなどで仕上げる場合）の打増しは下記による。

そのまま仕上げとなる場合		打増し 15
敷物、張物などの下地の場合		a
	a: 仕上げ材料の厚さを含めて 15 とする。 ただし、打増し寸法 10 以上となる場合に 適用する。	
防水層下地の場合		打増し 10

① 端部（フック形状）					
曲げ角度	図	鉄筋の種類	内径 (D)	余長 (l)	備 考
180°		SD295A (SD30A) SD295B (SD30B) SD345 (SD35)	D16以下 3d 以上 D19・D38 4d 以上	4 d 以上	・ 柱及び梁 （基礎梁を除く） の出隅部分* ・ 煙突の主筋
		SD390 (SD40)	5d 以上		
135°		SD295A (SD30A) SD295B (SD30B) SD345 (SD35)	D16以下 3d 以上 D19・D38 4d 以上	6 d 以上  ※ 1 4 d 以上	・ フープ ・ スターラップ ・ 壁筋部等に 使用の D10、D13
		SD390 (SD40)	5d 以上		
90°		SD295A (SD30A) SD295B (SD30B) SD345 (SD35)	D16以下 3d 以上 D19・D38 4d 以上	8 d 以上  ※ 1 4 d 以上	・ U字形 スターラップの キヤンクタイプ ・ 幅止の筋 ・ スラップ筋 の末端部 壁筋
		SD390 (SD40)	5d 以上		

③ 中間部 (バンド形状)					
曲げ角度	図	使用箇所	鉄筋の種類	鉄 筋 径	内 径 (D)
90° 以下		フープ スターラップ スパイラル筋	SD295A (SD30A) SD295B (SD30B) SD345 (SD35)	D16 以下	3d 以上
				D19 以上	4d 以上
		スラブ筋 壁 筋	SD295A (SD30A) SD295B (SD30B) SD345 (SD35) SD390 (SD40)	D16 以下	4d 以上
				D19 ~ D25	6d 以上
				D29 ~ D38	8d 以上

呼び名	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29
あきの最小値	31 (25)	31 (25)	31 (25)	31 (29)	33	38	44

① 重ね継手 (D10~D16)

② フックなし

(注) フックなしの場合も同様とする。  
径の異なる鉄筋の場合には細い方の  $d$  による。

0.2 L1 かつ 150 mm 以下

L1

(注) ガス圧接後の曲げ加工は行なわない。

鉄筋の種類	コンクリートの設計 基準強度の範囲 ( $\text{kg}/\text{cm}^2$ )	重ね継手 長さ (L1)	定 着 の 長 さ			
			一 般	下 端 筋 (L3)		
				小 梁	屋根床スラブ	
SD295A (SD30A)	$360 \geq F_c \geq 270$	35d 又は 25d フック付	30d 又は 20d フック付	25d 15d	又は フック付	10d かつ 150mm以上
	$270 > F_c \geq 210$ $270 \geq L_c \geq 210$	40d 又は 30d フック付	35d 又は 25d フック付			
SD295B (SD30B)	$270 \geq L_c \geq 210$	40d 又は 30d フック付	35d 又は 25d フック付			
	$210 > F_c \geq 135$ $210 > L_c \geq 135$	45d 又は 35d フック付	40d 又は 30d フック付			
SD345 (SD35)	$360 \geq F_c \geq 270$	40d 又は 30d フック付	35d 又は 25d フック付			
	$270 > F_c \geq 210$ $270 \geq L_c \geq 210$	45d 又は 35d フック付	40d 又は 30d フック付			
SD390 (SD40)	$360 \geq F_c \geq 270$	40d 又は 30d フック付	35d 又は 25d フック付			
	$270 > F_c \geq 210$ $270 \geq L_c \geq 210$	45d 又は 35d フック付	40d 又は 30d フック付			

(6) 溶接金網の定着と重ね継手

① 定着

150以上  
50以上

溶接金網の縦筋と等量断面の異形鉄筋

L3 L1

スラブ下端筋に溶接金網を配した場合

< 応力伝達継手 >

$L \geq \text{横線間隔} + 50 \text{ mm}$   
かつ  
 $L \geq 150 \text{ mm}$

< ひび割れ防止用  
メッシュの場合 >

$L \geq \text{横線間隔}$   
かつ  
 $L \geq 100 \text{ mm}$

① 打ち継ぎ

a. 打ち継ぎ部は位置・形状などは特記による。特記のない場合、打ち継ぎ部は、梁、床スラブおよび屋根スラブでは、その中央付近に、柱および壁では、床スラブ、基礎の上端または梁の下端に設け、水平または垂直とする。

b. 打ち継ぎ部は、レイタスおよびびじり弱なコンクリートを取り除き、健全なコンクリートを露出させ、コンクリート打ち込み前に十分な水湿しを行なう。

a.	外壁収縮（誘発）目地	縦目地3.0 mピッチ程度に設ける。
b.	打ち継ぎ目地	各階に設ける。その他は収縮目地に同じ。
c.	躯体の目地	収縮目地及び内外躯体目地は同位置とする。
d.	壁及びスラブ内の電気配管	埋め込み配管は極力少なくし、かつダブル配管の内側へ配管のこと。

a. 外壁の打ち増し : 外壁を形成する柱・梁・壁は、外部側に  
厚さ ( ) mmの打ち増しとする。

b. 床モノリシック工法の打ち増し : ( ) mmとする。

[illegible]

(1) 縦筋・曲げ補強筋・縦補強筋の定着

壁ばり主筋または屋根スラブ  
交差部補強筋

① 単配筋

片側スラブ

L2 →

② 縦筋

曲げ補強筋

③ 立上り筋

2

(2) ① 単配筋

片側・両側  
スラブとも

L2

② 複配筋

両側スラブ

③ 前單配筋  
後複配筋

片側・両側  
スラブとも

(3) 布基礎上端

打継ぎ面

打継ぎ面

曲げ補強筋

縦筋

折り不可

打継ぎ面

0.5d

d

へス筋より立て上げる

150以上延ばす

a. 布基礎 1 回打ちの場合

b. 布基礎 2 回打ちの場合

① 単配筋の場合

a. 端部曲げ補強筋 1 本の場合

b. 端部曲げ補強筋 2 本の場合

第 1 横筋 D10以上 縦筋 D10以上

第 1 横筋

曲げ補強筋 D13以上 横筋 D10以上

① 壁端部

1) L形交差部の場合

2) T形交差部の場合

[illegible]

## 梁貫通孔

(別圖-7.1(a))

- (a) 梁貫通孔は、次のよる。
  - (1) 梁貫通孔補強筋の名称等は、図11.1による。
  - (2) 孔の径は、梁せいの1/3以下とし、孔が円形でない場合はこれの外接円とし、
  - (3) 孔の上下方向の位置の限度は、図11.2による。
  - (4) 孔の中心位置の限度は、柱及び直交する筋（小梁）の面から、原則として、1.2D（Dは梁せい）以上離す。
  - (5) 孔が並列する場合の中心間隔は、孔の径の平均値の3倍以上とする。
- (b) 縦筋及び上下縦筋は、あばら筋の形に配筋する。
- (c) 縦筋は、主筋の内側とする。やむを得ない場合は、監督員の承認を受けて外側とすることができる。また、鉄筋の定着長さとは、図11.3による。
- (d) 孔の径が梁せいの1/10以下かつ、150mm未満のものとは、補強筋を配筋する必要はない。
- (e) 溶接金網の余長は1格子以上とし、突出は10mm以上とする。
- (f) 溶接金網の貫通部分には、鉄筋1-13φのリング筋を取り付ける。なお、リング筋は、溶接金網に4番以上溶接する。
- (g) 溶接金網の割付け始点は、横筋ではあばら筋の下側とし、縦筋では貫通孔の中心とする。

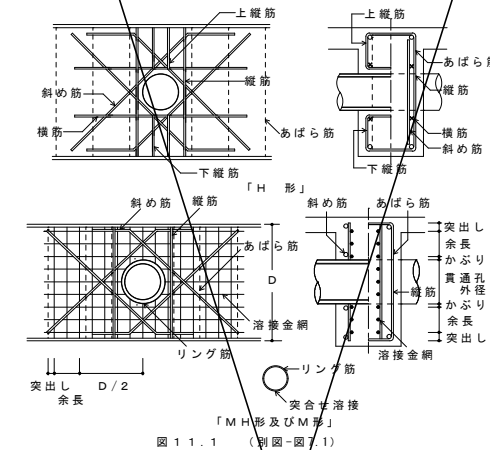


图 11.1 (别图-图 7.1)

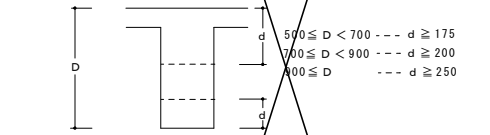
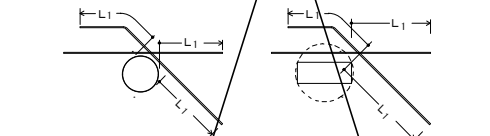


図 11.2 孔の上下方向の位置の限度 (別図-図7.2)



「貫通孔が円形の場合」 「貫通孔が円形でない場合」

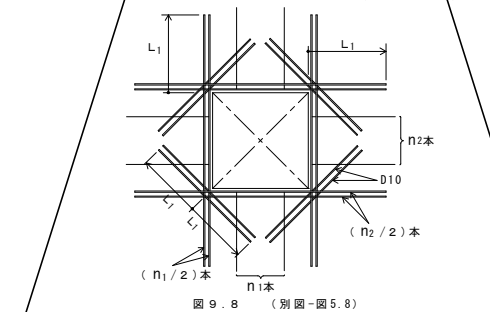
図 11.3 補強筋の定着長さ (別図-図 7.3)

(b) 梁貫通孔の補強形式は、表11.1 から表11.3 により、(別図-7.1(b))  
配筋種別は特記による。  
なお、既製の梁貫通孔補強筋等を使用する場合は、  
ウェブレン、ダイヤレン 等 日本建築センター評価取得品とし、  
計算書を提出のうえ設計者または工事監理者の承認を得ること。

**スラブ開口部の補強** (例図-5.3(a))

(a) スラブ開口部の補強は、特記による。特記がなければ下記による。

(1) スラブ開口部の最大径が700mm以下の場合は、図9.8により開口  
 方向に切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し、直角部に斜  
 め方向に2-D10 ( $\Phi=2L1$ ) シングルを上下筋の内側に配筋する。



(2) スラブ開口の最大径が両方向の配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げるにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を略することができる。

部材リスト

部材名	寸 法		材 種
土台	120×120	(防腐材注入) E95-F270	唐松集成
大引	105×105		ベイマツKD
管柱	120×120		杉KD
管柱 (柱勝ち)	120×120	E95-F315	唐松集成
梁・桁	120×120～		ベイマツKD
梁・桁	120×120	E95-F315	唐松集成
梁・桁	120×150 120×390	E105-F300	唐松集成
母屋・隅木	105×105		ベイマツKD
小屋束	105×105		スギKD
小屋束	105×105	E65-F255	杉集成材
垂木	45×60@455	(垂木用構造ビス押さえ)	ベイマツKD
雲筋交い	90×18		スギKD
火打ち	鋼製火打ち (ビス留め)		鋼製
筋違い	45×90 ～		ベイマツKD
間柱	120×45		スギKD
窓台・窓まぐさ	120×45		ベイマツKD
野縁	36×40		ベイマツKD
胴縁 (半貫) ・貫	45×18 90×18		ベイマツKD
根太・合板受け	45×60		ベイマツKD
破風・鼻隠し	21×210		スギ
広小舞・登り淀	90×18		スギ
野地板	構造用合板 t 12.0 (特類)	F☆☆☆☆	針葉樹
床板	構造用合板 実付 t 24.0 (特類)	F☆☆☆☆	針葉樹

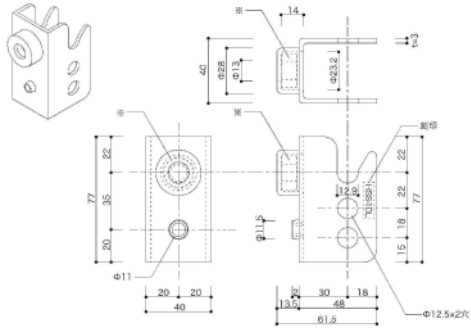
H S S 金物

対応梁せい (mm)	対応材種 (mm)	対応構造仕様	接合タイプ	耐力基準せん断耐力 (kN)	耐力基準せん断耐力 (kN)	耐力基準引張耐力 (kN)
105～150	HSS-10	HSS-10	桁・梁	8.7	4.7	8.0
			梁・梁	10.1	5.5	8.4
180～210	HSS-18	HSS-18	桁・梁	29.3	14.4	14.1
			梁・梁	22.7	12.4	16.4
240～330	HSS-23	HSS-23	桁・梁	31.9	17.3	20.8
			梁・梁	29.2	16.0	27.0
360～500	HSS-18+2	HSS-18+2	桁・梁	52.7	28.9	28.7
			梁・梁	45.4	24.9	28.2
420～450	HSS-23 + HSS-18	HSS-23 + HSS-18	桁・梁	57.9	31.8	34.9
			梁・梁	51.9	28.5	43.4
480～550	HSS-23+2	HSS-23+2	桁・梁	63.1	34.7	41.8
			梁・梁	58.5	32.1	54.0

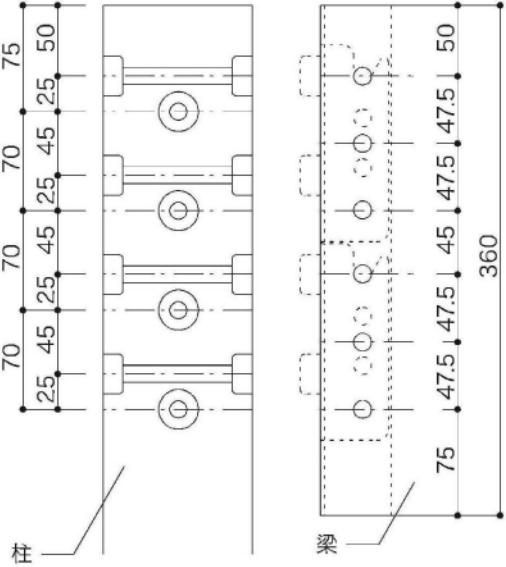
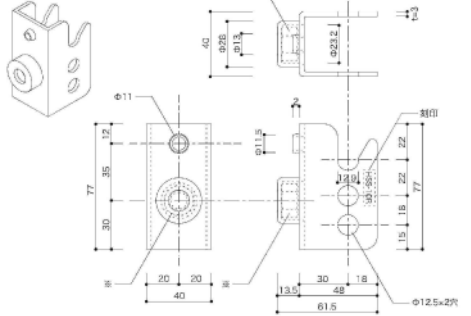
※ 耐力計算書は別冊資料1掲載内容から、33A(1)  
※ 480以上の耐力が必要な場合はHSS-23+2HSS-18の適用を要します。

HSS-10L,HSS-10LN,HSS-10R,HSS-10RN

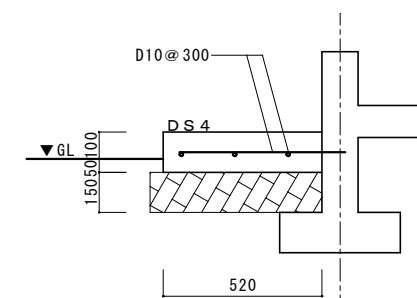
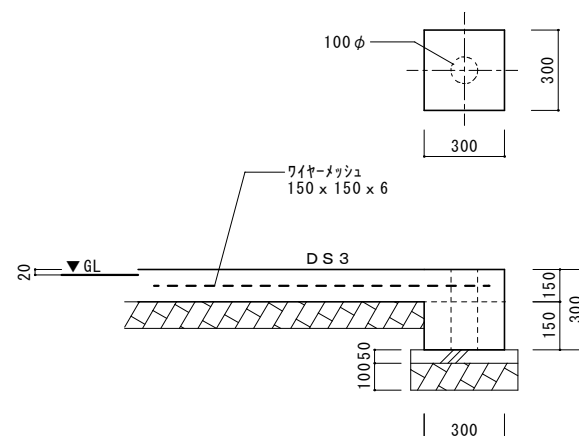
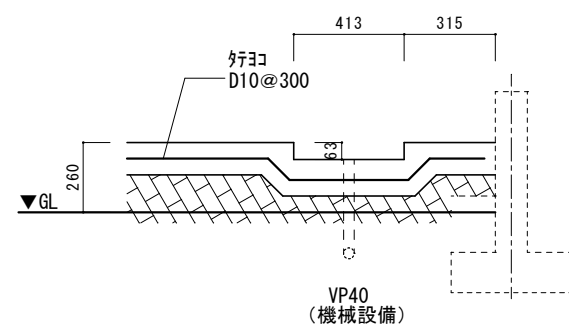
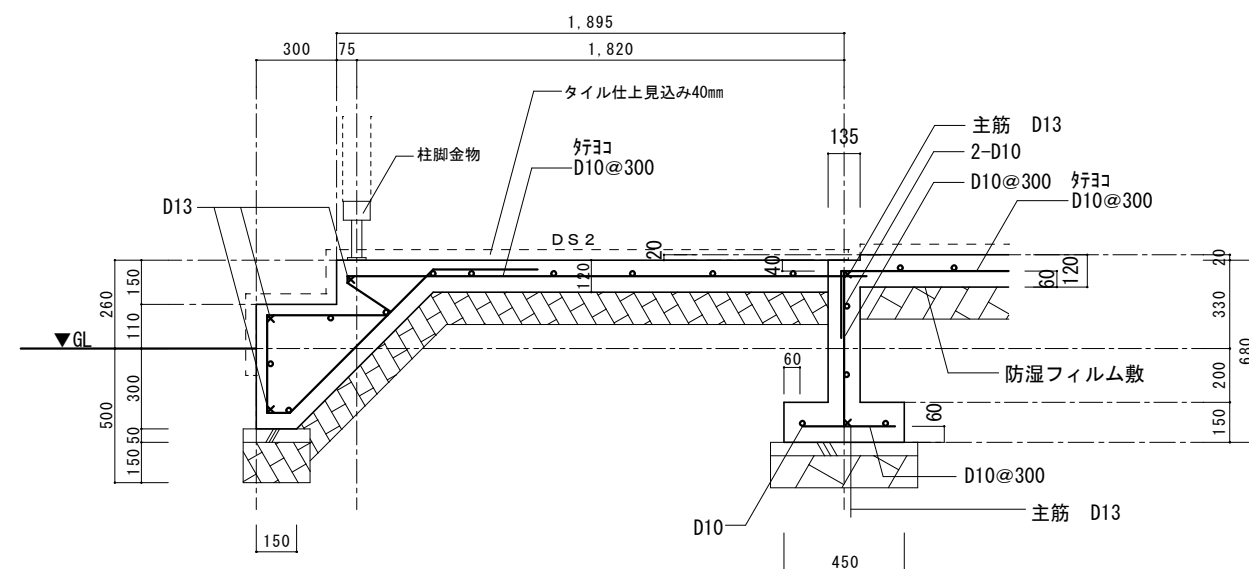
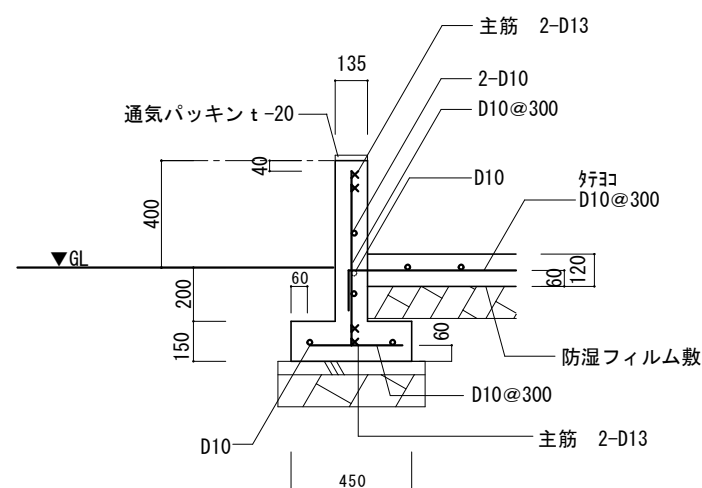
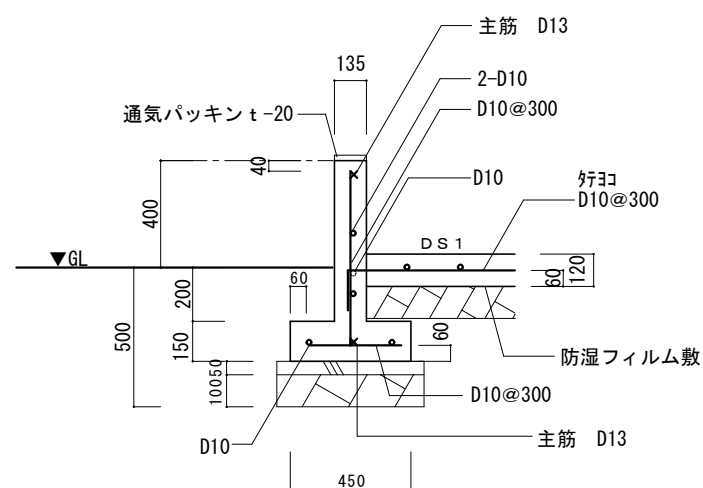
HSS-10L, HSS-10LN




HSS-10R, HSS-10RN



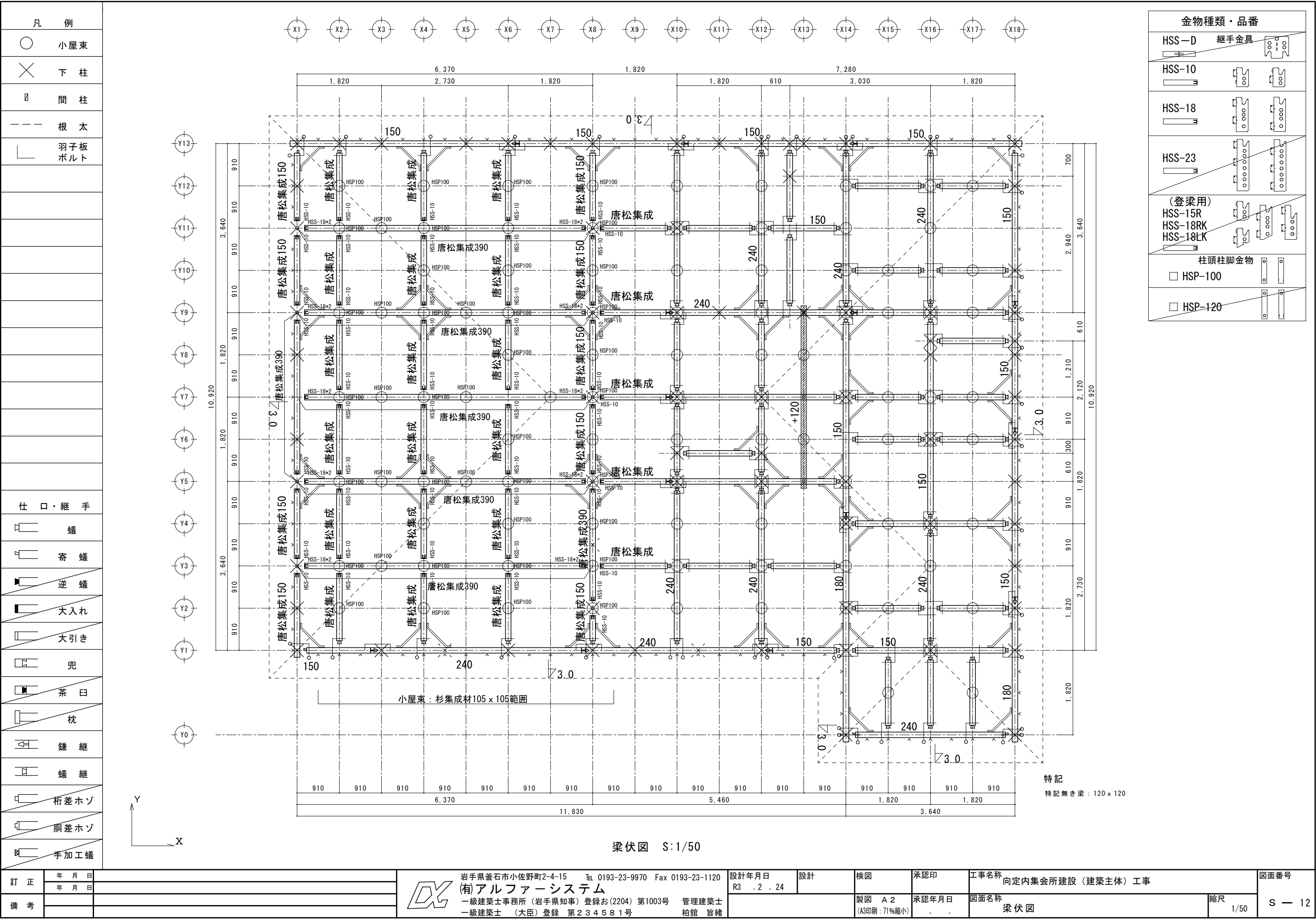





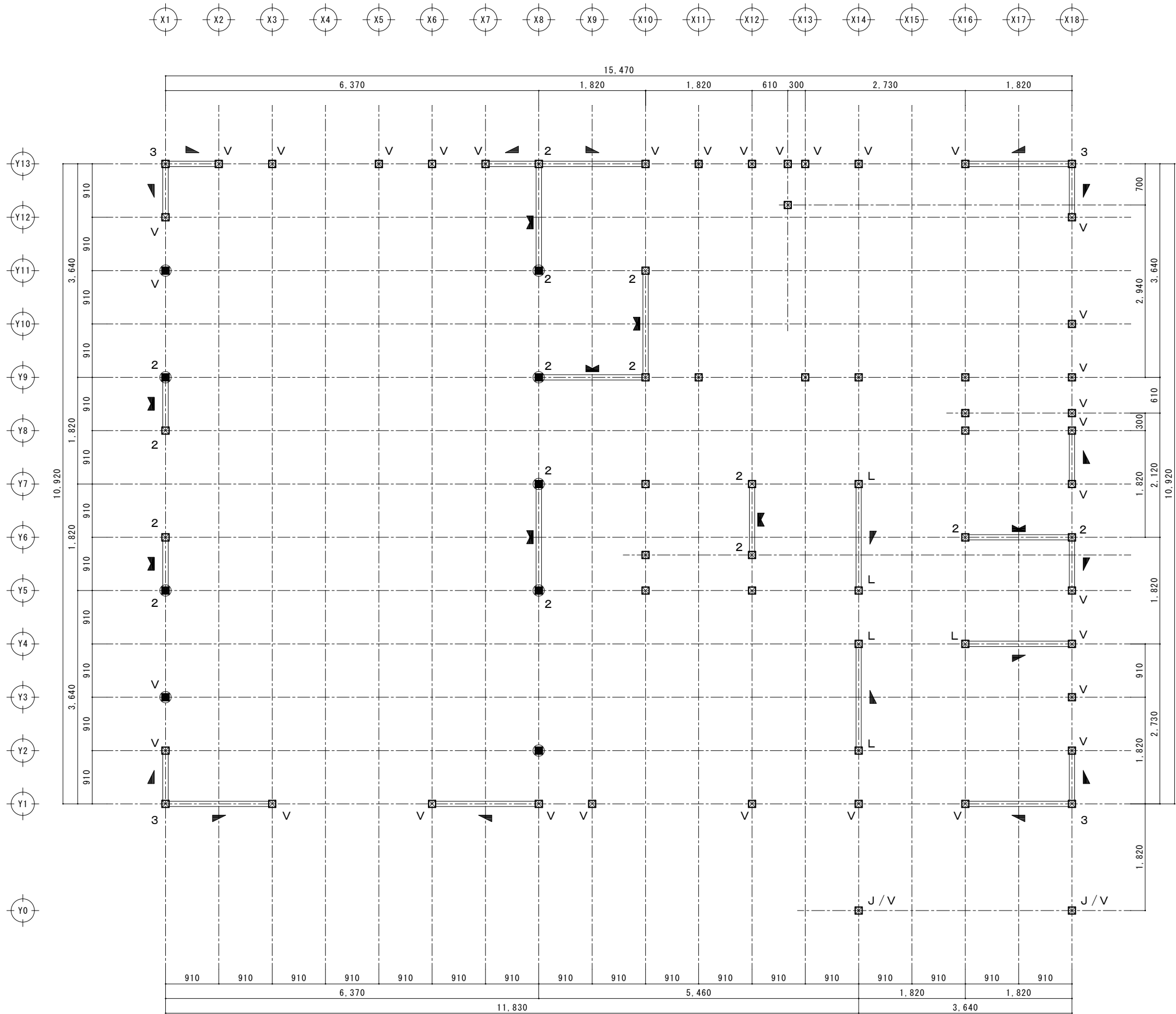
訂 正	年 月 日	<div></div> <div>岩手県釜石市小佐野町2-4-15 TEL 0193-23-9970 Fax 0193-23-1120 <b>(有)アルファーステム</b> 一級建築士事務所（岩手県知事）登録お（2204）第1003号 管理建築士 一級建築士 （大臣）登録 第234581号 柏 館 旨 緒</div>	設計年月日 R3 . 2 . 24	設計	検図	承認印	工事名称 向定内集会所建設（建築主体）工事		図面番号
	年 月 日						図面名称 基礎詳細図		縮尺 1/20
備 考					製図 A 2 (A3印刷：71%縮小)	承認年月日 . .			







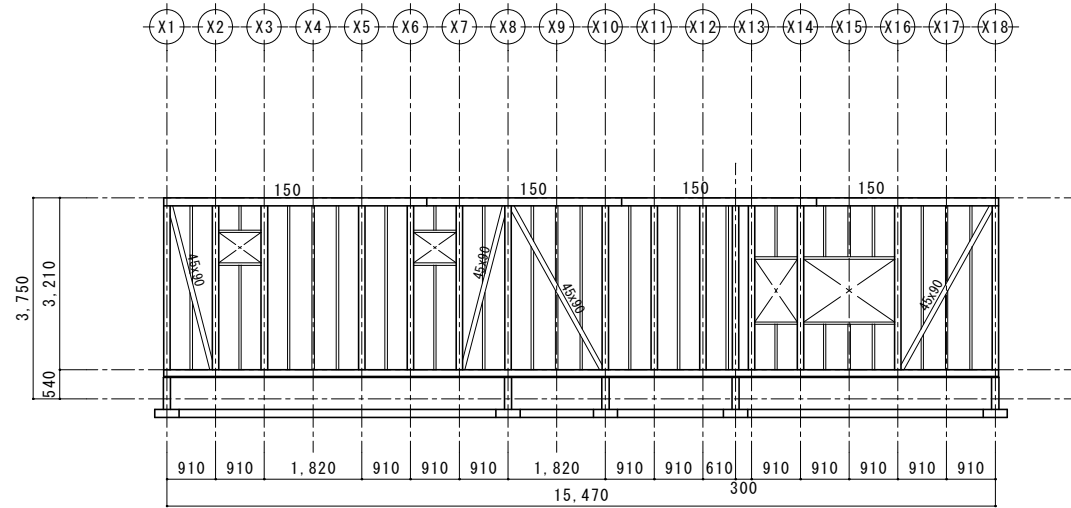
訂 正	年 月 日	<div></div> <div>岩手県釜石市小佐野町2-4-15    Tel. 0193-23-9970    Fax 0193-23-1120</div> <div><b>(有)アルファシステム</b></div> <div>一級建築士事務所（岩手県知事）登録お(2204) 第1003号    管理建築士</div> <div>一級建築士（大臣）登録 第234581号    柏館 旨緒</div>	設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称	図面番号	
	年 月 日		R3 . 2 . 24				向定内集会所建設（建築主体）工事		
備 考					製図 A 2	承認年月日	図面名称	縮尺	S — 13
				(A3印刷：71%縮小)	. .	母屋伏図	1/50		



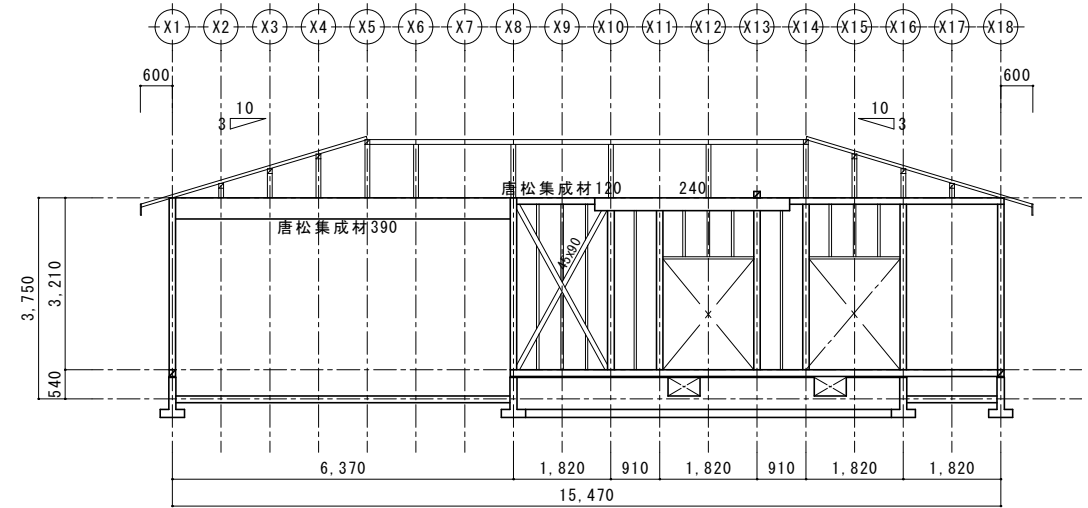
柱・耐力壁伏図 S:1/50

凡例	
	杉集成材 120×120 を示す
	唐松集成材 120×120 を示す (柱勝ち)
	筋かい 45×90 シングル を示す
	筋かい 45×90 ダブル を示す

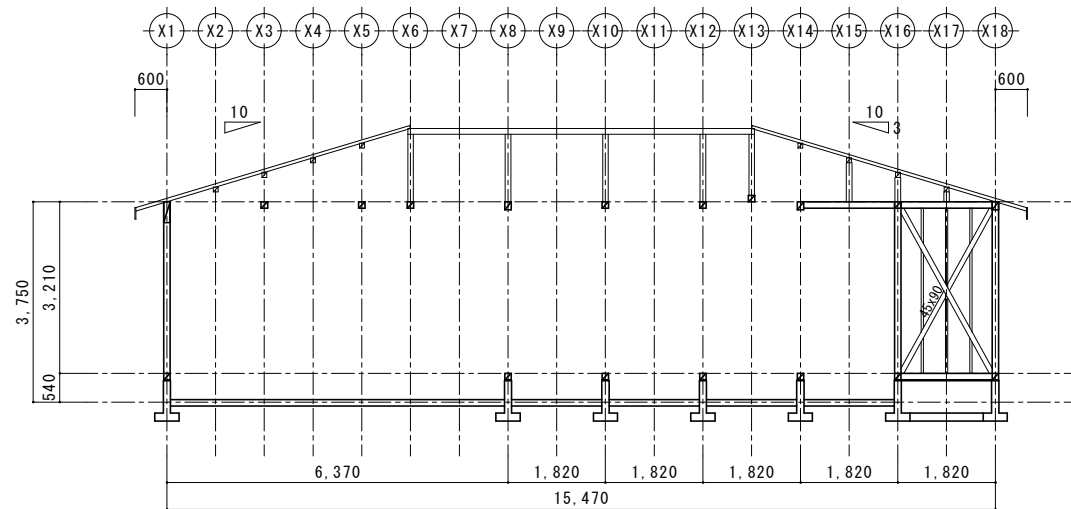
接合部凡例				
記号	告示	下記同等以上とする	N	短期金物耐力
無	い	かど金物(CP-L)	0.65	1.08
L	ろ	かど金物(CP-L)	0.65	3.38
V	は	山形プレート	1.00	5.88
P	に	羽子板プレート	1.40	7.50
Ps	ほ	羽子板プレート (スクリュー釘打ち有)	1.60	8.50
2	へ	10KN用引き寄せ金物	1.80	10.00
3	と	15KN用引き寄せ金物	2.80	15.00
4	ち	20KN用引き寄せ金物	3.70	20.00
5	り	25KN用引き寄せ金物	4.70	25.00
6	ぬ	30KN用引き寄せ金物	5.60	30.00
J		SUS ポーチ柱脚金物		
#/#=柱脚金物 / 柱頭金物 但し、左記以外は上下同じ金物。				



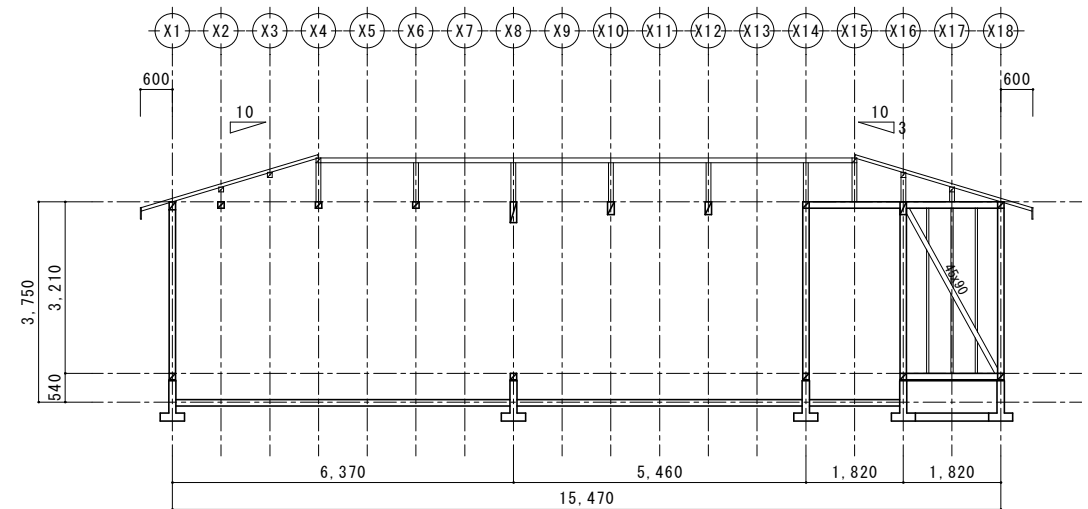
Y13通り軸組図 S:1/100



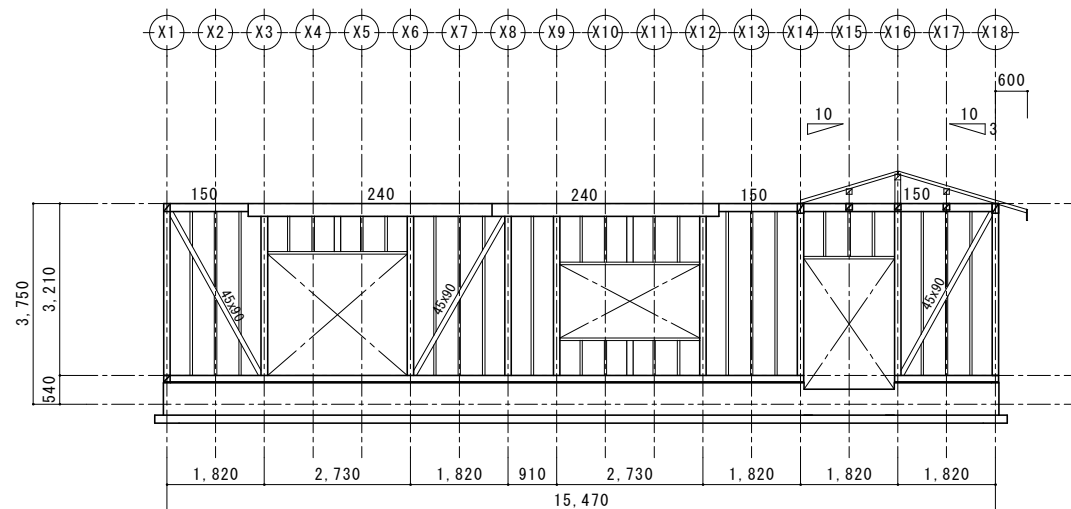
Y9通り軸組図 S:1/100




Y6通り軸組図 S:1/100

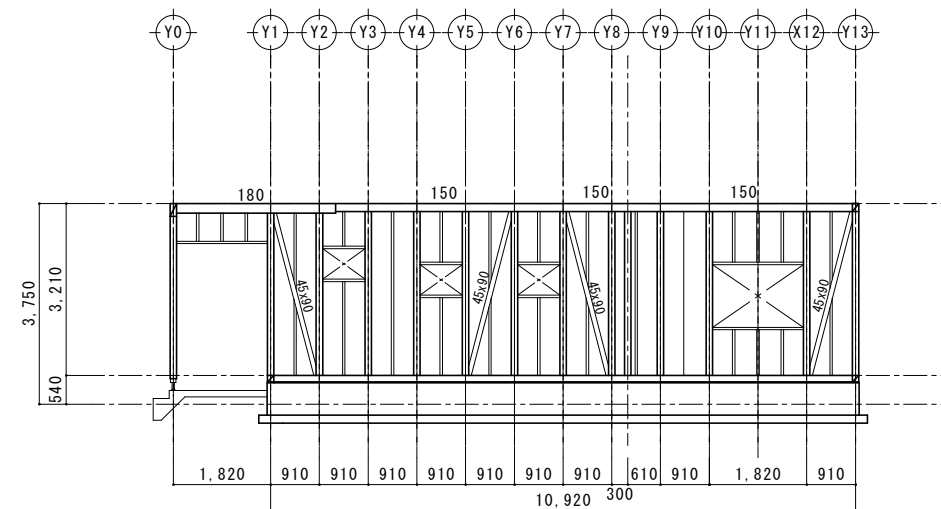
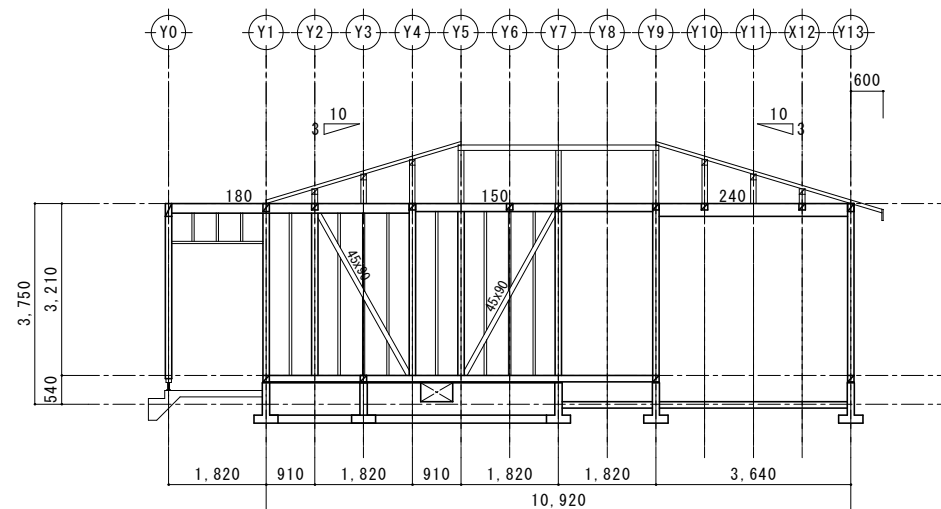
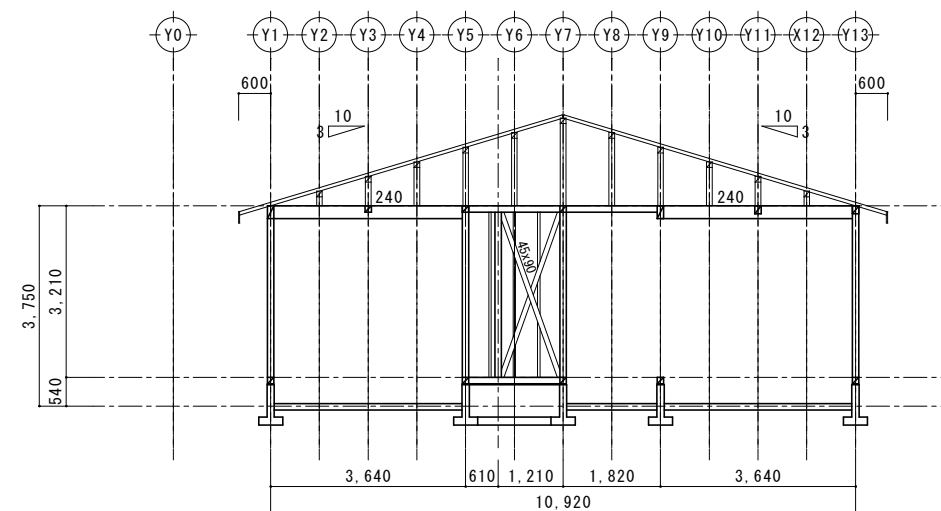
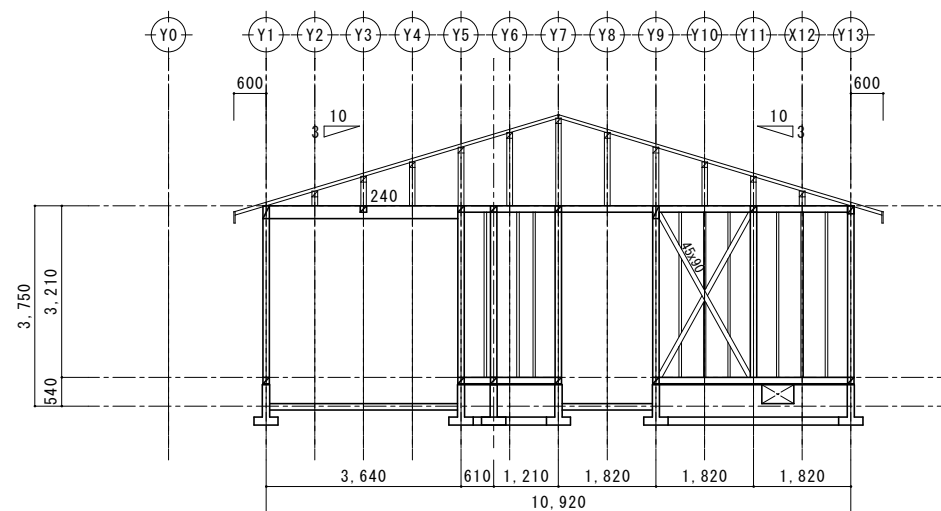
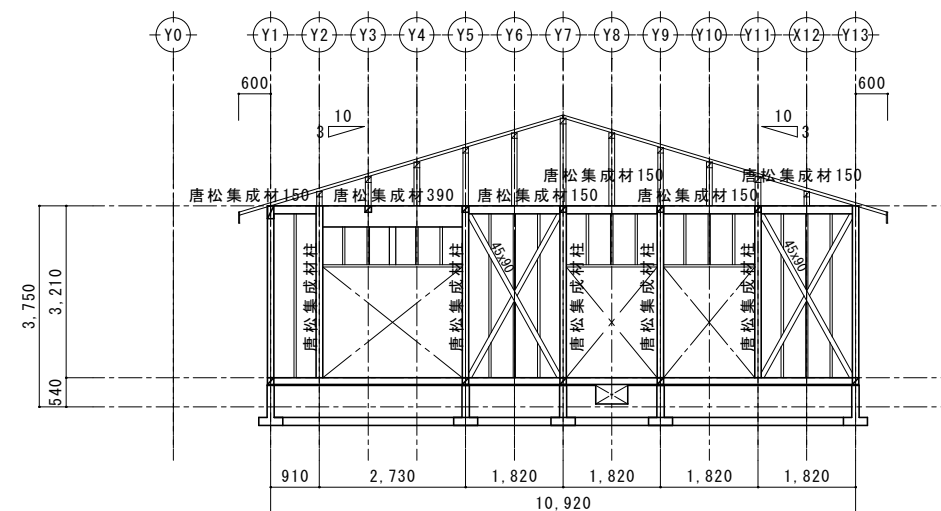
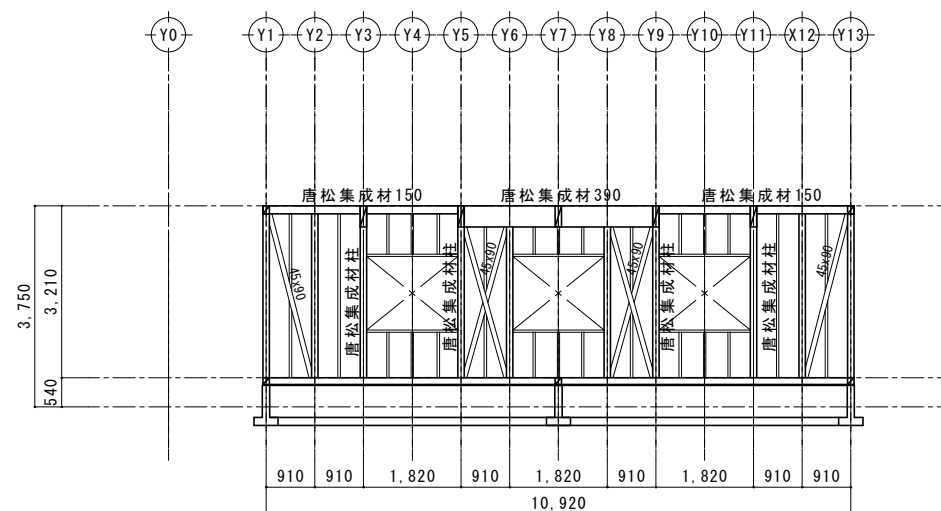



Y4通り軸組図 S:1/100



Y1通り軸組図 S:1/100

訂 正	年 月 日		 <div>岩手県釜石市小佐野町2-4-15    Tel. 0193-23-9970   Fax 0193-23-1120 <b>(有)アルファースシステム</b> 一級建築士事務所（岩手県知事）登録お（2204）第1003号    管理建築士 一級建築士（大臣）登録 第234581号    柏館 旨緒</div>	設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称		図面番号
	年 月 日			R3 . 2 . 24				向定内集会所建設（建築主体）工事		
備 考							製図 A 2 (A3印刷：71%縮小)	承認年月日 . .	図面名称 軸組図（1）	縮尺 1/100



訂 正	年 月 日	<div></div> <div>岩手県釜石市小佐野町2-4-15    Tel. 0193-23-9970    Fax 0193-23-1120</div> <div><b>(有)アルファシステム</b></div> <div>一級建築士事務所（岩手県知事）登録お（2204）第1003号    管理建築士</div> <div>一級建築士（大臣）登録 第234581号    柏館 旨緒</div>	設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称	図面番号	
	年 月 日		R3 . 2 . 24				向定内集会所建設（建築主体）工事		
備 考					製図    A 2	承認年月日	図面名称	縮尺	S — 16
				(A3印刷：71%縮小)	. . .	軸組図（2）	1/100		

軸組計算（必要壁量）の計算

地震力に対する必要壁量

階	床面積（㎡）	a（㎡）	合計面積（㎡）
1階	168.93	0	168.93
		乗じる数値	必要壁量
		0.11	18.58 m

床面積に乗じる数値（m/㎡）

	平屋	2階建	
		1階	2階
重い屋根	0.15	0.33	0.21
軽い屋根	0.11	0.29	0.15

風圧力に対する必要壁量

階	方向	面積(㎡)	乗じる数値	必要壁量
1階	X	32.39	0.5	16.20 m
	Y	46.49		23.25 m

見付面積に乗じる数値（m/㎡）

区域	軸組
一般の区域	0.5

必要壁量のまとめ

階	必要壁量		決定
1階	X方向	18.58	地震
	Y方向	23.25	風

判定

階	方向	存在壁量	比較	必要壁量	判定	検定比
1階	X方向	40.04	≧	18.58	OK	2.15
	Y方向	48.52	≧	23.25	OK	2.09

耐力壁の配置の検討

側端部の面積の算定

1階	X方向	上端	42.23 ㎡
		下端	42.23 ㎡
1階	Y方向	左端	42.23 ㎡
		右端	42.23 ㎡

側端部の地震力に対する必要壁量

位置		面積	乗じる数値	必要壁量
1階	X方向	上端	42.23	0.11
		下端	42.23	0.11
1階	Y方向	左端	42.23	0.11
		右端	42.23	0.11

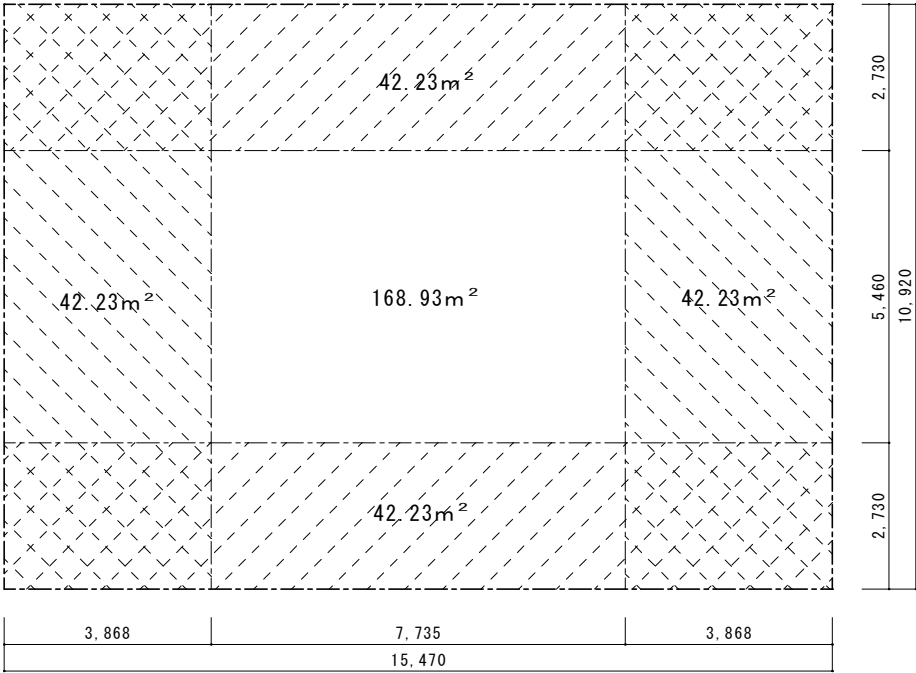
建築基準法告示第1352号

充足率

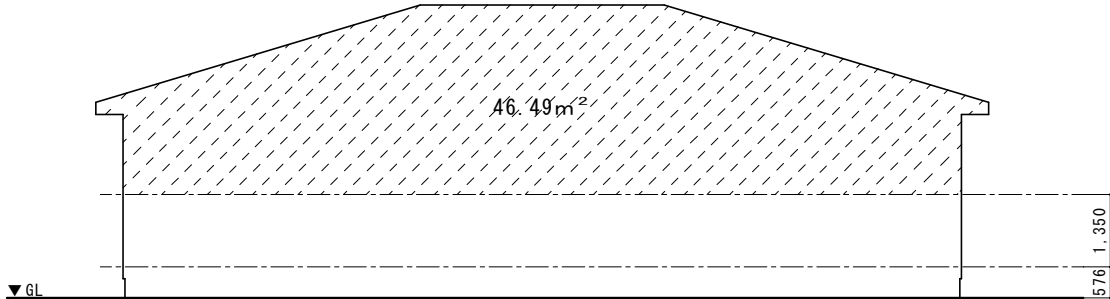
階		存在壁量		必要壁量	充足率		判定
1階	X方向	上端	10.92	4.65	2.4	> 1.0	OK
		下端	14.56	4.65	3.1	> 1.0	OK
1階	Y方向	左端	10.92	4.65	2.4	> 1.0	OK
		右端	10.92	4.65	2.4	> 1.0	OK

存在壁量

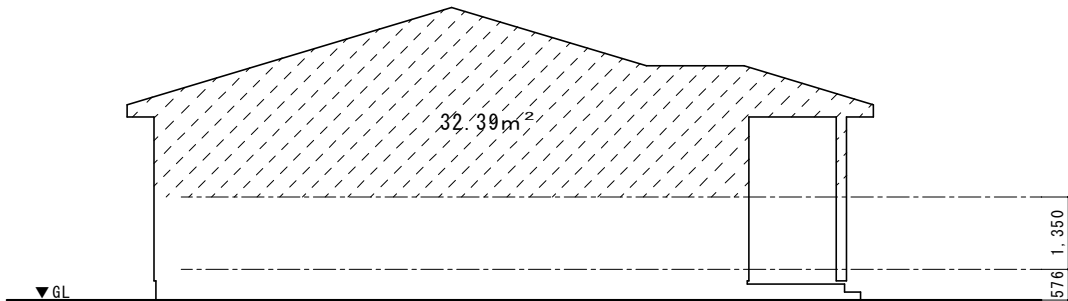
1階	X方向	上端	倍率n	長さL（m）		計	n*L	壁量（m）	計
			2.0	0.91*2+1.82*2		5.46	10.92	10.92	
		中	4.0	1.82*2		3.64	14.56	14.56	14.56
		下端	2.0	1.82*4		7.28	14.56	14.56	14.56
	Y方向	左端	倍率n	長さL（m）		計	n*L	壁量（m）	計
			2.0	0.91*2		1.82	3.64	10.92	
			4.0	0.91*2		1.82	7.28		
		中							26.68
			4.0	1.82*2		3.64	14.56		
			4.0	1.21+1.82		3.03	12.12		
		右端	2.0	0.91*4		3.64	7.28	10.92	10.92
			2.0	0.91*2		1.82	3.64		



4分割面積 S：1/100



Y方向見付け面積 S：1/100



X方向見付け面積面積 S：1/100

8. 接合部の検定  
8.1 柱頭柱脚の接合部の検定  
8.1.1 柱頭柱脚の接合部

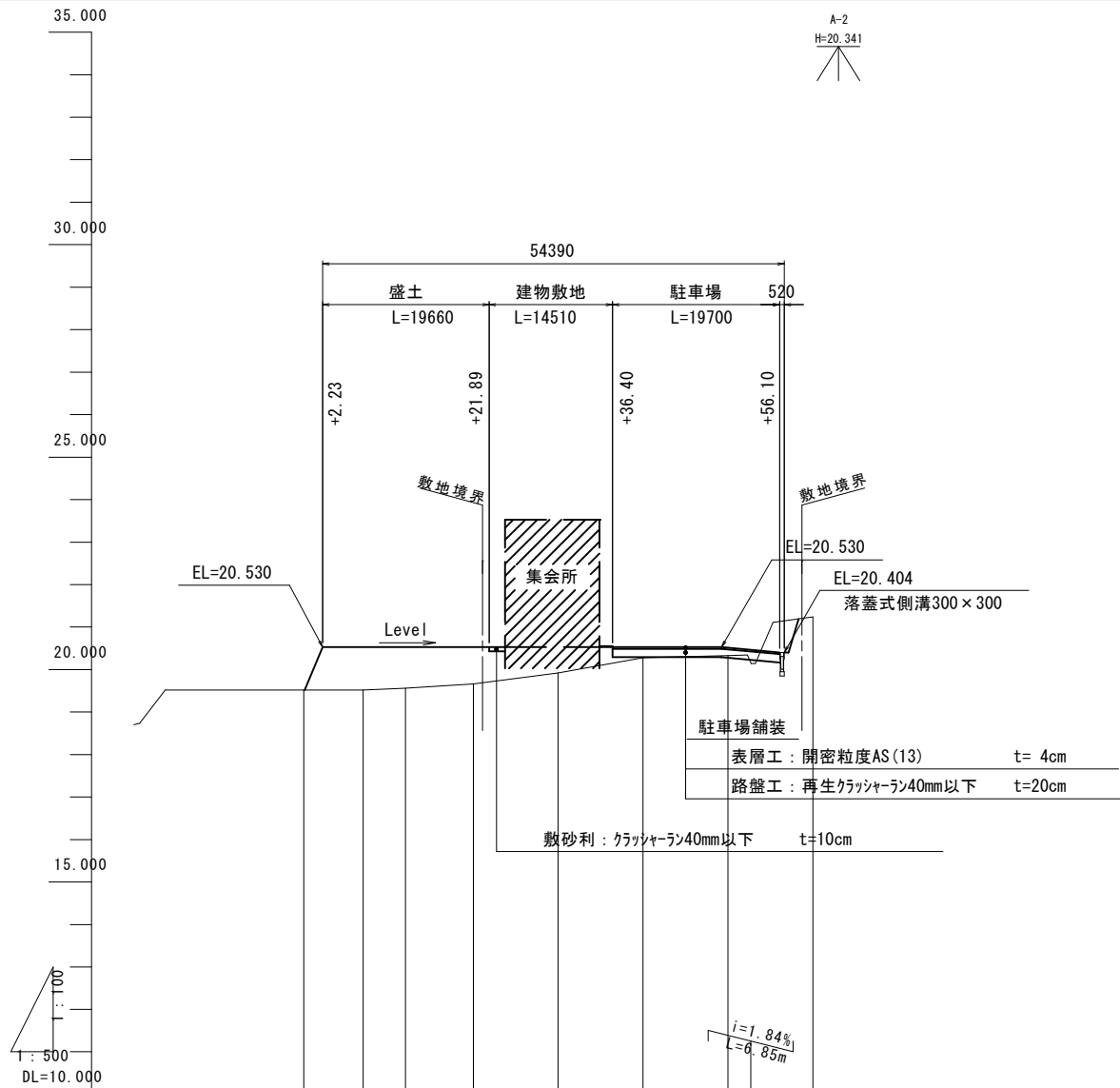
符号	階	方向	出隅の柱		X,Y方向：A1(±補正値)×B1 + A2(±補正値)×B2 - Li ※：直接入力		N	接合部		接合部倍率		判定
			2階の柱	1階の柱	斜め方向：柱にとりつく耐力壁等のうち最大の壁倍率			柱脚	柱頭	柱脚	柱頭	
X1Y1	1F	X	-	◎	2.00(+ 0.50) x 0.80	- 0.40	1.60	3	3	2.80	2.80	OK
		Y			2.00(+ 0.50) x 0.80	- 0.40	1.60					
X3Y1	1F	X	-	×	2.00(- 0.50) x 0.50	- 0.60	0.15	V	V	1.00	1.00	OK
		Y			0.00(+ 0.00) x 0.50	- 0.60	-0.60					
X6Y1	1F	X	-	×	2.00(- 0.50) x 0.50	- 0.60	0.15	V	V	1.00	1.00	OK
		Y			0.00(+ 0.00) x 0.50	- 0.60	-0.60					
X8Y1	1F	X	-	×	2.00(+ 0.50) x 0.50	- 0.60	0.65	V	V	1.00	1.00	OK
		Y			0.00(+ 0.00) x 0.50	- 0.60	-0.60					
X9Y1	1F	X	-	×	0.00(+ 0.00) x 0.50	- 0.60	-0.60	V	V	1.00	1.00	OK
		Y			0.00(+ 0.00) x 0.50	- 0.60	-0.60					
X12Y1	1F	X	-	×	0.00(+ 0.00) x 0.50	- 0.60	-0.60	V	V	1.00	1.00	OK
		Y			0.00(+ 0.00) x 0.50	- 0.60	-0.60					
X14Y1	1F	X	-	×	0.00(+ 0.00) x 0.50	- 0.60	-0.60	V	V	1.00	1.00	OK
		Y			0.00(+ 0.00) x 0.50	- 0.60	-0.60					
X16Y1	1F	X	-	×	2.00(- 0.50) x 0.50	- 0.60	0.15	V	V	1.00	1.00	OK
		Y			0.00(+ 0.00) x 0.50	- 0.60	-0.60					
X18Y1	1F	X	-	×	2.00(+ 0.50) x 0.50	- 0.60	0.65	3	3	2.80	2.80	OK
		Y			2.00(+ 0.50) x 0.50	- 0.60	0.65					
X1Y2	1F	X	-	×	0.00(+ 0.00) x 0.50	- 0.60	-0.60	V	V	1.00	1.00	OK
		Y			2.00(- 0.50) x 0.50	- 0.60	0.15					
X14Y2	1F	X	-	×	0.00(+ 0.00) x 0.50	- 0.60	-0.60	L	L	0.65	0.65	OK
		Y			2.00(+ 0.50) x 0.50	- 0.60	0.65					
X18Y2	1F	X	-	×	0.00(+ 0.00) x 0.50	- 0.60	-0.60	V	V	1.00	1.00	OK
		Y			2.00(- 0.50) x 0.50	- 0.60	0.15					
X1Y3	1F	X	-	×	0.00(+ 0.00) x 0.50	- 0.60	-0.60	V	V	1.00	1.00	OK
		Y			0.00(+ 0.00) x 0.50	- 0.60	-0.60					
X18Y3	1F	X	-	×	0.00(+ 0.00) x 0.50	- 0.60	-0.60	V	V	1.00	1.00	OK
		Y			0.00(+ 0.00) x 0.50	- 0.60	-0.60					
X14Y4	1F	X	-	×	0.00(+ 0.00) x 0.50	- 0.60	-0.60	L	L	0.65	0.65	OK
		Y			2.00(- 0.50) x 0.50	- 0.60	0.15					
X16Y4	1F	X	-	×	2.00(+ 0.50) x 0.50	- 0.60	0.65	L	L	0.65	0.65	OK
		Y			0.00(+ 0.00) x 0.50	- 0.60	-0.60					
X18Y4	1F	X	-	×	2.00(- 0.50) x 0.50	- 0.60	0.15	V	V	1.00	1.00	OK
		Y			0.00(+ 0.00) x 0.50	- 0.60	-0.60					
X1Y5	1F	X	-	×	0.00(+ 0.00) x 0.50	- 0.60	-0.60	2	2	1.80	1.80	OK
		Y			4.00(+ 0.00) x 0.50	- 0.60	1.40					
X8Y5	1F	X	-	×	0.00(+ 0.00) x 0.50	- 0.60	-0.60	2	2	1.80	1.80	OK
		Y			4.00(+ 0.00) x 0.50	- 0.60	1.40					
X14Y5	1F	X	-	×	0.00(+ 0.00) x 0.50	- 0.60	-0.60	L	L	0.65	0.65	OK
		Y			2.00(- 0.50) x 0.50	- 0.60	0.15					
X18Y5	1F	X	-	×	0.00(+ 0.00) x 0.50	- 0.60	-0.60	V	V	1.00	1.00	OK
		Y			2.00(- 0.50) x 0.50	- 0.60	0.15					
X12Y5	1F	X	-	×	0.00(+ 0.00) x 0.50	- 0.60	-0.60	2	2	1.80	1.80	OK
		Y			4.00(+ 0.00) x 0.50	- 0.60	1.40					

出隅の柱	「◎」出隅柱(自動)「○」出隅柱(直接入力)「×」他の柱(自動)「××」他の柱(直接入力)「―」柱がない
斜め方向から耐力壁が取りつく場合は、出隅柱とします。	平屋(2階建ての2階) N=A1+B1-L1 2階建ての1階 N=A1+B1+A2+B2-L1
A1, A2 当該柱の両側における耐力壁の倍率の差。筋かいによる補正を考慮する	斜め方向では、別表の値。
B1, B2 周辺部材による押さえ効果を示す係数。出隅柱=0.8、その他=0.5 または入力値	または、A1, A2を、柱にとりつく耐力壁等のうち最大の壁倍率として計算した値
Li 鉛直荷重による押さえ効果を示す係数。出隅柱=1.0(0.4)、その他=1.6(0.6)	接合部 接合部の記号(出力「3.5 柱頭柱脚接合部の許容耐力」参照)

符号	階	方向	出隅の柱		X,Y方向：A1(±補正値)×B1 + A2(±補正値)×B2 - Li ※：直接入力		N	接合部		接合部倍率		判定
			2階の柱	1階の柱	斜め方向：柱にとりつく耐力壁等のうち最大の壁倍率	柱脚		柱頭	柱脚	柱頭		
X1Y6	1F	X	-	×	0.00(+ 0.00) x 0.50	- 0.60	-0.60	2	2	1.80	1.80	OK
		Y			4.00(+ 0.00) x 0.50	- 0.60	1.40					
X16Y6	1F	X	-	×	4.00(+ 0.00) x 0.50	- 0.60	1.40	2	2	1.80	1.80	OK
		Y			0.00(+ 0.00) x 0.50	- 0.60	-0.60					
X18Y6	1F	X	-	×	4.00(+ 0.00) x 0.50	- 0.60	1.40	2	2	1.80	1.80	OK
		Y			2.00(+ 0.50) x 0.50	- 0.60	0.65					
X8Y7	1F	X	-	×	0.00(+ 0.00) x 0.50	- 0.60	-0.60	2	2	1.80	1.80	OK
		Y			4.00(+ 0.00) x 0.50	- 0.60	1.40					
X12Y7	1F	X	-	×	0.00(+ 0.00) x 0.50	- 0.60	-0.60	2	2	1.80	1.80	OK
		Y			4.00(+ 0.00) x 0.50	- 0.60	1.40					
X14Y7	1F	X	-	×	0.00(+ 0.00) x 0.50	- 0.60	-0.60	L	L	0.65	0.65	OK
		Y			2.00(+ 0.50) x 0.50	- 0.60	0.65					
X18Y7	1F	X	-	×	0.00(+ 0.00) x 0.50	- 0.60	-0.60	V	V	1.00	1.00	OK
		Y			2.00(+ 0.50) x 0.50	- 0.60	0.65					
X1Y8	1F	X	-	×	0.00(+ 0.00) x 0.50	- 0.60	-0.60	2	2	1.80	1.80	OK
		Y			4.00(+ 0.00) x 0.50	- 0.60	1.40					
X18Y8	1F	X	-	×	0.00(+ 0.00) x 0.50	- 0.60	-0.60	V	V	1.00	1.00	OK
		Y			2.00(- 0.50) x 0.50	- 0.60	0.15					
X18Y8'	1F	X	-	×	0.00(+ 0.00) x 0.50	- 0.60	-0.60	V	V	1.00	1.00	OK
		Y			0.00(+ 0.00) x 0.50	- 0.60	-0.60					
X1Y9	1F	X	-	×	0.00(+ 0.00) x 0.50	- 0.60	-0.60	2	2	1.80	1.80	OK
		Y			4.00(+ 0.00) x 0.50	- 0.60	1.40					
X8Y9	1F	X	-	×	4.00(+ 0.00) x 0.50	- 0.60	1.40	2	2	1.80	1.80	OK
		Y			0.00(+ 0.00) x 0.50	- 0.60	-0.60					
X10Y9	1F	X	-	×	4.00(+ 0.00) x 0.50	- 0.60	1.40	2	2	1.80	1.80	OK
		Y			4.00(+ 0.00) x 0.50	- 0.60	1.40					
X18Y9	1F	X	-	×	0.00(+ 0.00) x 0.50	- 0.60	-0.60	V	V	1.00	1.00	OK
		Y			0.00(+ 0.00) x 0.50	- 0.60	-0.60					
X18Y10	1F	X	-	×	0.00(+ 0.00) x 0.50	- 0.60	-0.60	V	V	1.00	1.00	OK
		Y			0.00(+ 0.00) x 0.50	- 0.60	-0.60					
X1Y11	1F	X	-	×	0.00(+ 0.00) x 0.50	- 0.60	-0.60	V	V	1.00	1.00	OK
		Y			0.00(+ 0.00) x 0.50	- 0.60	-0.60					
X8Y11	1F	X	-	×	0.00(+ 0.00) x 0.50	- 0.60	-0.60	2	2	1.80	1.80	OK
		Y			4.00(+ 0.00) x 0.50	- 0.60	1.40					
X10Y11	1F	X	-	×	0.00(+ 0.00) x 0.50	- 0.60	-0.60	2	2	1.80	1.80	OK
		Y			4.00(+ 0.00) x 0.50	- 0.60	1.40					
X1Y12	1F	X	-	×	0.00(+ 0.00) x 0.50	- 0.60	-0.60	V	V	1.00	1.00	OK
		Y			2.00(- 0.50) x 0.50	- 0.60	0.15					
X18Y12	1F	X	-	×	0.00(+ 0.00) x 0.50	- 0.60	-0.60	V	V	1.00	1.00	OK
		Y			2.00(- 0.50) x 0.50	- 0.60	0.15					
X1Y13	1F	X	-	◎	2.00(+ 0.50) x 0.80	- 0.40	1.60	3	3	2.80	2.80	OK
		Y			2.00(+ 0.50) x 0.80	- 0.40	1.60					
X2Y13	1F	X	-	×	2.00(- 0.50) x 0.50	- 0.60	0.15	V	V	1.00	1.00	OK
		Y			0.00(+ 0.00) x 0.50	- 0.60	-0.60					

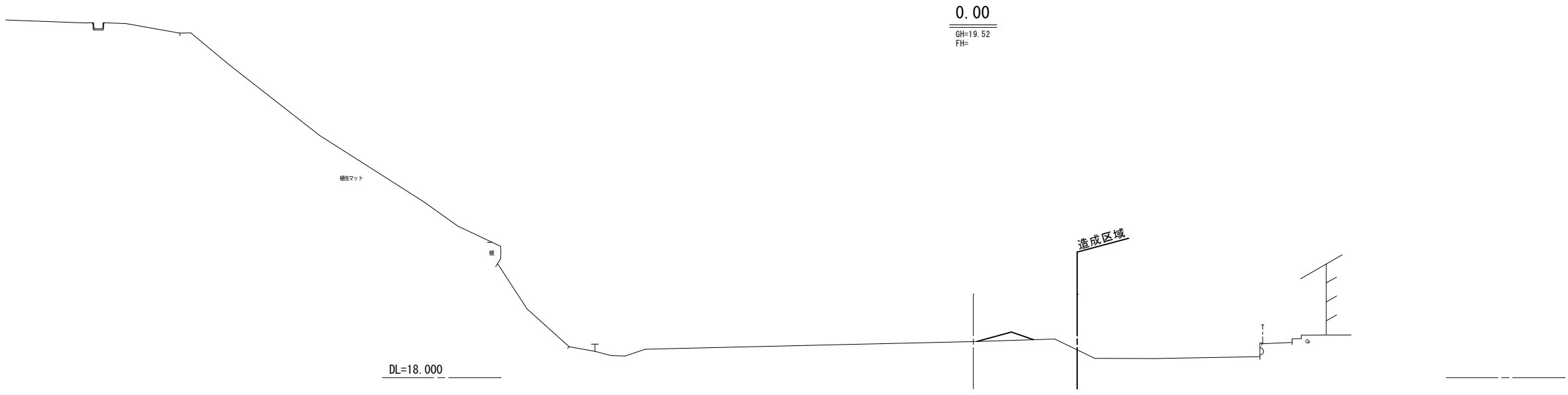
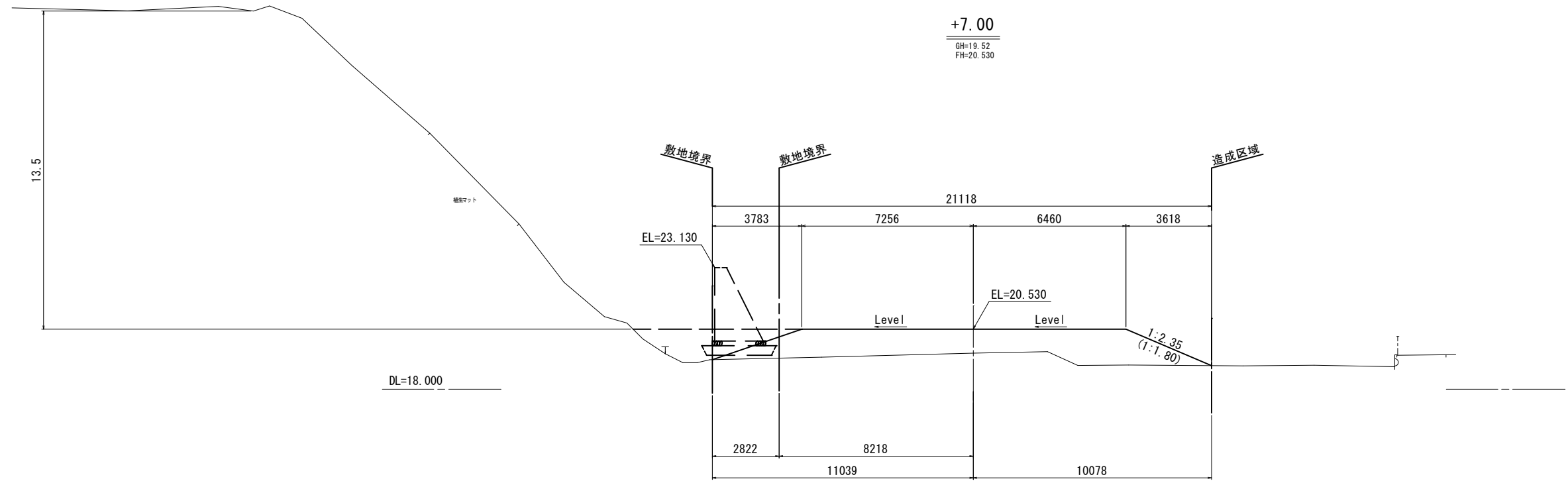




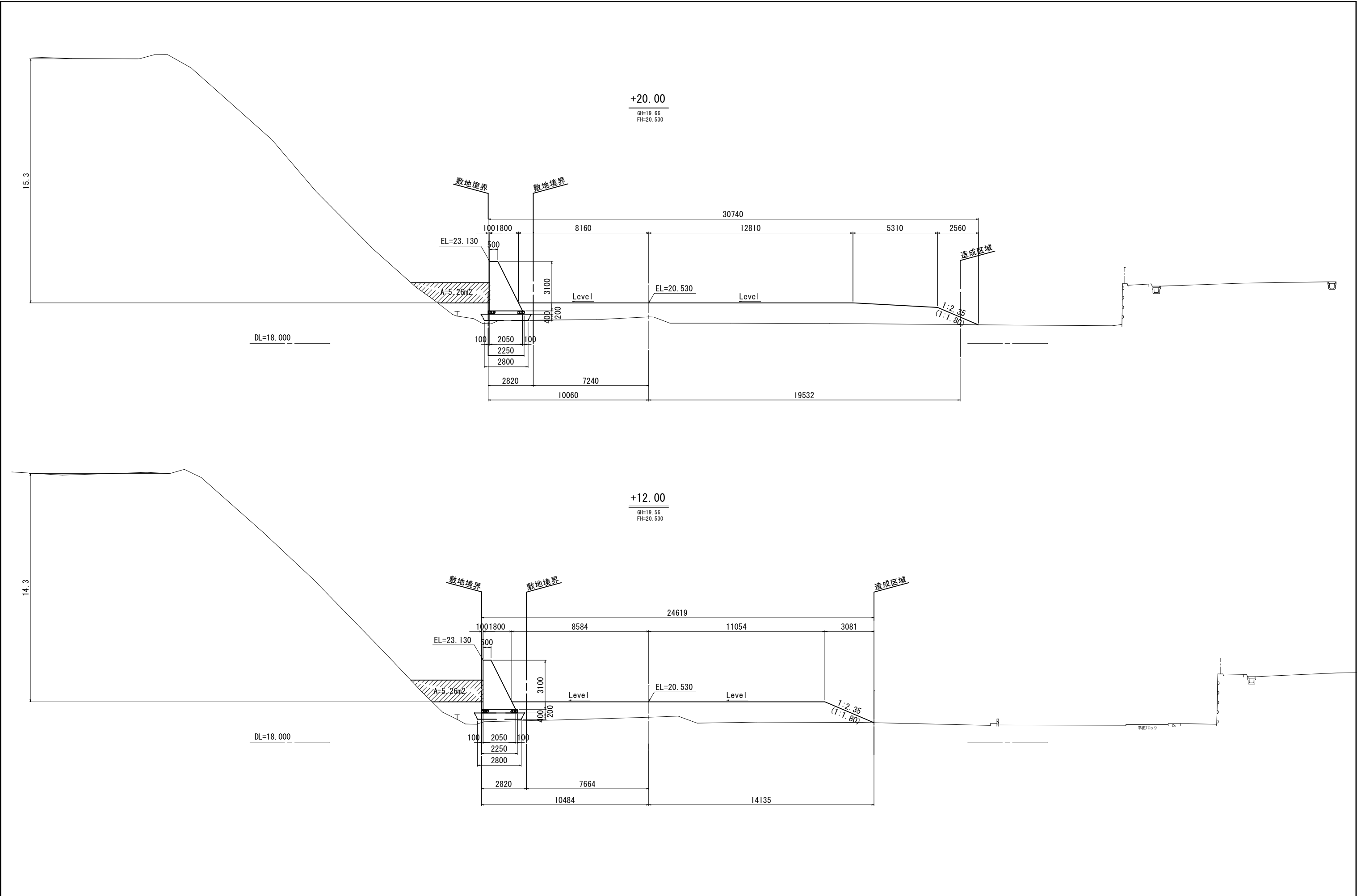



勾配	<div>20.530</div> <div>Level L=47.01m</div> <div>20.53020.404</div>						
切土高							
盛土高		1.01	0.97	0.87	0.61	0.25	0.19
計画高		20.530	20.530	20.530	20.530	20.530	20.404
地盤高	19.52	19.52	19.56	19.66	19.92	20.28	20.33
追加距離	0.000	7.000	12.000	20.000	30.000	40.000	50.000
単距離	0.000	7.000	5.000	8.000	10.000	10.000	10.000
測点番号	0.00	+7.00	+12.00	+20.00	+30.00	+40.00	+50.00



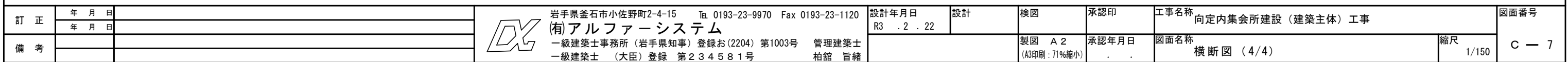


訂 正	年 月 日			岩手県釜石市小佐野町2-4-15    Tel 0193-23-9970    Fax 0193-23-1120 <b>(有)アルファシステム</b> 一級建築士事務所（岩手県知事）登録お(2204) 第1003号    管理建築士 一級建築士（大臣）登録 第234581号    柏館 旨緒	設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称		図面番号	
	年 月 日				R3 . 2 . 22					向定内集会所建設（建築主体）工事		
備 考							製図 A 2	承認年月日	図面名称	縮尺		C — 4
							(A3印刷：71%縮小)	.	横断図（1/4）	1/150		



訂 正	年 月 日		 岩手県釜石市小佐野町2-4-15 Tel 0193-23-9970 Fax 0193-23-1120 (有)アルファシステム 一級建築士事務所（岩手県知事）登録お(2204) 第1003号 管理建築士 一級建築士（大臣）登録 第234581号 柏館 旨緒	設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称		図面番号	
	年 月 日			R3 . 2 . 22					向定内集会所建設（建築主体）工事		
備 考						製図 A 2 (A3印刷：71%縮小)	承認年月日	図面名称		縮尺 1/150	C — 5
								横断面図（2/4）			







S=1:50

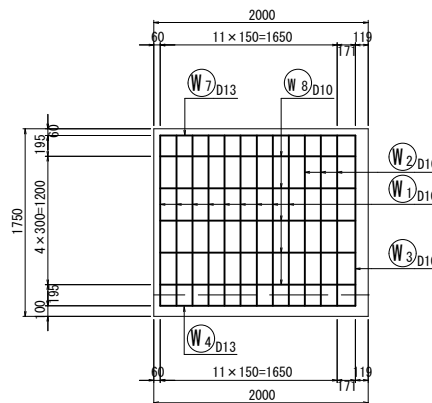
S=1 : 30

[illegible]

S=1 : 30

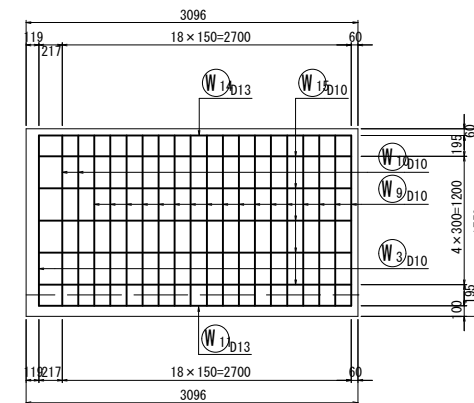
---

1 - 1



---


2 - 2



Technical drawings of 10 different window types (W1 to W10) with their dimensions and specifications:

- W1** 9-D10x2660  
Dimensions: 1590 (height), 1065 (width)
- W2** 3-D10x2260 (平均長)  
Dimensions: 1590 (height), 354~977 (666) (width)
- W3** 1-D10x1590  
Dimensions: 1590 (height)
- W4** 1-D13x1830  
Dimensions: 1452~1741 (1597) (width)
- W5** 3-D10x1600 (平均長)  
Dimensions: 1308 (width)
- W6** 1-D13x1310  
Dimensions: 1821 (width)
- W7** 1-D13x1830  
Dimensions: 1821 (width)
- W8** 5-D10x1830  
Dimensions: 1821 (width)
- W9** 17-D10x2660  
Dimensions: 1590 (height), 1065 (width)
- W10** 2-D10x2200 (平均長)  
Dimensions: 1590 (height), 450~761 (606) (width)
- W11** 1-D13x2920  
Dimensions: 2917 (width)
- W12** 3-D10x2700 (平均長)  
Dimensions: 2548~2837 (2693) (width)
- W13** 1-D13x2410  
Dimensions: 2404 (width)
- W14** 1-D13x2920  
Dimensions: 2917 (width)
- W15** 5-D10x2920  
Dimensions: 2917 (width)

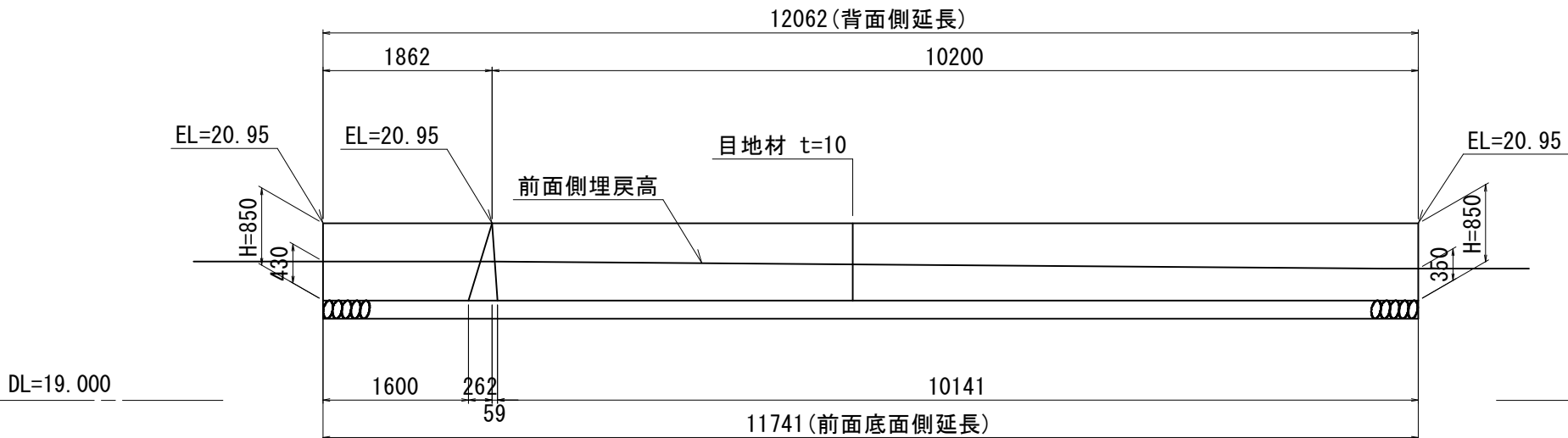
記 号	径	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要
W1	D10	2660	9	0.560	1.490	13	┐
W2	D10	2260	3	0.560	1.266	4	┐ (平均長)
W3	D10	1590	1	0.560	0.890	1	┐
W4	D13	1830	1	0.995	1.821	2	┐
W5	D10	1600	3	0.560	0.896	3	┐ (平均長)
W6	D13	1310	1	0.995	1.303	1	┐
W7	D13	1830	1	0.995	1.821	2	┐
W8	D10	1830	5	0.560	1.025	5	┐
W9	D10	2660	17	0.560	1.490	25	┐
W10	D10	2200	2	0.560	1.232	2	┐ (平均長)
W11	D13	2920	1	0.995	2.905	3	┐
W12	D10	2700	3	0.560	1.512	5	┐ (平均長)
W13	D13	2410	1	0.995	2.398	2	┐
W14	D13	2920	1	0.995	2.905	3	┐
W15	D10	2920	5	0.560	1.635	8	┐
SD295				D10	66 kg		
				D13	13 kg		
				合計	79 kg		

訂 正	年 月 日	 <div>岩手県釜石市小佐野町2-4-15    Tel 0193-23-9970   Fax 0193-23-1120 <b>(有)アルファーステム</b> 一級建築士事務所（岩手県知事）登録お(2204) 第1003号    管理建築士 一級建築士（大臣）登録 第234581号    柏館 旨緒</div>	設計年月日 R3 . 2 . 22	設計	検図	承認印	工事名称 向定内集会所建設（建築主体）工事		図面番号  C — 9
	年 月 日						製図 A 2 (A3印刷：71%縮小)	承認年月日 . . .	
備 考									



小型重力式擁壁工正面図

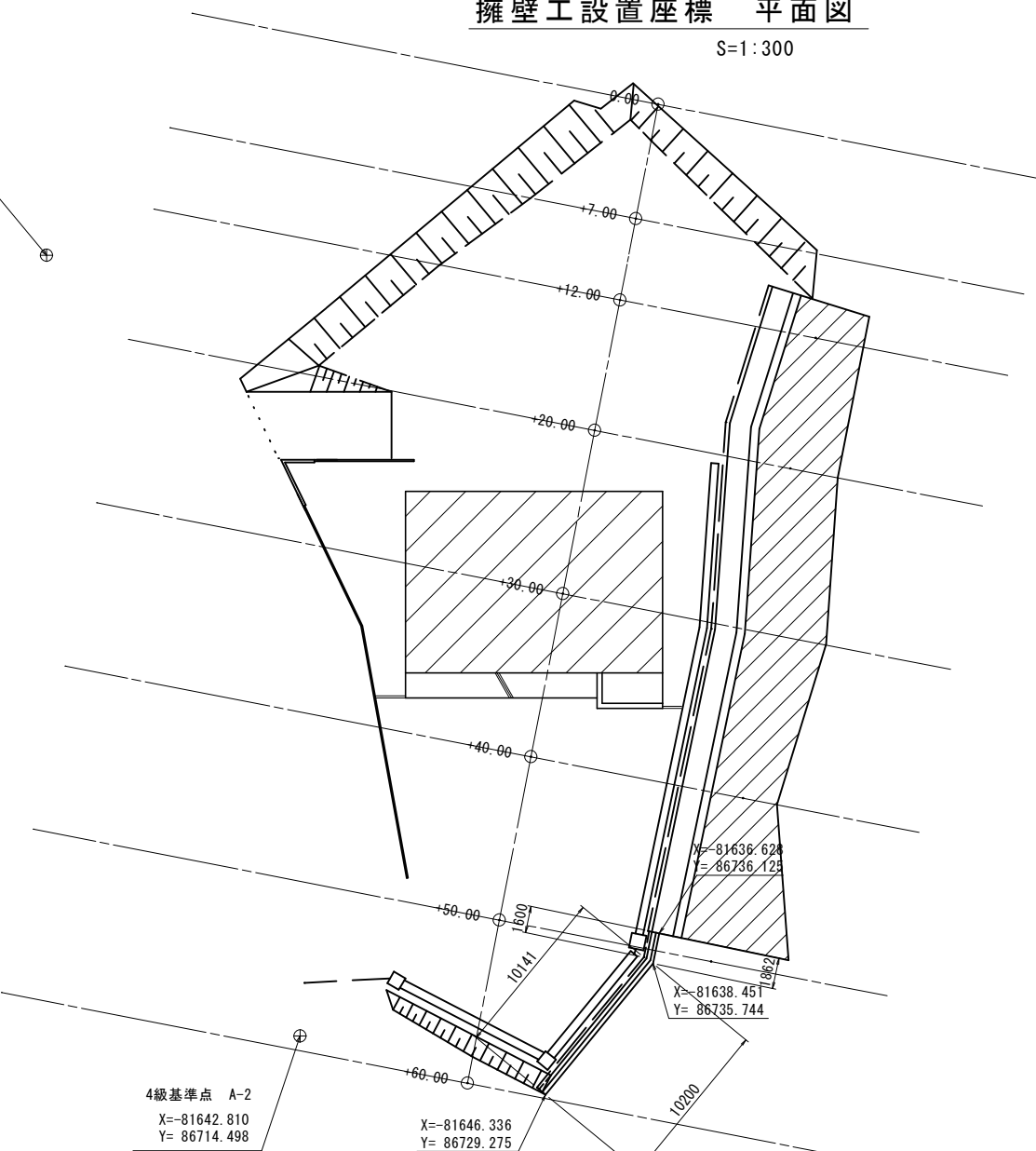
S=1:50



擁壁工設置座標 平面図

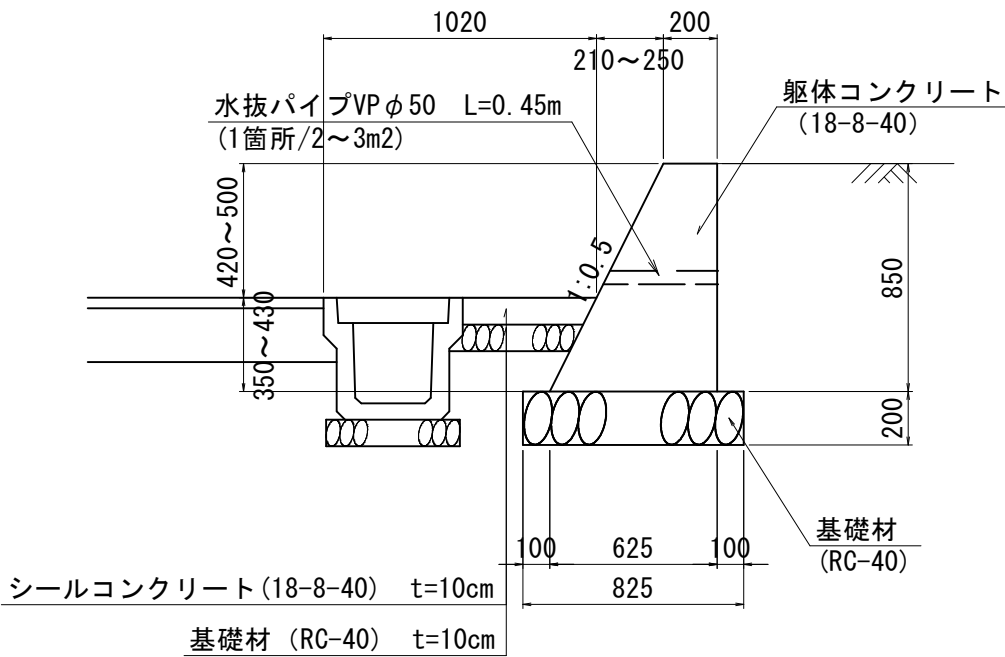
S=1:300


4級基準点 A-1  
X=-81595.830  
Y= 86699.239



標準断面図

S=1:20

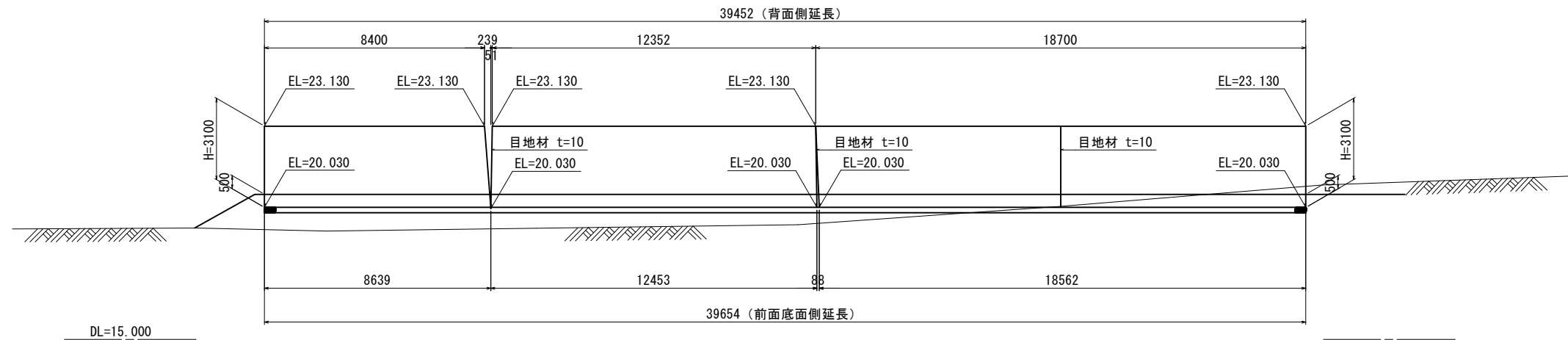


訂正	年月日			岩手県釜石市小佐野町2-4-15 TEL 0193-23-9970 Fax 0193-23-1120 (有)アルファシステム 一級建築士事務所 (岩手県知事) 登録お(2204) 第1003号 管理建築士 一級建築士 (大臣) 登録 第234581号 柏館 旨緒	設計年月日	設計	検図	承認印	工事名称	図面番号
	年月日				R3 . 2 . 22				向定内集会所建設 (建築主体) 工事	C - 10
備考							製図 A 2 (A3印刷: 71%縮小)	承認年月日	図面名称	縮尺
									小型重力式擁壁工詳細図	1/20 1/50 1/300

## 待受け重力式擁壁工詳細図

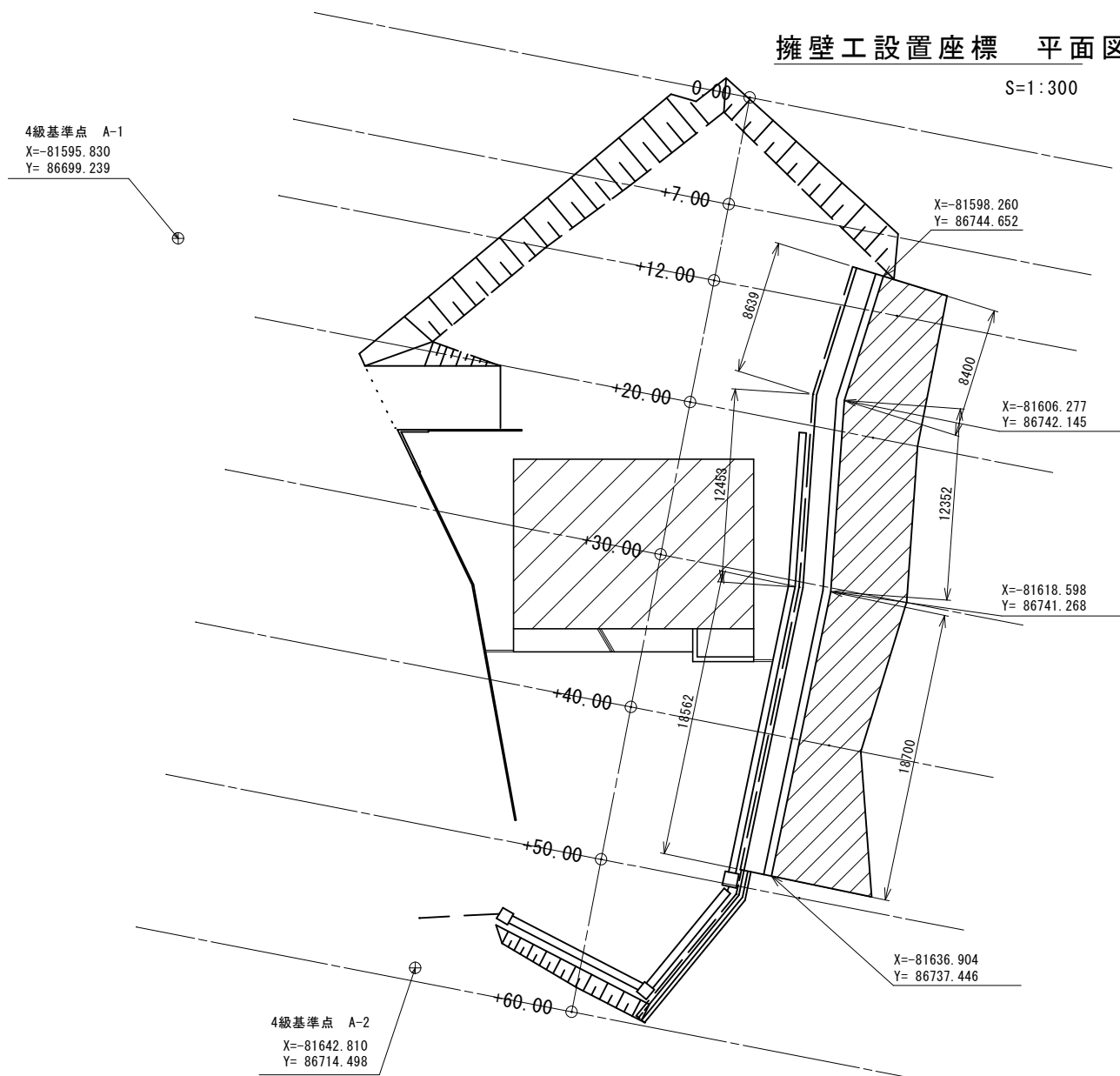
待受け重力式擁壁工正面図

S=1 : 150



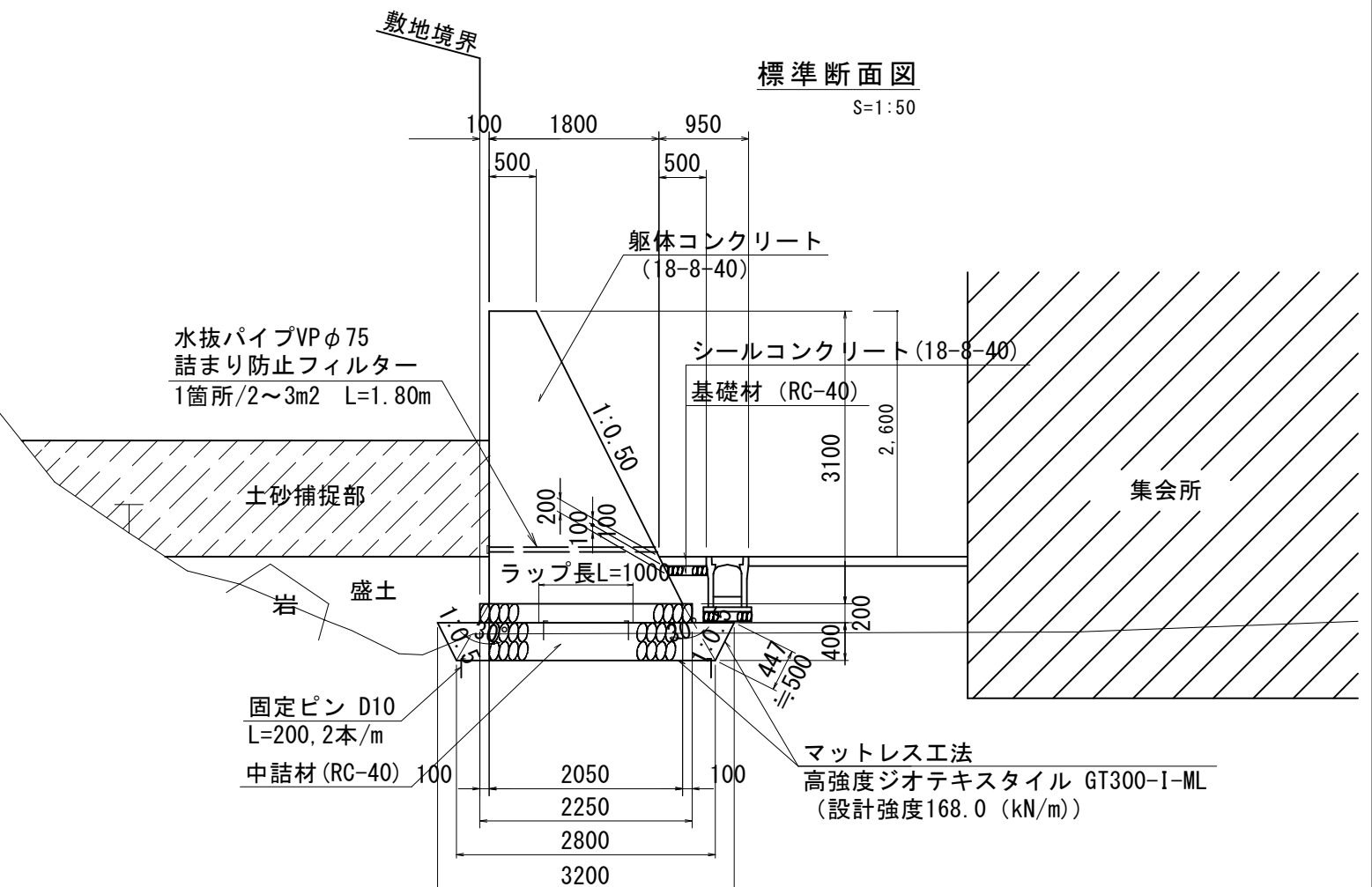
### 擁壁工設置座標 平面図


S=1 : 300



### 標準断面図

S=1 : 50



訂 正	年 月 日	<div></div> <div>岩手県釜石市小佐野町2-4-15 TEL 0193-23-9970 Fax 0193-23-1120 <b>(有)アルファースシステム</b> 一級建築士事務所（岩手県知事）登録お（2204）第1003号 管理建築士 一級建築士（大臣）登録 第234581号 柏 諒 旨 緒</div>	設計年月日 R3 . 2 . 22	設計	検図	承認印	工事名称 向定内集会所建設（建築主体）工事	図面番号	
	年 月 日								
備 考					製図 A 2 (A3印刷：71%縮小)	承認年月日 . . .	図面名称 待受け重力式擁壁工詳細図	縮尺 1/50 1/150 1/350	C — 11

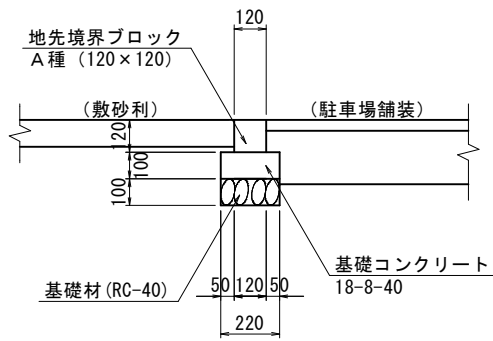


縁石工・駐車ます・防護柵詳細図

## 縁石工詳細図

## 地先境界ブロック工

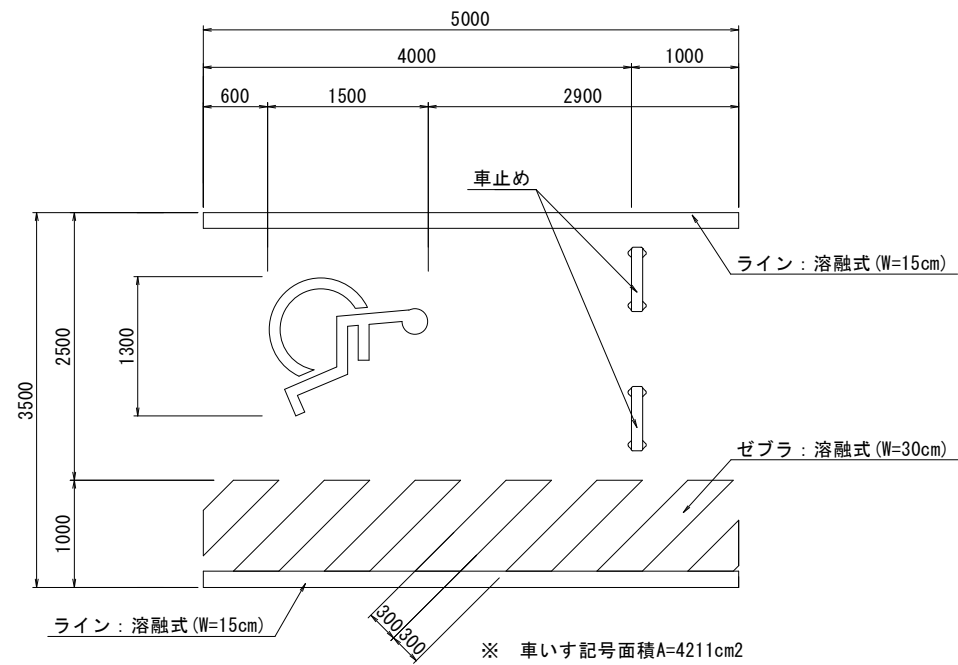
S=1 : 20



駐車ます詳細図

## 身体障害者用駐車施設

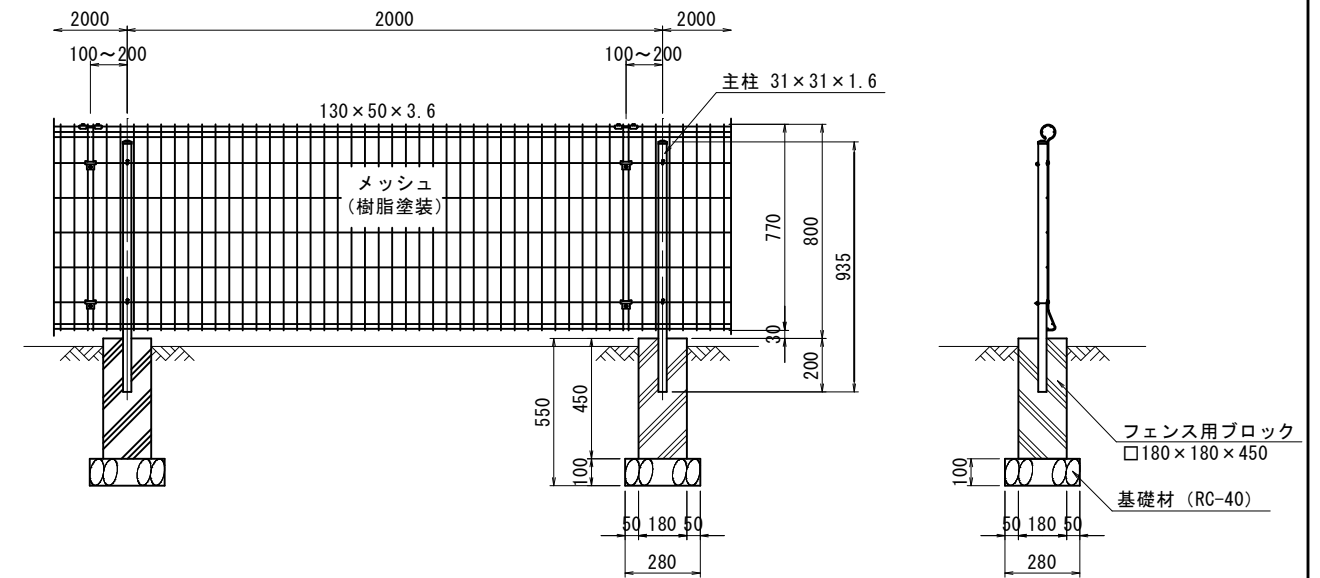
S=1 : 50



防護柵工(参考図)

メッシュフェンス (H=800)

S=1 : 50

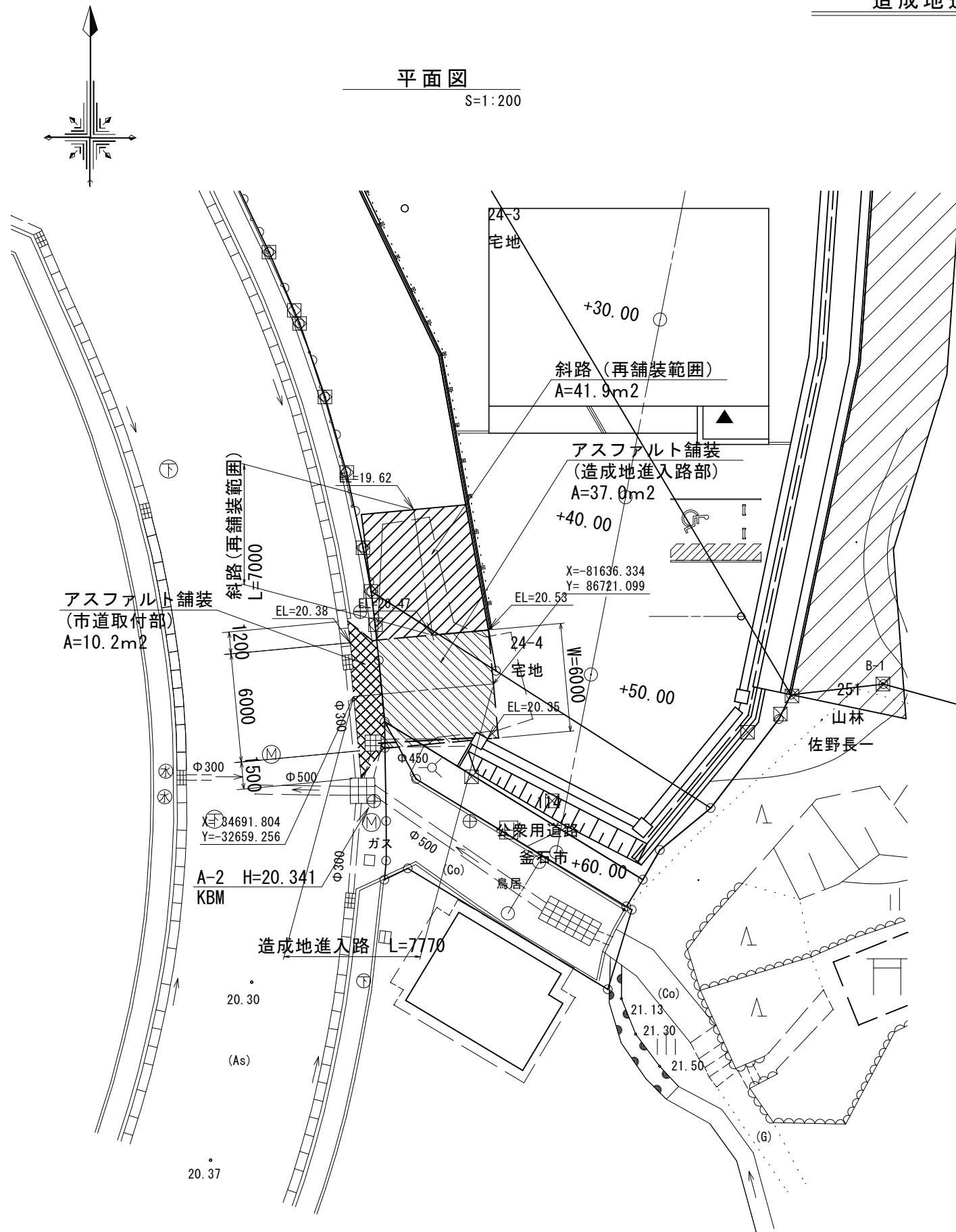


訂 正	年 月 日	 岩手県釜石市小佐野町2-4-15 TEL 0193-23-9970 Fax 0193-23-1120 <b>(有)アルファークシテム</b> 一級建築士事務所（岩手県知事）登録お（2204）第1003号 管理建築士 一級建築士 （大臣）登録 第234581号 柏館 旨緒	設計年月日 R3 . 2 . 22	設計	検図	承認印	工事名称 向定内集会所建設（建築主体）工事		図面番号  C — 13
	年 月 日						図面名称 緑石工・駐車ます・防護柵詳細図	縮尺 1/20 1/50	
備 考									

## 造成地進入路 詳細図

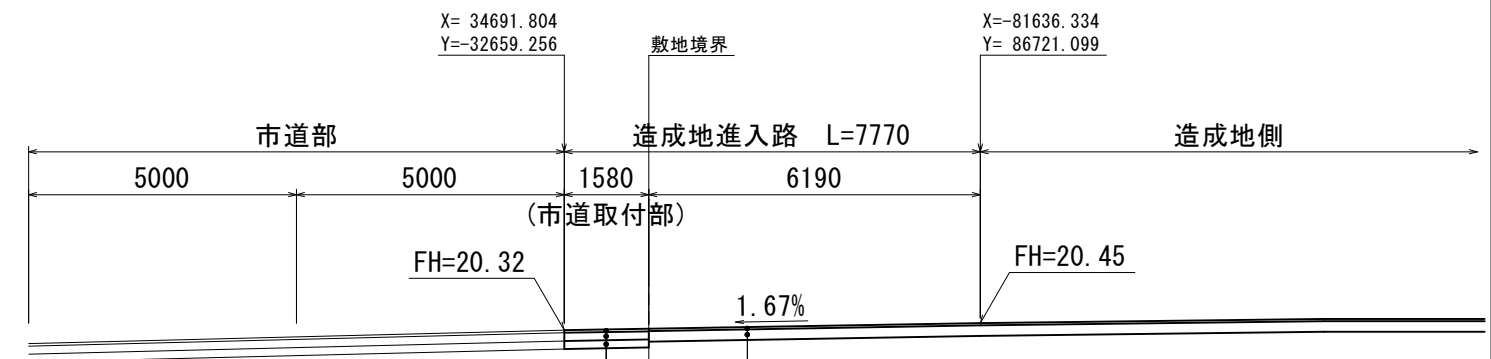
平面图

S=1:200



造成地進入路 縦断図

S=1 :



【別途工事：機械設備工事】  
市道取付部

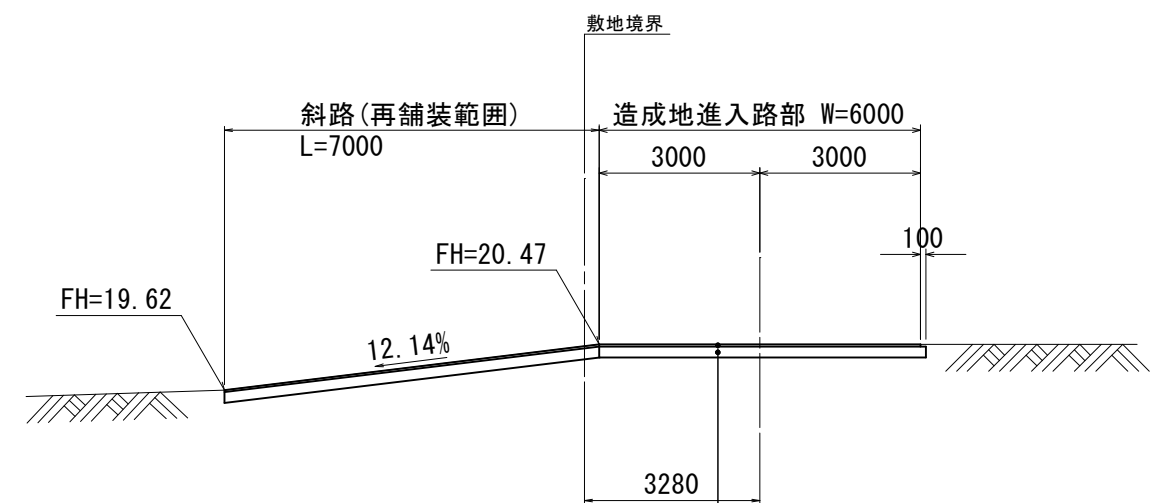
表層工：密粒度アスコン(20F)	t= 5cm
上層路盤工：粒度調整砕石40mm以下	t=15cm
下層路盤工：再生クラッシャーラン40mm以下	t=15cm

造成地進入路部


表層工：再生開粒度AS(13)	t= 4cm
路盤工：再生クラッシャーラン40mm以下	t=20cm

## 造成地進入路標準断面図

S=1 : 100



表層工：再生開粒度AS(13)	t= 4cm
路盤工：再生クラッシャーラン40mm以下	t=20cm

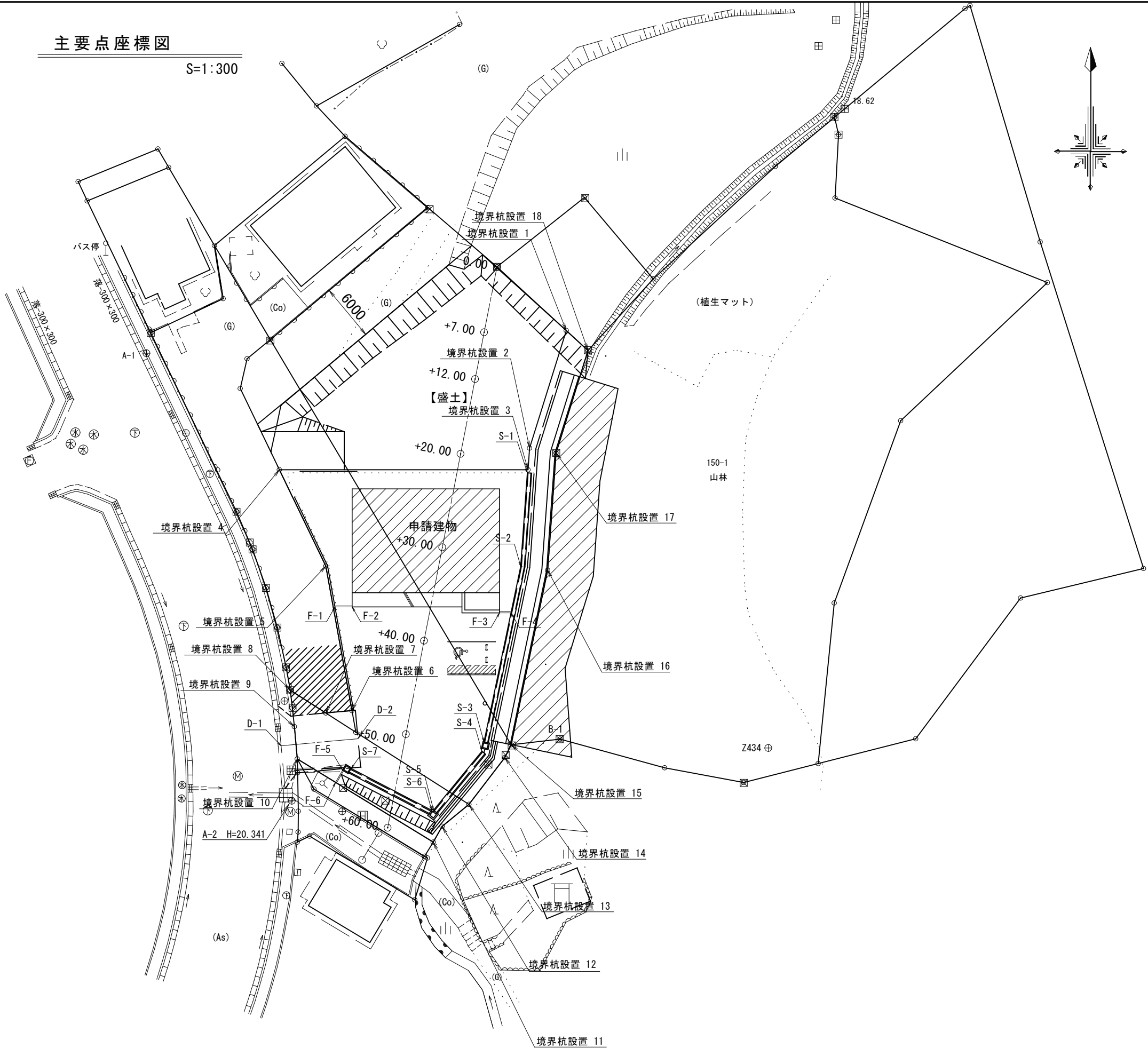
訂 正	年 月 日	 岩手県釜石市小佐野町2-4-15    Tel 0193-23-9970    Fax 0193-23-1120 <b>(有)アルファークシステム</b> 一級建築士事務所（岩手県知事）登録（2204）第1003号    管理建築士 一級建築士（大臣）登録 第234581号    柏館 昌緒	設計年月日 R3 . 2 . 22	設計	検図	承認印	工事名称 向定内集会所建設（建築主体）工事		図面番号 C — 14
	年 月 日						図面名称 造成地進入路詳細図	縮尺 1/100 1/200	
備 考					製図 A 2 (A3印刷：71%縮小)	承認年月日 . . .			

【別途工事】  
境界杭設置座標一覧表

点名	X	Y	備考
境界杭.1	-81593.437	86743.327	
境界杭.2	-81605.772	86739.474	
境界杭.3	-81608.055	86739.312	
境界杭.4	-81608.055	86713.195	
境界杭.5	-81618.183	86718.073	
境界杭.6	-81633.346	86720.824	
境界杭.7	-81633.600	86718.068	
境界杭.8	-81631.220	86714.338	
境界杭.9	-81635.033	86714.765	
境界杭.10	-81638.427	86715.080	
境界杭.11	-81647.149	86729.355	
境界杭.12	-81645.511	86730.302	
境界杭.13	-81643.195	86733.109	
境界杭.14	-81638.282	86736.868	
境界杭.15	-81636.939	86737.541	
境界杭.16	-81618.612	86741.367	
境界杭.17	-81606.296	86742.244	
境界杭.18	-81595.535	86745.609	

主要点座標図

S=1:300



主要点座標・計画高一覧表

番号	X	Y	計画高	備考
【側溝工】				
S-1	-81608.373	86739.239	20.530	
S-2	-81618.218	86738.538	20.530	
S-3	-81636.644	86734.691	20.530	
S-4	-81637.617	86734.462	20.530	
S-5	-81643.801	86729.388	20.450	
S-6	-81643.816	86729.195	20.450	
S-7	-81639.434	86720.727	20.350	
【縁石工】				
F-1	-81622.475	86719.035	20.530	地先境界ブロック
F-2	-81622.475	86720.842	20.530	〃
F-3	-81623.095	86736.312	20.530	〃
F-4	-81623.095	86737.520	20.530	〃
F-5	-81639.611	86719.817	20.350	〃
F-6	-81640.876	86719.086	20.350	〃
【進入路工】				
D-1	-81637.047	86713.364	20.320	進入路工起点
D-2	-81636.334	86721.099	20.450	進入路工終点